

院内がん登録 2016年症例報告



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合医療センター

Nara Prefecture General Medical Center

奈良県総合医療センター

院内がん登録 2016年症例報告

『登録件数 1272件』

2017年8月7日

国立がん研究センター・がん対策情報センター 提出

「院内がん登録 2016 年症例」 発刊にあたって

このたび、「奈良県総合医療センター2016 年院内がん登録報告書」を発刊いたしました。当センターは、奈良市七条西町において建設中であった新奈良県総合医療センターの完成に伴い、2018 年 5 月 1 日に移転しました。高度急性期医療や質の高いがん医療を提供する医療センターとして活動を開始しています。がん医療は、奈良県総合医療センターが提供する医療の重要な柱の一つです。新センターに移転してから、手術件数、内視鏡的治療件数、放射線治療件数、化学療法件数の全てが飛躍的に増加しています。今回の院内がん登録の報告は、旧センターでの診療実績をまとめたものですが、当センターは今後もがん診療連携拠点病院として、最新のがん医療を提供することにより奈良県のがん医療の推進に寄与していきたいと考えています。

ところで、2018 年に健康寿命日本一の実現に向けて、『がんにならない、がんになっても安心できる奈良県』を目指し、総合的かつ計画的にがん対策の取組を進めていくために「第 3 期奈良県がん対策推進計画」が策定されました。この計画の中には、「がん登録の精度向上」、「がん登録データを活用したがん対策の検討」、さらには、「データを活用した県民への情報提供など」の項目が盛り込まれています。したがって、当センターのがんに関する診療情報（がんの診断、治療、その経過など）を収集し、分析することが、実効性のある「がん対策」の立案につながると考えられます。これからも精緻な院内がん登録を目指し、当センターにおけるがん診療の充実に向けて力を注いでいきたいと考えています。

最後になりましたが、この報告書を発刊するにあたり、当センターでがん診療に従事されたすべての医療スタッフと診療データの収集と整理に尽力いただいた医療情報管理室の方々に心より感謝申し上げます。

奈良県総合医療センター
院長 菊池英亮

「院内がん登録 2016年症例報告」発刊に寄せて

奈良県総合医療センターはがん診療拠点病院として役割の一つとして 2010 年より院内がん登録を行っております。2014 年に県立奈良病院から奈良県立病院機構奈良県総合医療センターに移行し、専属スタッフを中心に登録活動を充実させてきました。院内がん登録件数は年々増加し、今回お届けする 2016 年には 1272 件と、最高値を更新しています。2017 年 5 月に現在の新センターに新築移転した新病院は、高度のがん診療を行うにふさわしい高機能の設備、体制となっております。

今や国民の 2 人に一人が生涯でがんにかかる時代であり、がんに対する医療ニーズが高まり、病院診療の大きな部分を占めるに至っています。加えて、昨年ノーベル賞を受賞した本庶佑先生の知見が新規抗がん剤に生かされたように、がん診療は、医学の進歩に伴い年々高度化しています。当センターは、先日 2019 年 2 月 23 日に「最新のがん治療」をテーマに市民公開を開催いたしました。①最新の内視鏡診断と治療、②最新の外科手術、③婦人科がんの最新治、④ゲノム医療について、⑤オプジーボなどの新規抗がん剤治療 の 5 つのリレー講演を当センターの各専門家が担当し、がん患者やそのご家族のみならず非常に多くの一般市民の方々が聴講にいられました。満員となった大講堂は熱気に包まれ、講演を見つめる聴衆のまなざしの真剣さには、がん診療に対する関心の高さを改めて知らされました。

当センターは、最新の機器を用いた高度な診断技術、日々進歩する内視鏡技術や、胸腔鏡、腹腔鏡に代表される低侵襲手術、ロボット支援下手術の高度手術への適応拡大に先進的に取り組んでいます。昨今のゲノム医療の進歩に伴う遺伝情報に基づく治療選択にも対応する体制を整えてきました。加えて、がん相談支援センター、緩和ケアチームを通じた多職種が連携してがん患者をトータルに支えることも、がん診療拠点病院としての重要な責務です。

がん登録の最大の目的は、私たちが行うこれらのがん治療の内容を詳細に把握して、治療成績の向上やより良い治療法の開発に結び付けていくこととなります。今回、登録業務にご協力いただきました診療情報管理士、事務職員、医師、看護師を含む全てのスタッフに深謝いたしますとともに、当センター一丸となって地域におけるがん医療のさらなる向上に貢献したいと思います。

集学的がん治療センター長
高 濟峯

- 目次 -

【2016年症例データ】

・部位コード一覧	2
・部位別登録件数	3
・都道府県別件数	6
・症例区分	7
・部位別件数	8

【2013—2016年症例 比較】

・年症例	12
・部位別件数	13
・年齢・性別・部位別	14
・来院経路・発見経緯	16
・治療別件数	17
・症例区分	19

【がん腫別統計】

1. 食道	22	10. 子宮頸部	58
2. 胃	26	11. 子宮体部	62
3. 大腸	30	12. 卵巣	66
4. 肝	34	13. 前立腺	70
5. 胆管	38	14. 腎	74
6. 膵臓	42	15. 膀胱	78
7. 肺	46	16. 甲状腺	82
8. 皮膚	50		
9. 乳腺	54		

1. 調査目的

がん診療連携拠点病院は、各都道府県および地域におけるがん診療の拠点となり、各種医療機関との有機的な連携を図る役割を持つと共に、院内がん登録の体制の整備を通じて施設の実態を把握し、さらに国レベルでのがん対策の進歩を評価するために、そのデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが指定要件として定められている。

2. 調査の方法

1) 収集範囲

登録対象は登録を実施する施設での新規の診断症例または他院で診断された初診症例であり、初発例、再発例を共に含む。

これには治療を行わない経過観察例が含まれる。1腫瘍・1登録の原則に基づき、同一の患者に別のがん腫と判断されるがんが同時または時間をあけて発生した場合は、複数の登録となる。また、同じがんについて当該施設で治療中に再発した症例については登録対象とはならない。

2) 収集方法

各施設においては国立がん研究センターがん対策情報センターの実施する院内がん登録初級者研修を修了した登録実務者が、各がん症例を登録する。データに関しては各施設内で送付前に国立がん研究センターがん対策情報センター院内がん登録室で配布する品質管理ツールを使って、データ項目の矛盾の無いデータを匿名化にして提出する。

3. 収集項目の内容

1) 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従ってあとに追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されて症状が悪化したために治療が行われた場合なども初回治療は「なし」となる。また、初回治療として計画されていても、他院で施行されたものは登録されず、登録施設で行われた治療のみが登録対象となる。

2) 治療前ステージ

UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられた病期を指す。がん取り扱い規約に基づくステージとは若干異なる。前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類される。

4. 公表の対象について

各集計表において、集計値が5以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、値を伏せてー(ハイフン)で表記した。

2016年症例データ

部位(コード)登録件数

当院初回治療の患者のみ (他施設で治療開始後は含まず)

2016年症例 1272件

コード	部位名	件数
C02	口唇および口腔	4
C03・C05	歯肉・口蓋	3
C09・C10	中咽頭	5
C12・C13	下咽頭	9
C15	食道	21
C16	胃	147
C17	小腸	7
C18-C21	結腸及び直腸	159
C22	肝及び肝内胆管	58
C23	胆のう	8
C24	胆管	16
C241	Vater膨大部	1
C25	膵	60
C3・C31	鼻腔および副鼻腔	5
C32	喉頭	2
C34	気管支および肺	191
C37	胸腺	1
C38	縦隔および胸膜	1
C42	他の造血器腫瘍	5
C44	皮膚	29
C48	後腹膜および腹膜	5
C49	その他の軟部組織	2

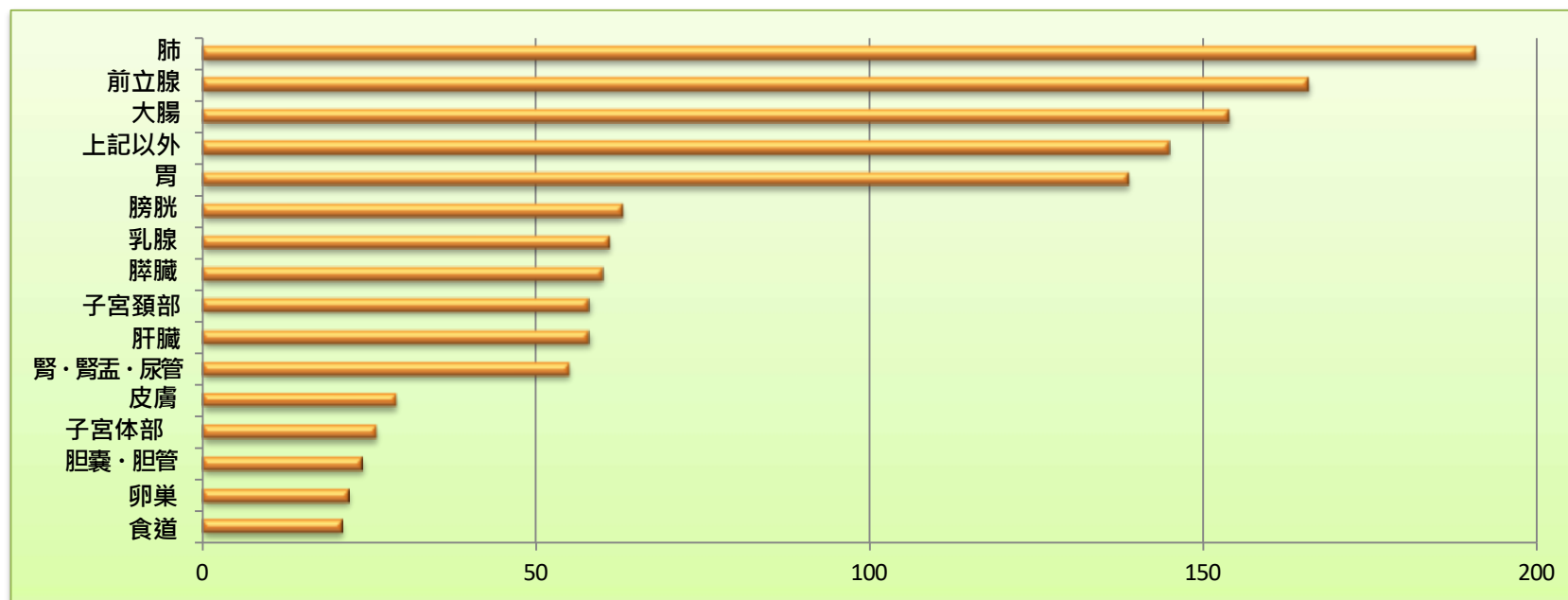
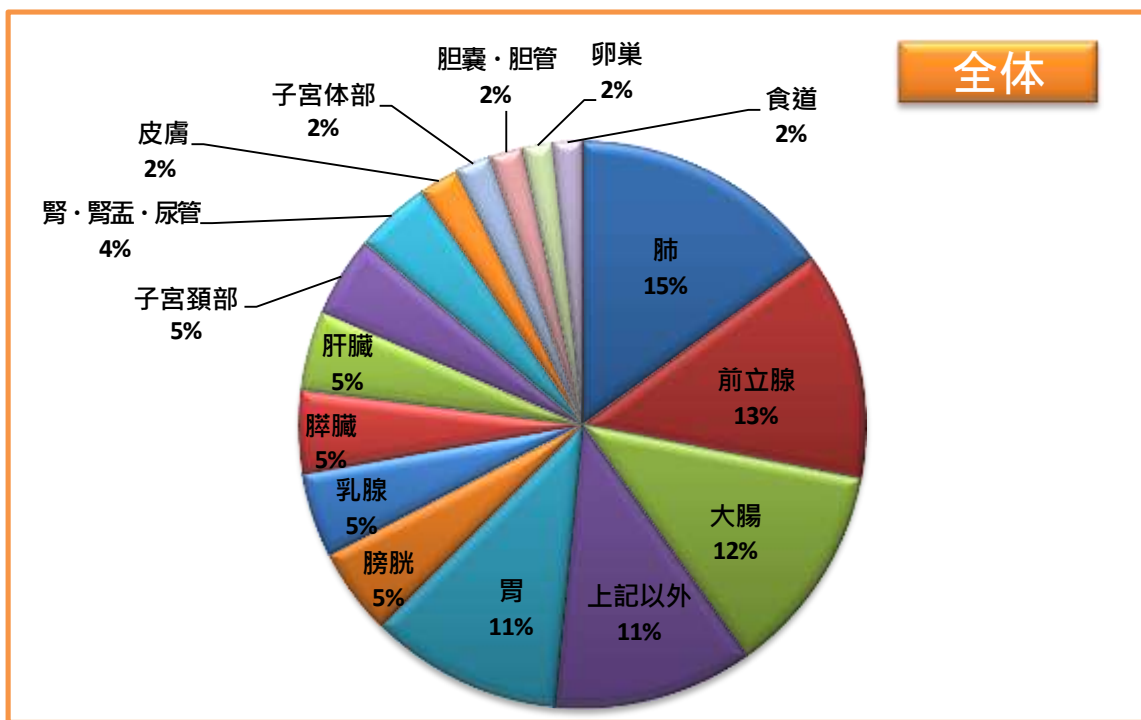
コード	部位名	件数
C50	乳房	61
C51	外陰	2
C52	膣	2
C53	子宮頸部	59
C54	子宮体部	29
C56	卵巣	22
C57・C58	卵管・胎盤	2
C60	陰茎	1
C61	前立腺	166
C62	精巣	2
C64	腎	42
C65	腎盂	3
C66	尿管	10
C67	膀胱	63
C70	髄膜	13
C71	脳	8
C72	中枢神経系	3
C73	甲状腺	21
C74	副腎	1
C75	下垂体	6
C76	その他および不明確な部位 (腹部)	1
C77	リンパ節	6
C80	原発部位不明	10

□ のみ詳細集計あり

件数が5以下の場合、件数を伏せて—(ハイフ)で表記

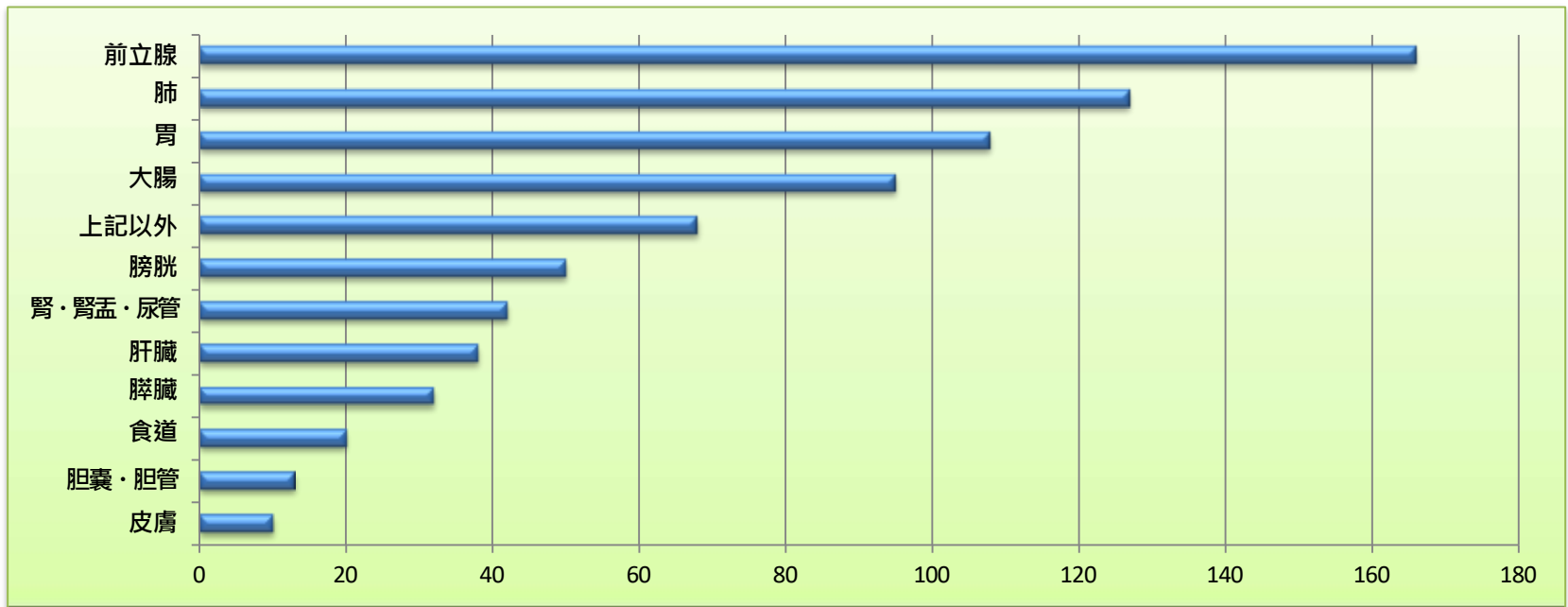
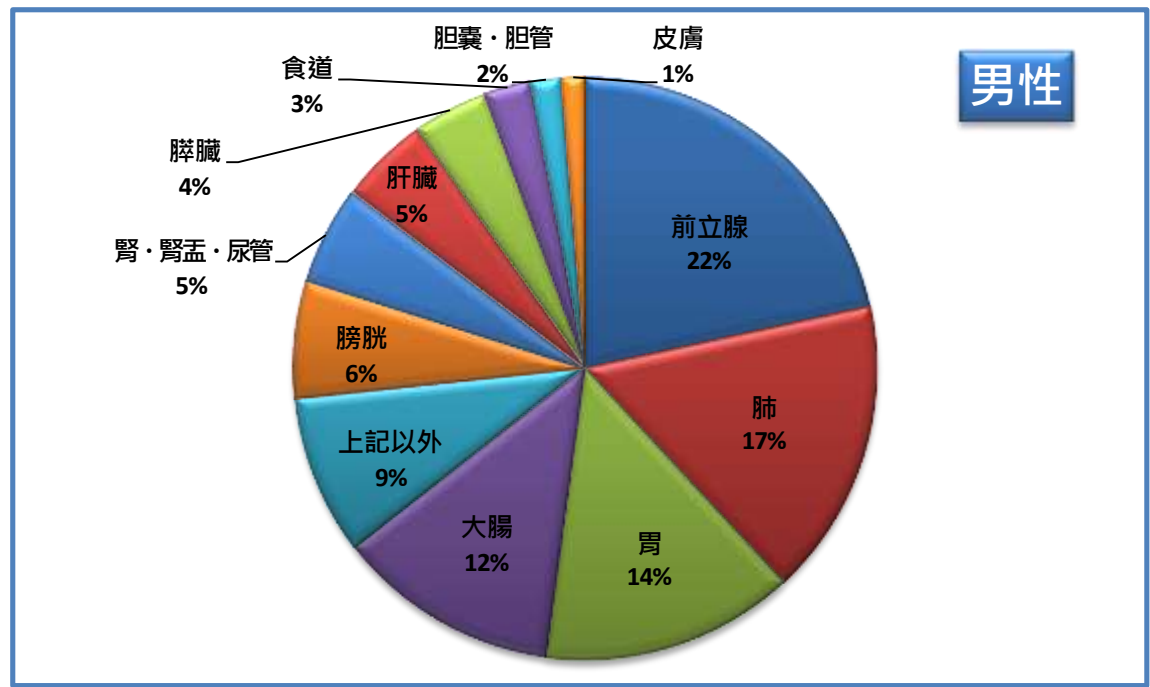
★部位別登録件数 (全体)

部位	件数
肺	191
前立腺	166
大腸	154
上・下記以外	145
胃	139
膀胱	63
乳腺	61
脾臓	60
肝臓	58
子宮頸部	58
腎・腎盂・尿管	55
皮膚	29
子宮体部	26
胆嚢・胆管	24
卵巣	22
食道	21
総計	1272



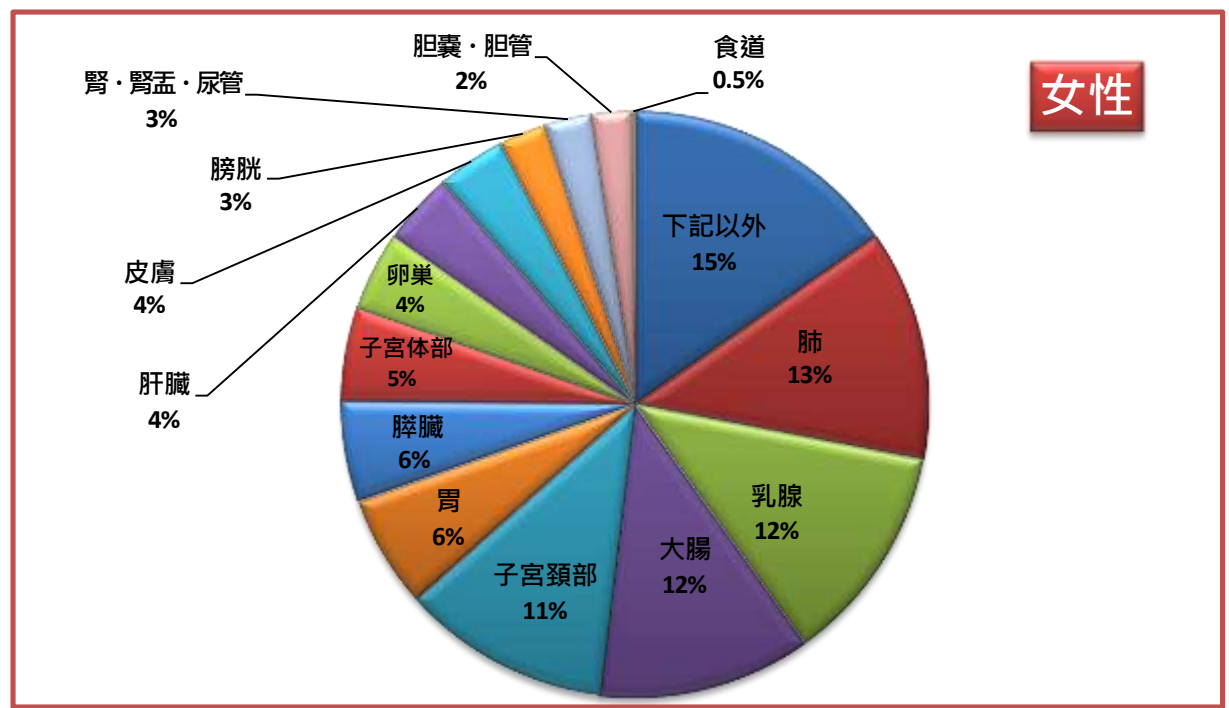
★部位別登録件数 (男性)

部位	件数
前立腺	166
肺	127
胃	108
大腸	95
上・下記以外	68
膀胱	50
腎・腎盂・尿管	42
肝臓	38
膵臓	32
食道	20
胆嚢・胆管	13
皮膚	10
計	769

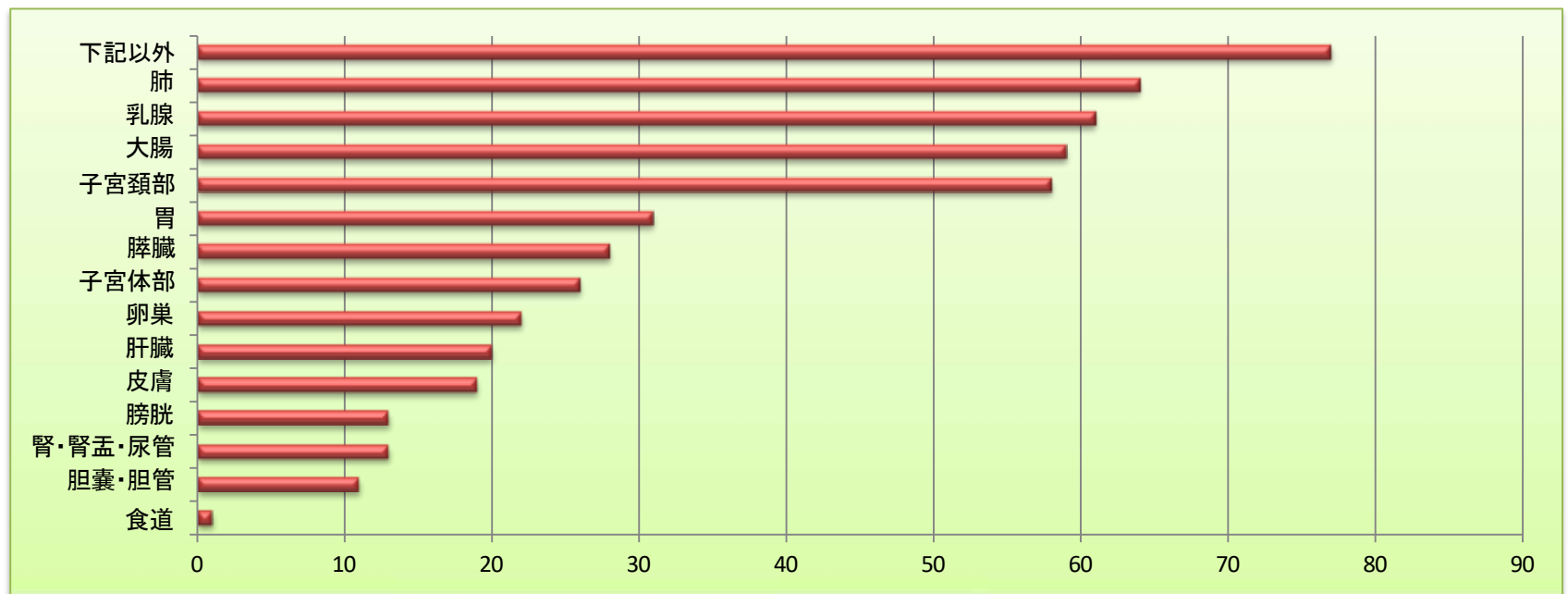


★部位別登録件数 (女性)

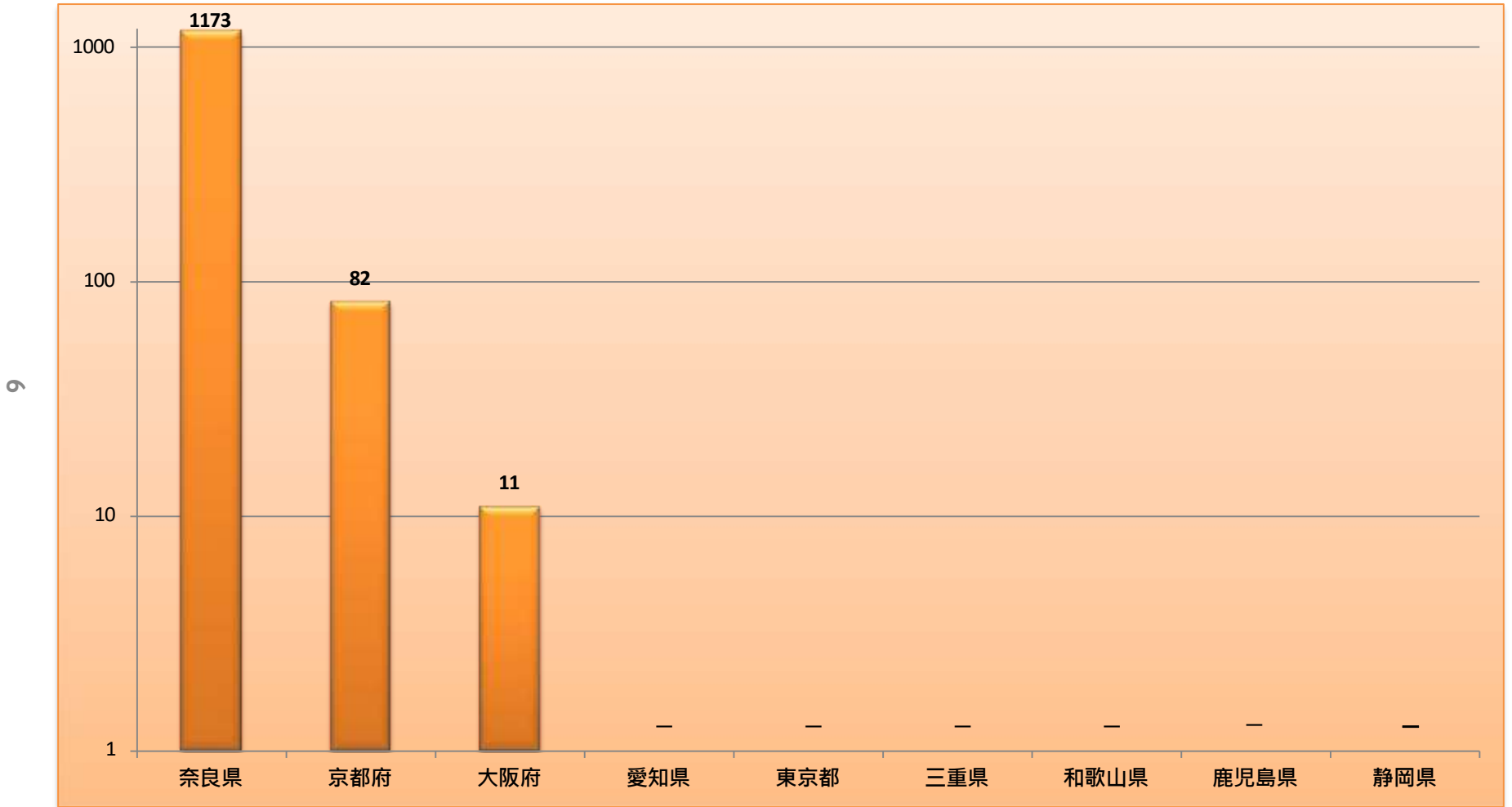
部位	件数
下記以外	77
肺	64
乳腺	61
大腸	59
子宮頸部	58
胃	31
脾臓	28
子宮体部	26
卵巣	22
肝臓	20
皮膚	19
膀胱	13
腎・腎盂・尿管	13
胆嚢・胆管	11
食道	—
計	503



5



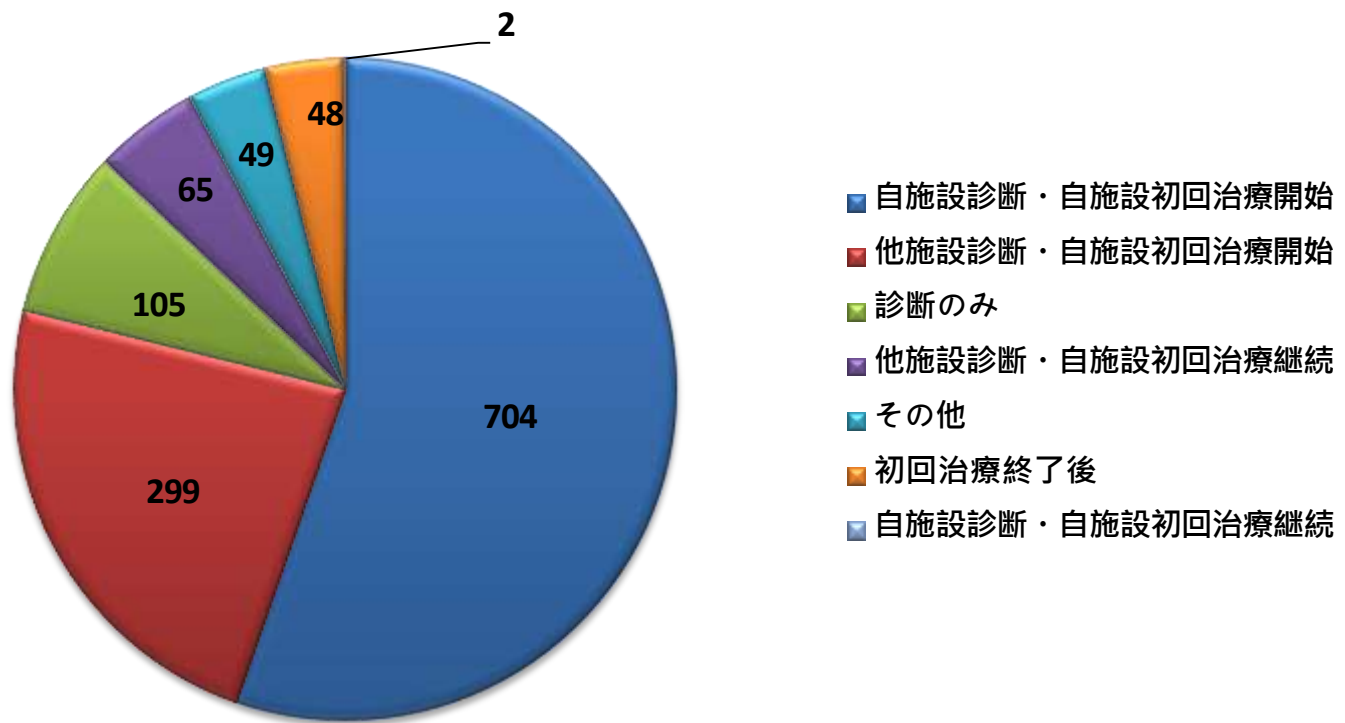
都道府県別件数



症例区分

全登録数	自施設診断・ 自施設初回治療開始	他施設診断・ 自施設初回治療開始	診断のみ	他施設診断・ 自施設初回治療継続	その他	初回治療 終了後	自施設診断・ 自施設初回治療継続
1272	704	299	105	65	49	48	—

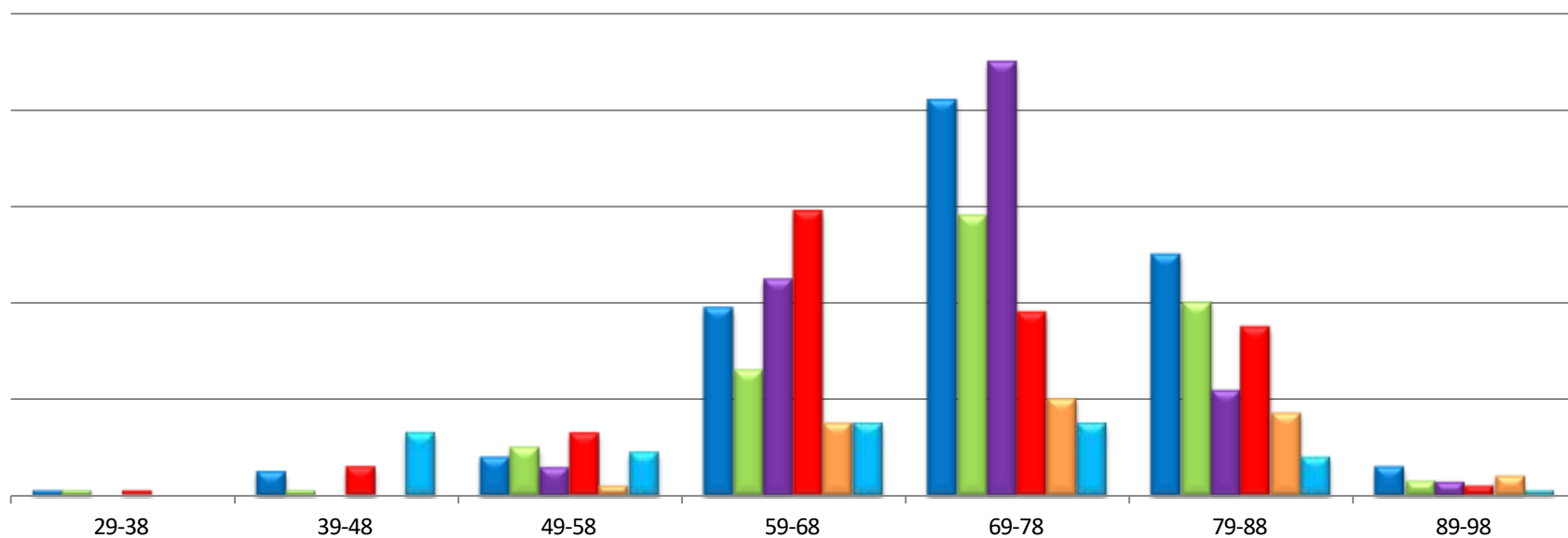
2016年症例より項目内容文変更



部位別登録患者数（年齢別） 5大がん+前立腺

年齢 / 診断名							
	肺	胃	前立腺	大腸	肝臓	乳腺	総計
29-38	—	—	0	—	0	0	—
39-48	5	—	0	6	0	13	25
49-58	8	10	6	13	—	9	48
59-68	39	26	45	59	15	15	199
69-78	82	58	90	38	20	15	303
79-88	50	40	22	35	17	8	172
89-98	6	—	—	—	—	—	19
総計	191	139	166	154	58	61	769

■ 肺 ■ 胃 ■ 前立腺 ■ 大腸 ■ 肝臓 ■ 乳腺



部位別登録患者数（年齢別） 5大がん+前立腺以外

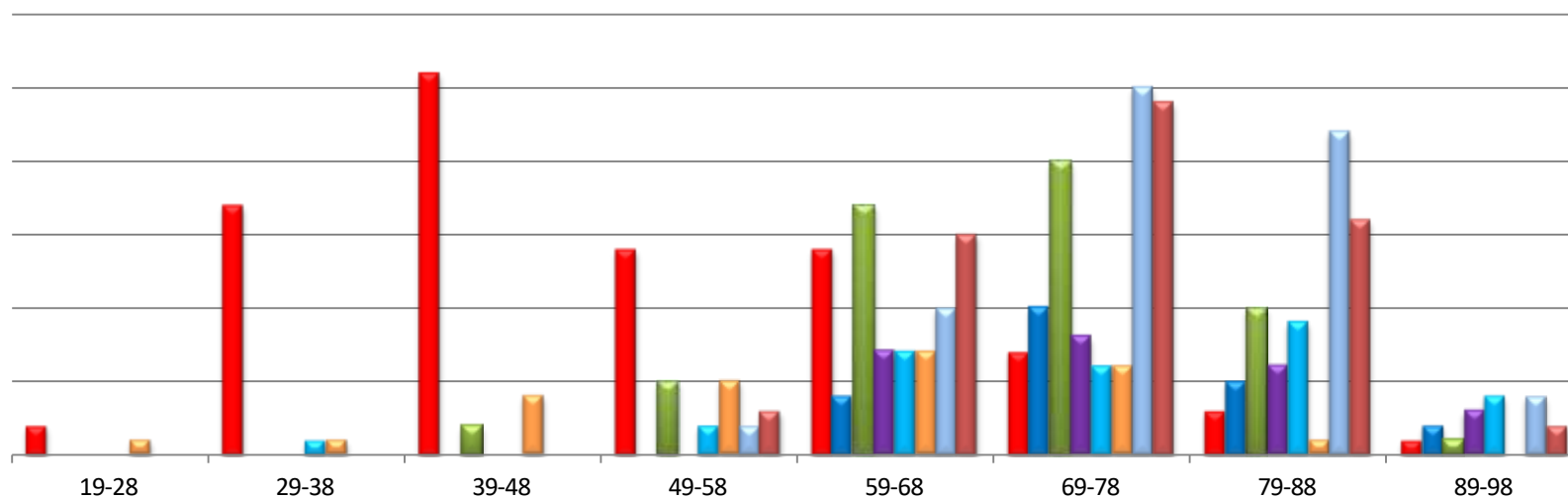
年齢 / 診断名	子宮	食道	腎	胆嚢・胆管	皮膚	卵巣	膀胱	膵臓	総計
19-28	—	0	0	0	0	—	0	0	—
29-38	17	0	0	0	—	—	0	0	19
39-48	26	0	—	0	0	—	0	0	32
49-58	14	0	5	0	—	5	—	—	31
59-68	14	—	17	7	7	7	10	15	81
69-78	7	10	20	8	6	6	25	24	106
79-88	—	5	10	6	9	—	22	16	72
89-98	—	—	—	—	—	0	—	—	17
総計	84	21	55	24	29	25	63	60	361

* 子宮 - 子宮頸部・体部含む

* 腎 - 尿管・腎盂含む

* 卵巣 - 卵管・腹膜含む

■ 子宮 ■ 食道 ■ 腎 ■ 胆嚢・胆管 ■ 皮膚 ■ 卵巣 ■ 膀胱 ■ 膵臓



部位別・治療件数

2016年度版から項目変更があり

部位	手術のみ	手術+放射線	手術+化学療法	手術+放射線+化学療法	放射線のみ	放射線+化学療法	化学療法* (その他の治療含む)
食道	6	0	0	—	10	6	8
胃	103	0	17	0	0	0	30
大腸	130	0	34	—	—	—	40
肝臓	16	0	—	0	0	0	33
胆嚢・胆管	18	0	9	0	—	0	9
膵臓	34	0	24	0	7	5	37
肺	79	0	32	—	48	25	88
皮膚	24	—	0	0	—	0	0
乳腺	13	0	—	—	—	—	9
子宮頸部	48	0	—	0	—	—	5
子宮体部	23	0	9	0	—	—	10
卵巣・卵管・腹膜	17	0	12	0	0	0	17
前立腺	78	0	6	0	8	—	53
腎・尿管・腎盂	45	0	—	0	—	—	5
膀胱	44	0	32	—	—	0	34
上記以外	47	—	6	—	10	—	13
合計	725	—	193	10	99	46	391

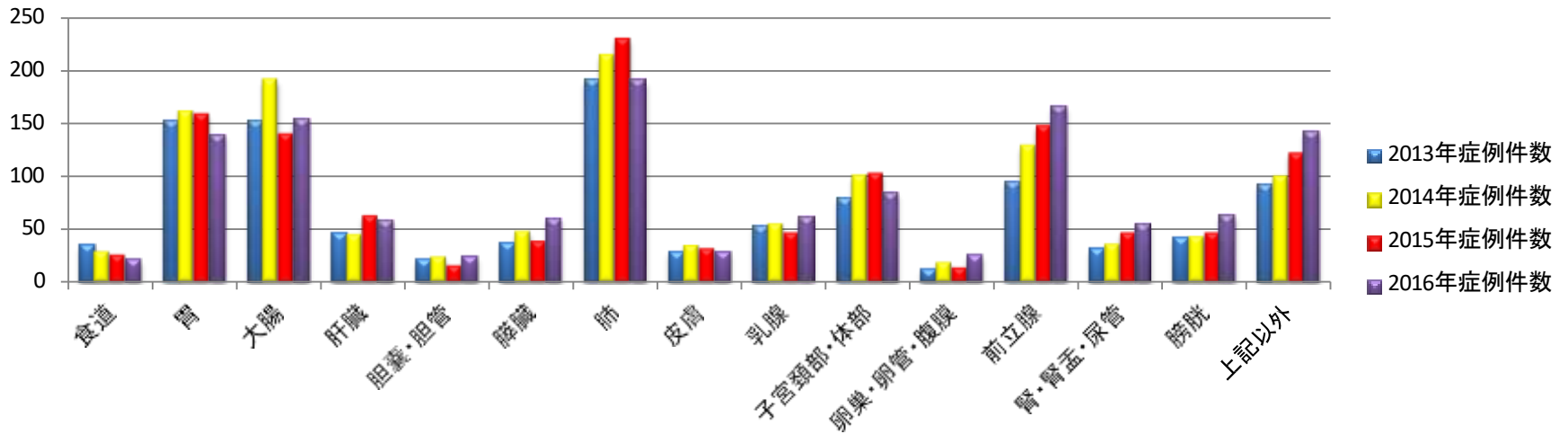
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、
新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

2013-2016年症例 比較

年症例

部位	2013年症例件数	2014年症例件数	2015年症例件数	2016年症例件数
食道	35	29	26	21
胃	153	161	159	139
大腸	152	191	140	154
肝臓	46	45	63	58
胆嚢・胆管	21	24	16	24
膵臓	37	48	39	60
肺	191	214	230	191
皮膚	29	35	32	29
乳腺	53	55	47	61
子宮頸部・体部	79	101	103	84
卵巣・卵管・腹膜	12	19	14	25
前立腺	95	129	148	166
腎・腎盂・尿管	31	36	47	55
膀胱	42	43	47	63
上記以外	92	100	122	142
合計	1068	1230	1233	1272



部位別件数

※自施設で初回治療を開始した患者のみ（他施設で治療開始後は含まず）

2013年症例 963件 2014年症例 1099件 2015年症例 1123件 2016年症例 1003件

診断名コード	2013	2014	2015	2016
C02	—	—	—	—
C03	0	0	0	0
C05	—	0	0	0
C07	—	—	0	0
C08	0	0	—	0
C09	—	0	0	1
C10	—	0	—	0
C11	—	—	—	0
C12	—	0	—	2
C13	—	—	—	0
C15	34	28	22	17
C16	150	159	156	129
C17	—	—	9	—
C18-C20	141	171	129	138
C21	—	—	0	—
C22	42	40	58	53
C23	6	9	5	6
C24	19	19	8	15
C25	33	45	39	53
C30	0	—	0	0
C32	6	10	9	—
C34	182	199	223	158
C37	—	—	—	—
C38	—	—	—	—
C42	—	—	5	—
C44	28	30	31	25
C48	—	—	—	5
C49	—	0	—	—

診断名コード	2013	2014	2015	2016
C50	12	14	15	16
C51	—	—	—	—
C52	—	0	0	—
C53	48	68	64	51
C54	29	31	33	28
C56	9	14	11	19
C57	0	0	0	—
C60	0	0	0	—
C61	81	108	132	134
C62	0	0	—	—
C64	22	22	30	38
C65	—	7	9	—
C66	—	—	7	9
C67	33	41	43	45
C70	6	13	16	12
C71	14	9	10	6
C72	0	—	—	—
C73	8	16	9	7
C74	—	0	0	0
C75	5	8	7	6
C76	0	0	0	—
C77	12	7	12	—
C80	—	6	5	—

年齢・性別 件数

年齢	症例年	男性	女性
<20	2013	0	0
	2014	—	—
	2015	0	—
	2016	0	—
20-29	2013	—	6
	2014	0	12
	2015	—	8
	2016	0	5
30-39	2013	—	15
	2014	6	25
	2015	—	33
	2016	—	21
40-49	2013	20	44
	2014	14	37
	2015	16	37
	2016	14	63
50-59	2013	51	49
	2014	60	53
	2015	46	68
	2016	47	57
60-69	2013	215	110
	2014	204	116
	2015	201	115
	2016	208	114

年齢	症例年	男性	女性
70-79	2013	244	109
	2014	296	146
	2015	307	140
	2016	322	134
80-89	2013	124	58
	2014	152	79
	2015	161	76
	2016	159	86
90-99	2013	9	8
	2014	11	16
	2015	6	14
	2016	15	21
>100	2013	0	0
	2014	0	0
	2015	0	—
	2016	0	—
合計	2013	669	399
	2014	744	486
	2015	492	741
	2016	769	503

年齢 部位別 件数

(5大がん+前立腺)

年齢	症例年	肺	大腸	胃	前立腺	乳腺	肝
<20	2013	0	0	0	0	0	0
	2014	0	0	0	0	0	0
	2015	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0
20-29	2013	0	0	0	0	0	0
	2014	0	0	0	0	0	0
	2015	0	0	0	0	0	0
	2016	0	0	0	0	0	0
30-39	2013	0	—	—	0	—	0
	2014	0	—	—	—	0	0
	2015	0	0	—	0	—	0
	2016	—	—	—	0	—	0
40-49	2013	—	9	—	0	15	0
	2014	—	6	—	—	14	—
	2015	—	5	5	0	—	0
	2016	5	7	—	—	12	0
50-59	2013	14	15	9	—	11	—
	2014	13	25	10	9	9	—
	2015	20	13	10	6	12	5
	2016	10	16	10	6	9	—

年齢	症例年	肺	大腸	胃	前立腺	乳腺	肝
60-69	2013	62	52	49	32	14	14
	2014	51	56	38	44	16	8
	2015	54	42	41	50	12	9
	2016	37	59	30	49	16	17
70-79	2013	69	53	54	48	10	13
	2014	86	73	75	46	8	19
	2015	97	55	66	66	12	29
	2016	87	37	60	88	14	23
80-89	2013	39	19	34	10	—	15
	2014	58	26	32	24	5	14
	2015	53	25	34	26	5	17
	2016	45	32	35	20	8	13
90-99	2013	5	—	—	—	0	—
	2014	—	26	32	24	5	14
	2015	—	0	—	0	0	—
	2016	6	—	—	—	—	—
合計	2013	175	126	139	91	26	43
	2014	198	181	177	138	34	55
	2015	230	140	159	148	47	63
	2016	191	154	139	166	61	58

来院経路・発見経緯

2016年症例より一部項目削除又はまとめた項目等変更箇所あり

来院経路	2013	2014	2015	2016
自主	76	98	114	104
紹介（他院より）	813	915	904	913
紹介（がん検診）	—	14	15	
紹介（健康診断）	—	7	—	
紹介（人間ドック）	—	7	—	
当該施設にて 他疾患の経過観察中	170	187	190	242
剖検にて	0	0	0	
その他	—	—	—	13
不明	0	0	—	0

発見経緯	2013	2014	2015	2016
がん検診	64	111	76	143
健康診断・人間ドック	70	87	98	
他疾患の経過観察中	445	446	491	585
剖検発見	0	0	0	0
その他・不明	489	586	568	544

治療別件数

	食道				胃				大腸				肝			
	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016
手術のみ	16	10	—	6	126	143	116	104	137	162	118	137	17	14	17	16
手術+放射線	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手術+化学療法	7	—	—	0	20	31	20	17	40	38	33	34	—	—	—	—
手術+放射線+化学療法	0	—	0	—	—	0	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0
放射線のみ	13	12	10	10	—	—	—	0	—	—	—	6	0	0	0	—
放射線+化学療法	12	8	8	6	0	—	—	0	0	—	—	—	0	0	0	—
化学療法	20	14	15	—	33	40	34	—	41	46	40	—	5	15	27	—
TAE	0	0	0	8	0	0	0	31	0	0	0	41	12	17	22	34
RFA	—	0	0	—	0	—	0	—	0	0	—	—	12	7	10	—

	胆管				膵				気管支及び肺				皮膚			
	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016
手術のみ	18	12	—	12	25	27	22	34	96	80	106	79	25	25	22	25
手術+放射線	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	—	0	—	—
手術+化学療法	6	6	—	6	21	17	12	24	33	24	30	32	—	—	0	0
手術+放射線+化学療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0
放射線のみ	0	0	0	—	—	—	—	7	34	49	39	48	—	—	—	—
放射線+化学療法	0	0	0	0	—	—	—	5	27	31	16	25	0	0	0	0
化学療法	6	7	—	—	26	29	22	—	81	99	96	—	—	0	—	—
TAE	0	0	0	6	0	0	0	37	0	0	0	89	0	0	0	0
RFA	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	—	—

2015年症例以前

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
- * TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

治療別件数

	乳房				子宮頸部				子宮体部				卵巣			
	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016
手術のみ	6	5	11	13	27	47	49	48	25	23	28	23	9	13	10	16
手術+放射線	—	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手術+化学療法	—	—	—	—	—	5	—	—	9	8	11	9	6	5	8	12
手術+放射線+化学療法	—	—	—	—	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	0
放射線のみ	—	—	6	38	9	8	6	—	0	—	—	9	0	0	0	—
放射線+化学療法	0	—	—	—	6	7	—	—	0	—	0	9	0	0	0	0
化学療法	5	—	6	—	8	14	6	—	11	10	13	—	6	6	8	—
TAE	0	0	0	9	—	0	0	5	0	0	0	10	—	0	0	15
RFA	0	0	0	—	0	0	—	—	0	0	0	—	0	0	0	—

	前立腺				腎				膀胱				甲状腺			
	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016	2013	2014	2015	2016
手術のみ	39	50	66	78	21	19	23	33	30	37	37	47	5	14	7	6
手術+放射線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
手術+化学療法	—	0	0	6	—	0	—	—	7	11	14	32	0	0	0	0
手術+放射線+化学療法	0	0	0	0	0	0	—	0	—	0	—	—	0	0	0	0
放射線のみ	0	7	3	12	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0
放射線+化学療法	0	4	0	—	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
化学療法	32	49	49	—	—	0	—	—	8	11	17	—	0	0	0	—
TAE	0	0	0	59	0	0	0	—	0	0	0	34	0	0	0	0
RFA	0	0	0	—	0	0	0	—	0	—	0	—	0	0	0	—

2015年症例以前

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
- * TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

- * 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。

症例区分別件数

症例区分10 診断のみ

症例区分20 自施設診断・自施設初回治療開始

症例区分21 自施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分30 他施設診断・自施設初回治療開始

症例区分31 他施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分40 初回治療終了後

症例区分80 その他

2016年症例より項目内容文変更・新項目追加

コード	症例区分10					症例区分20					症例区分21				
	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016
C15	—	—	—	—	—	7	16	10	5	10					0
C16	—	5	—	5	9	83	58	67	71	70					0
C18 -C20	—	—	—	—	—	93	98	106	74	83					0
C22	0	—	0	—	—	37	32	23	44	37					0
C24	—	0	0	—	0	11	13	16	5	13					0
C25	—	0	—	—	—	21	25	37	29	38					0
C34	9	12	12	12	17	131	145	134	168	126					0
C44	—	—	—	5	—	23	19	24	25	24					0
C50	6	—	7	—	8	6	8	5	13	14					—
C53	—	—	—	5	6	25	24	—	35	36					0
C54	0	—	—	0	0	14	19	22	24	20					0
C56	0	0	0	—	0	9	8	12	9	15					0
C61	—	—	—	6	13	68	50	70	82	101					—
C64	0	0	—	—	0	9	14	11	16	13					0
C67	0	—	—	—	—	31	25	31	36	32					0
C73	—	—	—	—	7	7	6	12	8	7					0

症例区分別件数

症例区分10 診断のみ

症例区分20 自施設診断・自施設初回治療開始

症例区分21 自施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分30 他施設診断・自施設初回治療開始

症例区分31 他施設診断・自施設初回治療継続 (新項目)

症例区分40 初回治療終了後

症例区分80 その他

2016年症例より項目内容文変更・新項目追加

コード	症例区分30					症例区分31					症例区分40					症例区分80				
	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016	2012	2013	2014	2015	2016
C15	16	16	12	15	7					0	—	—	—	0	0	—	—	—	—	
C16	68	87	79	75	59					—	—	—	—	—	—	0	—	6	6	
C18-C20	36	42	64	52	55					11	15	10	19	11	7	0	0	0	—	0
C22	8	9	13	11	16					—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	
C24	—	6	—	—	—					0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	
C25	5	8	6	7	15					0	—	—	0	—	0	0	—	0	—	
C34	28	23	50	40	32					—	10	9	15	7	6	—	—	—	—	9
C44	5	7	—	—	—					—	0	—	5	—	0	0	—	0	0	
C50	—	0	—	0	—					34	39	41	41	32	—	—	0	—	0	0
C53	8	19	—	21	15					0	—	—	0	5	0	0	—	0	—	—
C54	7	8	—	7	8					0	0	0	0	—	0	0	—	—	—	
C56	—	—	—	—	—					—	0	0	0	—	0	0	0	0	—	
C61	7	24	34	41	33					9	7	13	21	16	—	0	—	—	—	5
C64	7	8	8	13	25					0	—	—	—	—	0	0	0	0	—	
C67	—	6	9	—	13					—	5	9	—	—	12	0	0	0	—	—
C73	—	0	—	0	0					0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	5

がん腫別統計

1. 食道 Esophagus (ICD-0 C15) 21件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

食道（C15）治療別件数

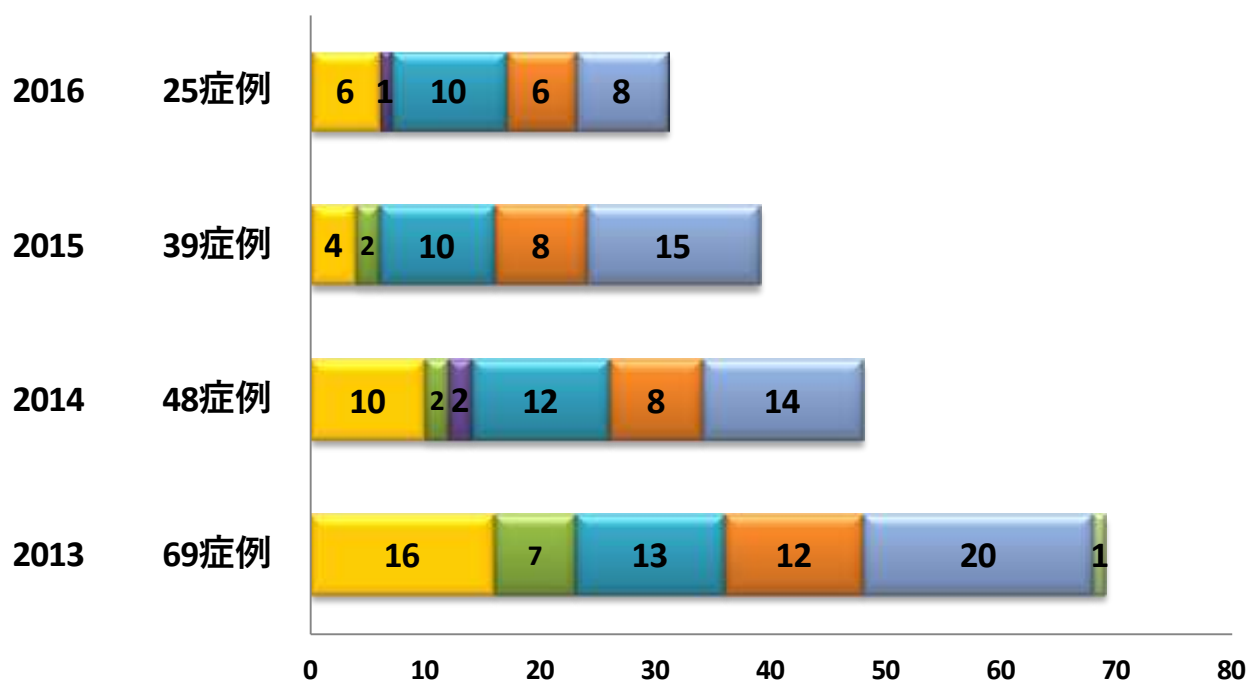
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

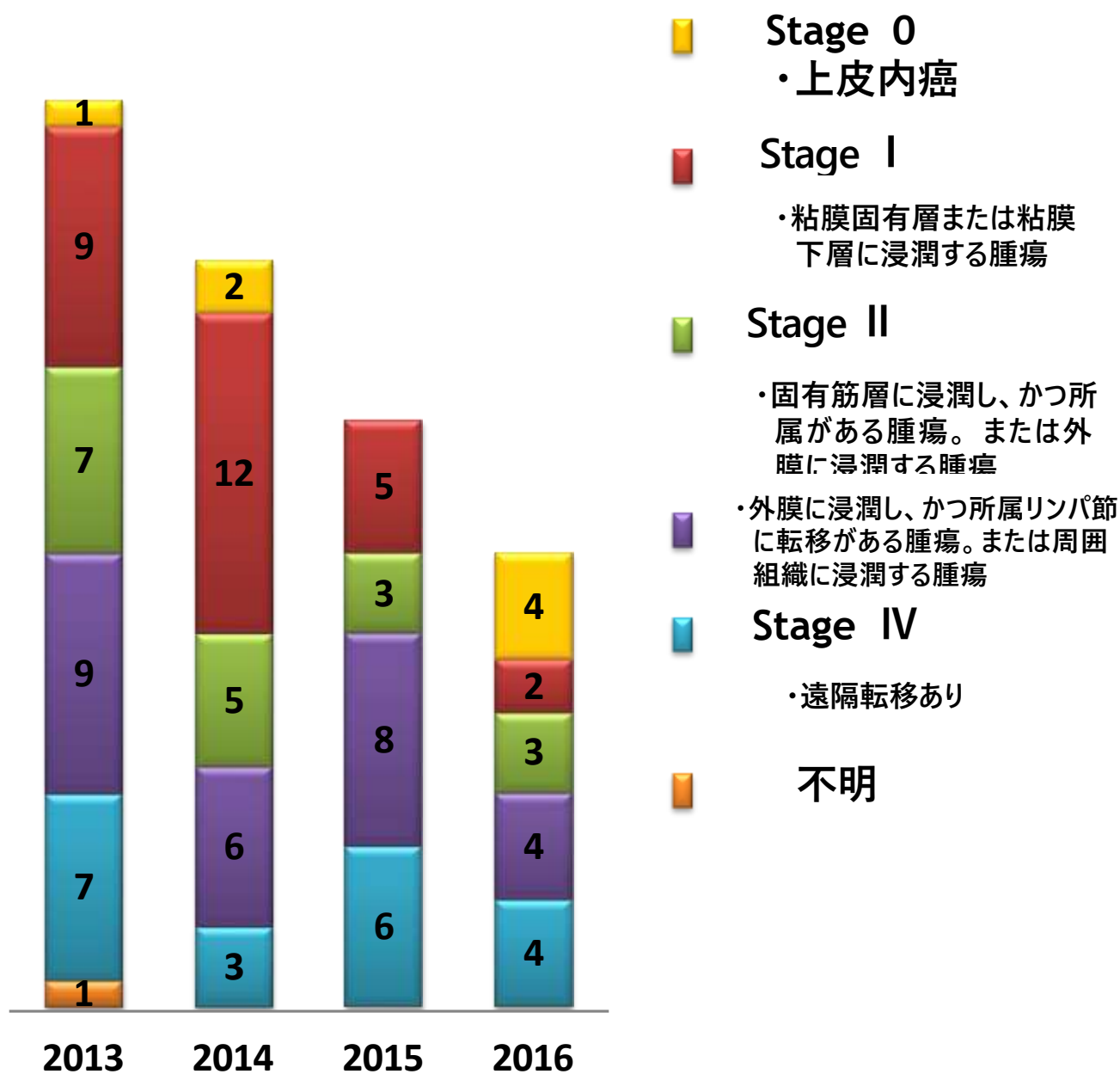
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	69症例	2014	48症例	2015	39症例	2016	25症例
■ 手術のみ	16		10		4		6	
■ 手術＋放射線	0		0		0		0	
■ 手術＋化学療法	7		2		2		0	
■ 手術＋放射線＋化学療法	0		2		0		1	
■ 放射線のみ	13		12		10		10	
■ 放射線＋化学療法	12		8		8		6	
■ 化学療法のみ	20		14		15		8	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	1		0		0		—	

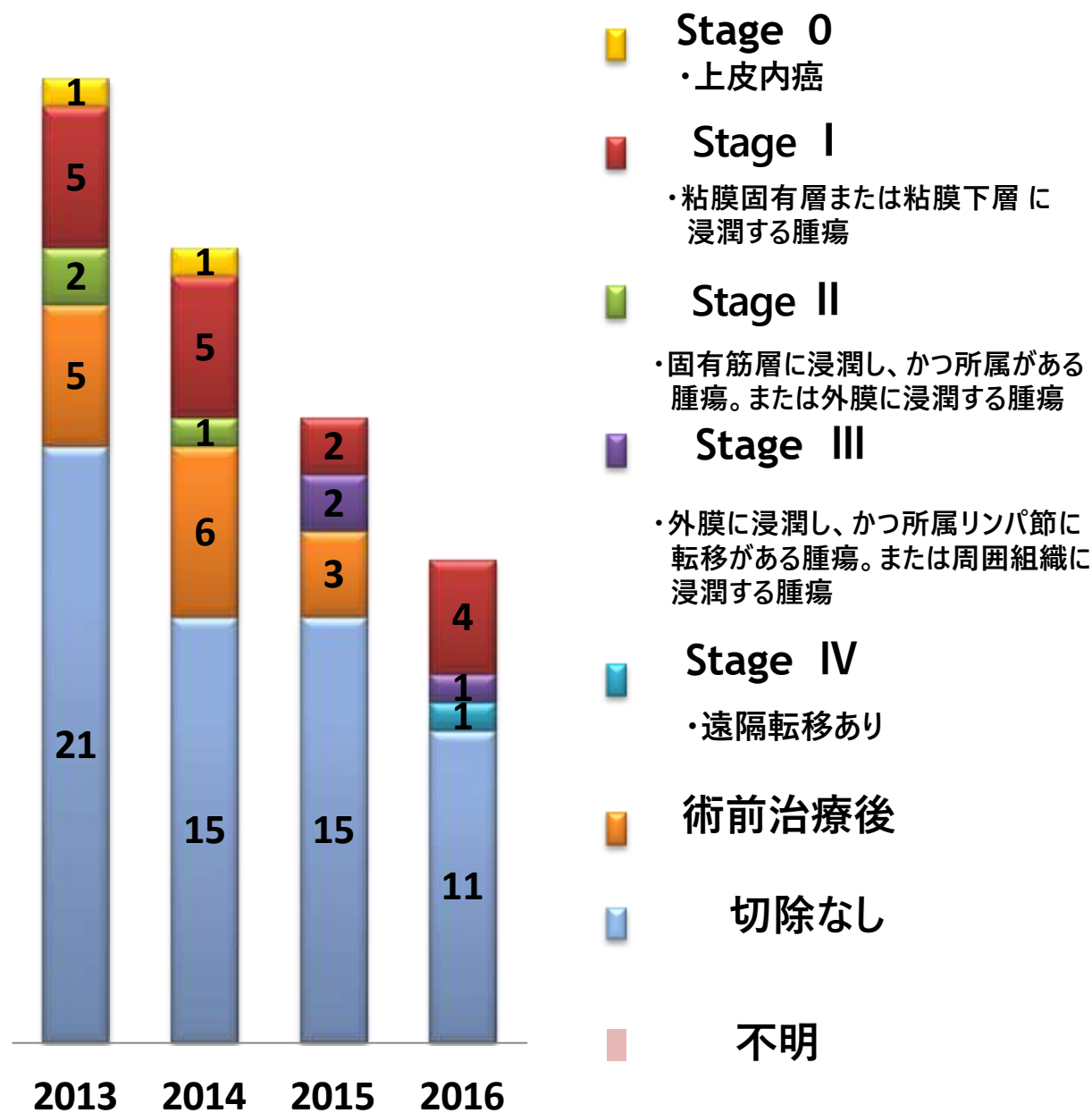
食道 (C15)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



食道 (C15)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



2. 胃 Stomach (ICD-0 C16) 147件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

胃 (C16) 治療別件数

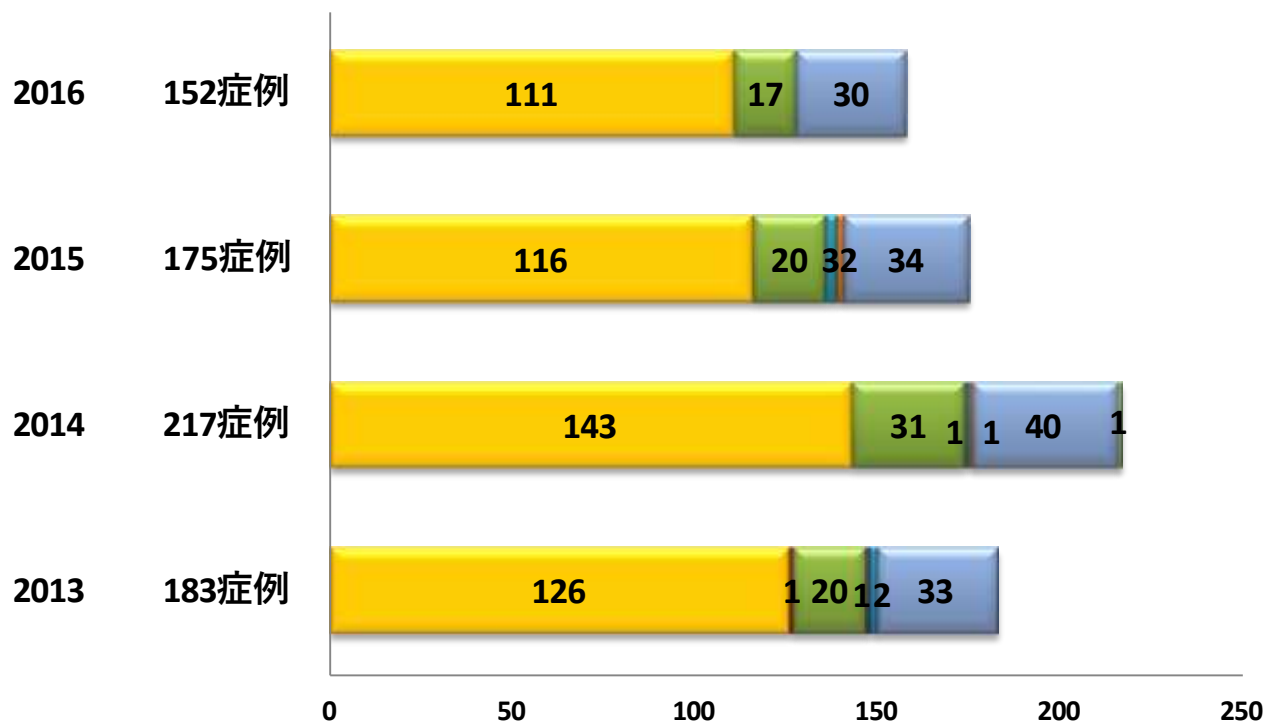
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

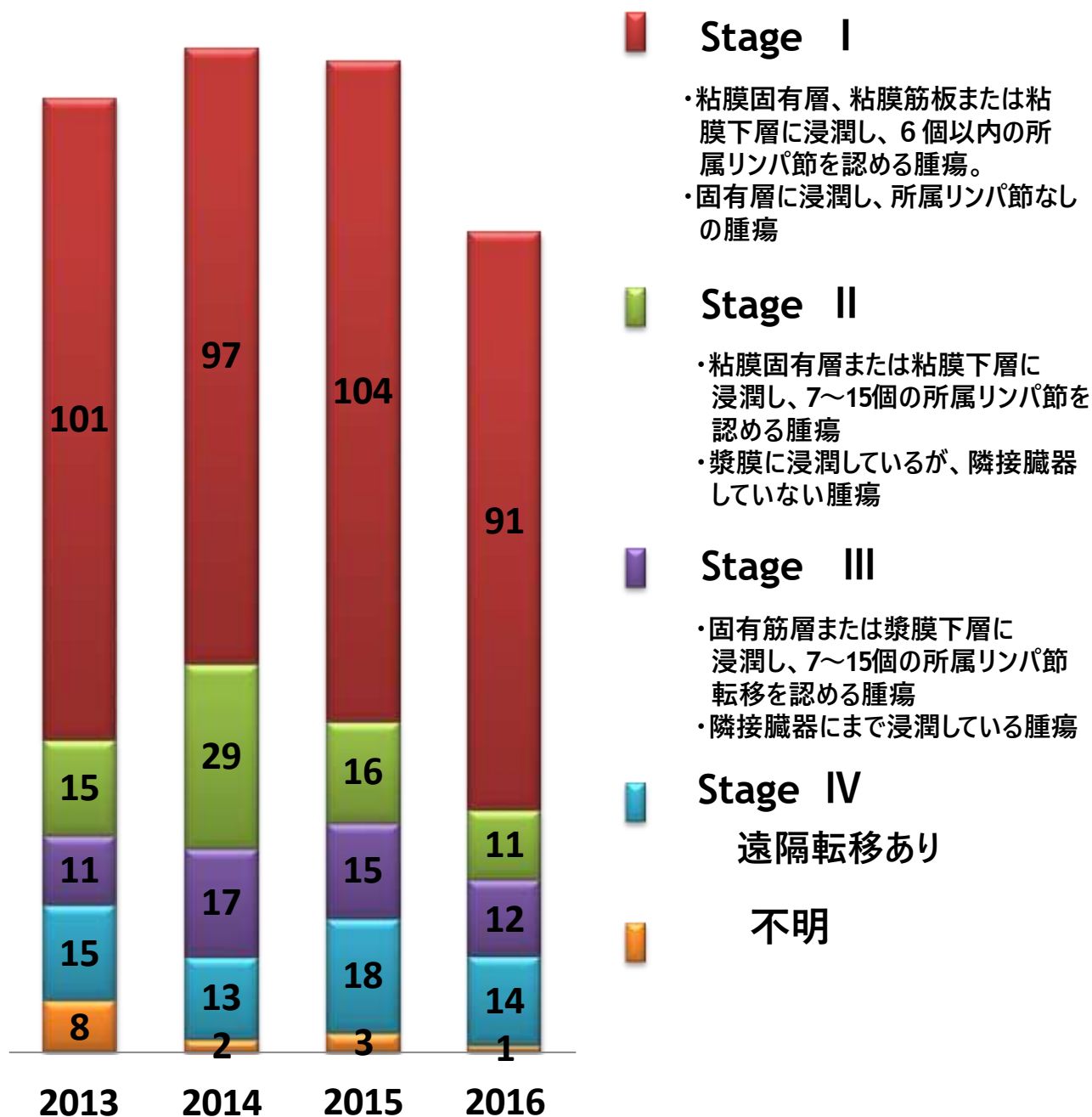
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	183症例	2014	217症例	2015	175症例	2016	152症例
■ 手術のみ	126	143	116	111				
■ 手術 + 放射線	1	0	0	0				
■ 手術 + 化学療法	20	31	20	17				
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	1	0	0	0				
■ 放射線のみ	2	1	3	0				
■ 放射線 + 化学療法	0	1	2	0				
■ 化学療法のみ	33	40	34	30				
■ TAE	0	0	0					
■ RFA	0	1	0					

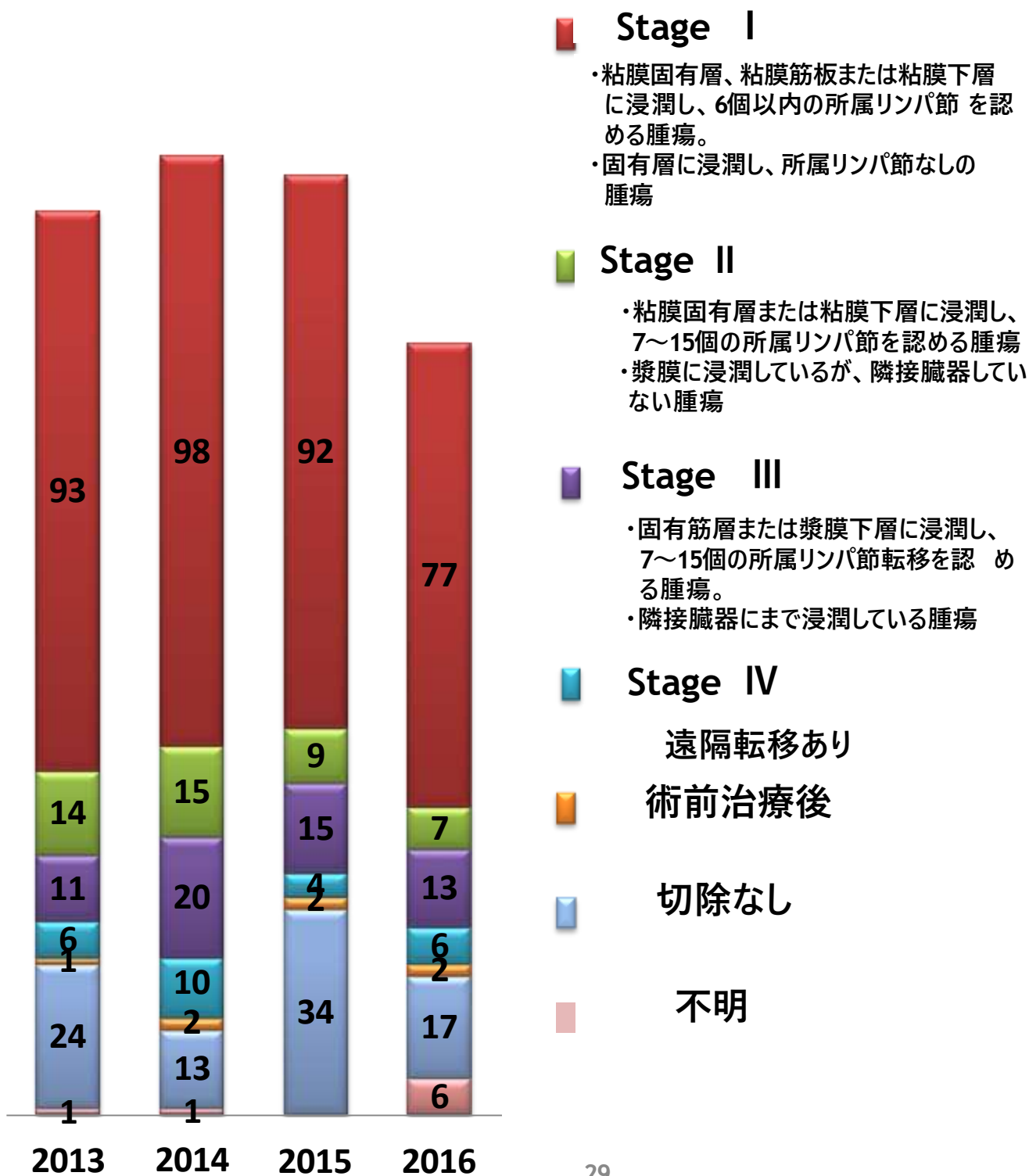
胃 (C16)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



胃 (C16)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



3. 結腸および直腸

Colon and Rectum

(ICD-0 C18, C19, C20) 159件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者み。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

結腸および直腸（C18-C20） 治療別件数

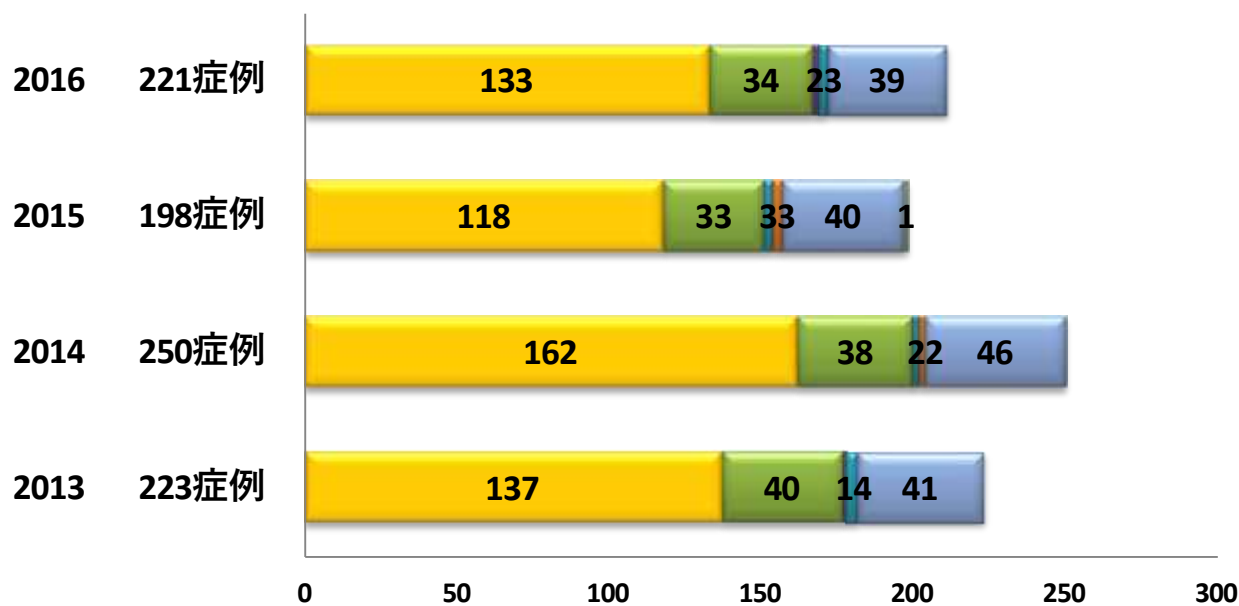
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

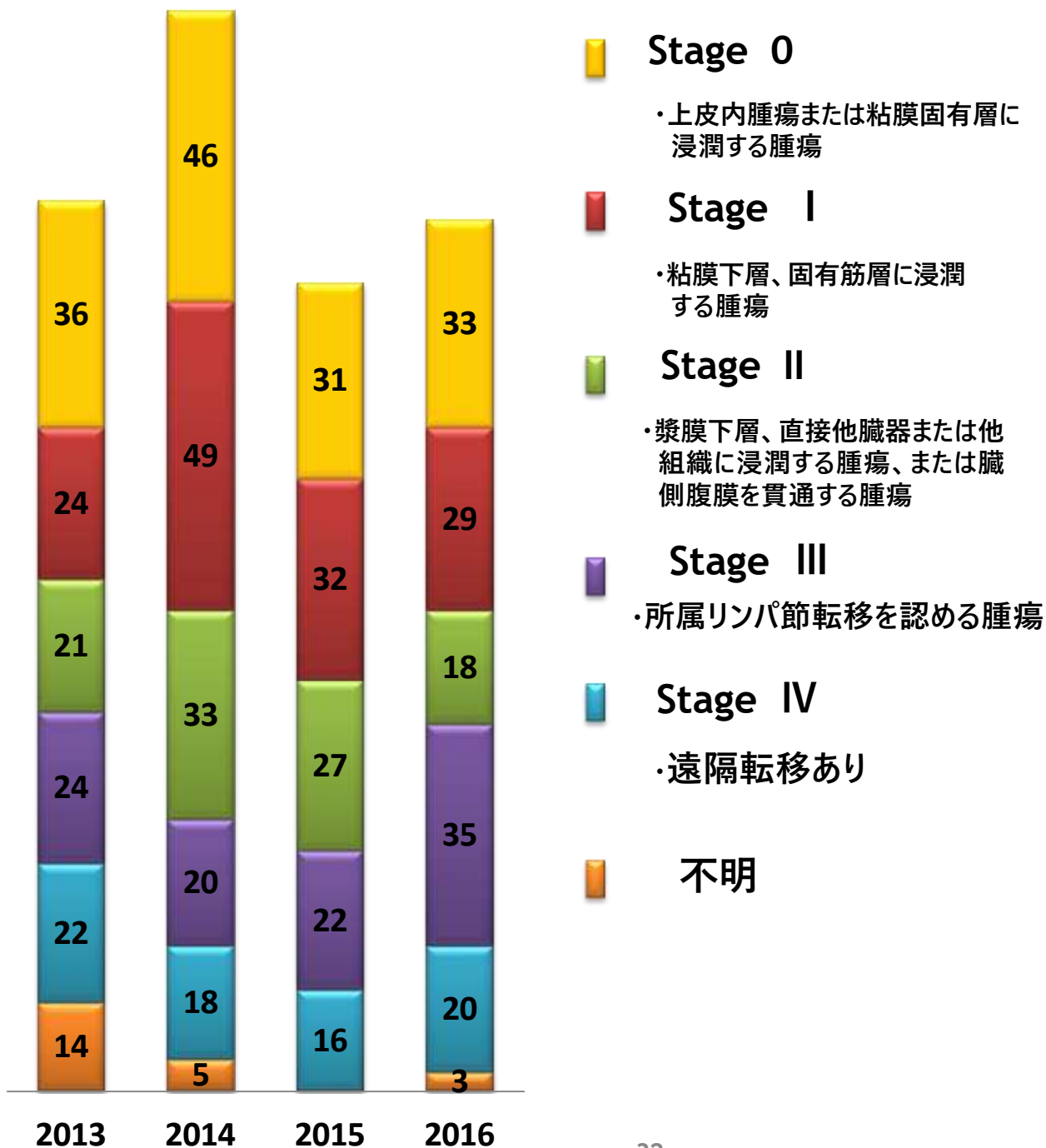
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	223症例	2014	250症例	2015	198症例	2016	221症例
■ 手術のみ	137	162	118	133				
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0				
■ 手術 + 化学療法	40	38	33	34				
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	1	0	0	2				
■ 放射線のみ	4	2	3	3				
■ 放射線 + 化学療法	0	2	3	0				
■ 化学療法のみ	41	46	40	39				
■ TAE	0	0	0	0				
■ RFA	0	0	0	1				

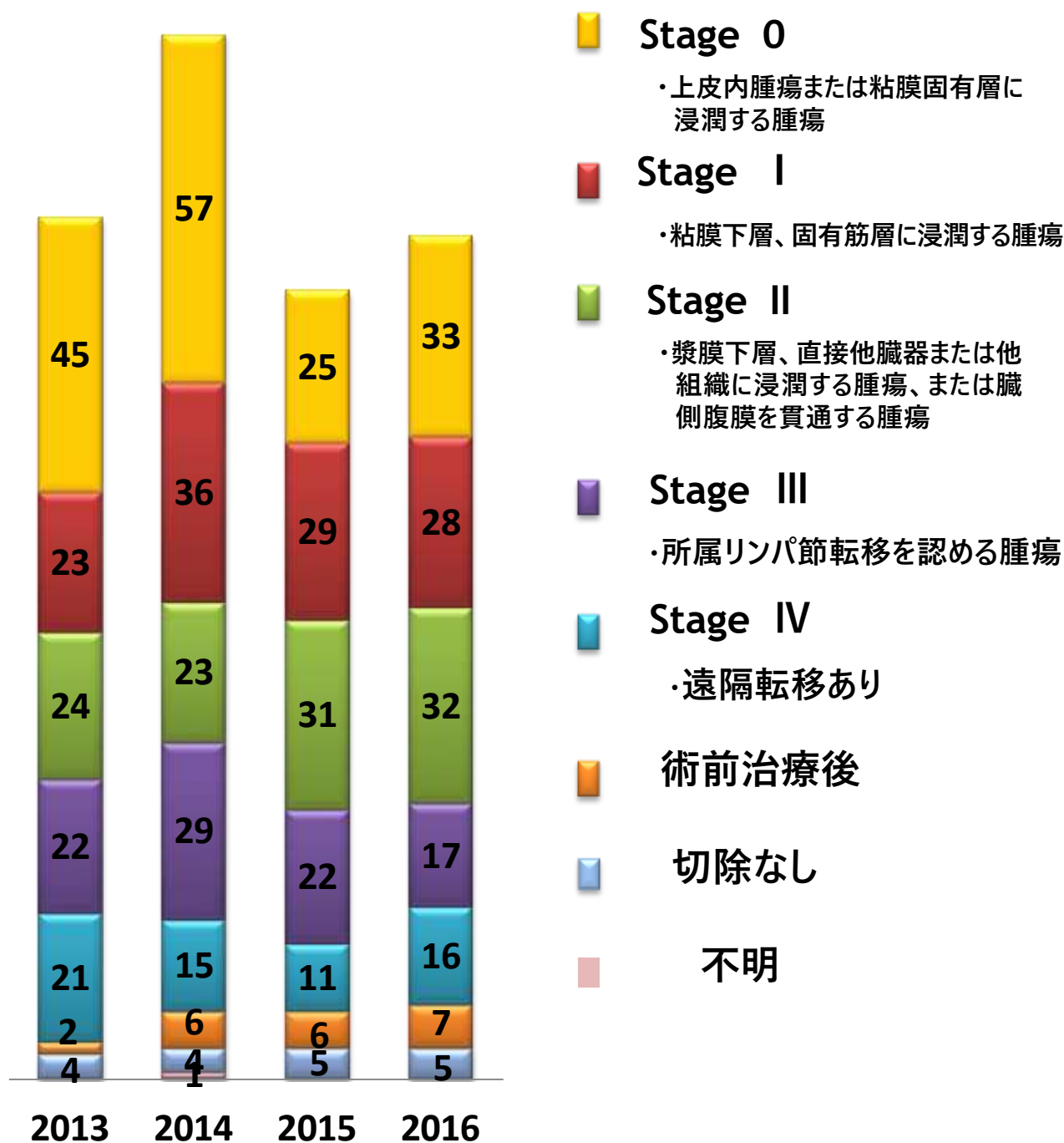
結腸および直腸 (C18-20) 治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



結腸および直腸（C18-20） 治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



4. 肝臓 Liver C22 (ICD-0) 58件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

肝臓 (C22) 治療別件数

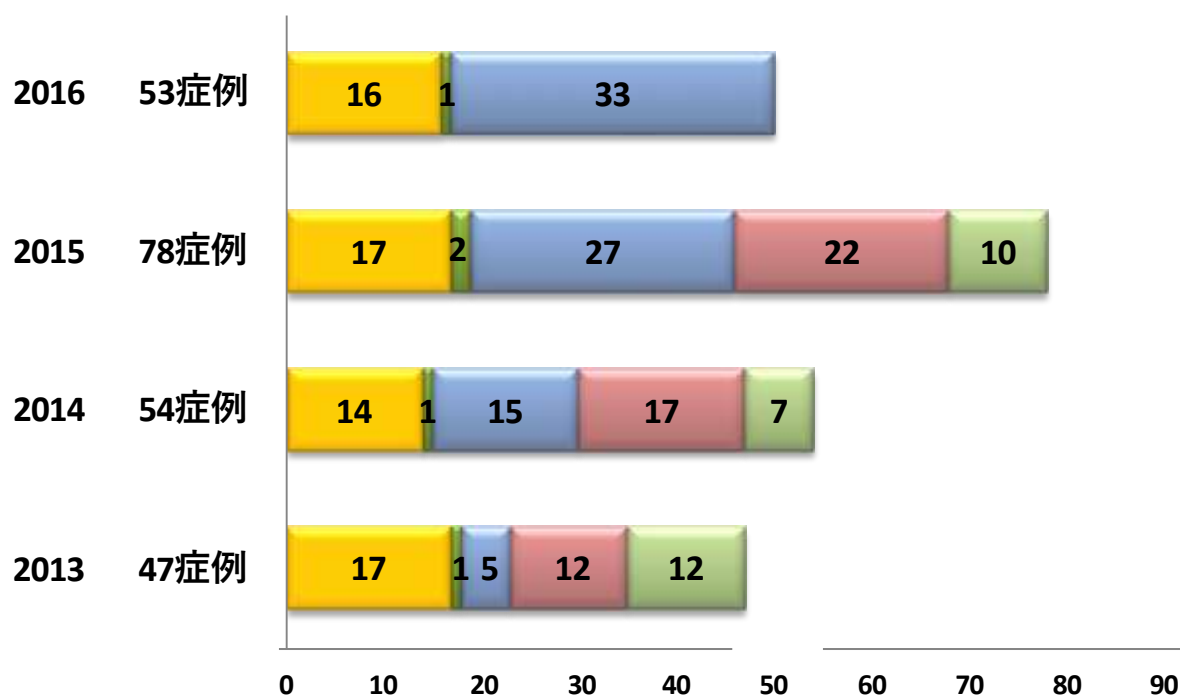
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

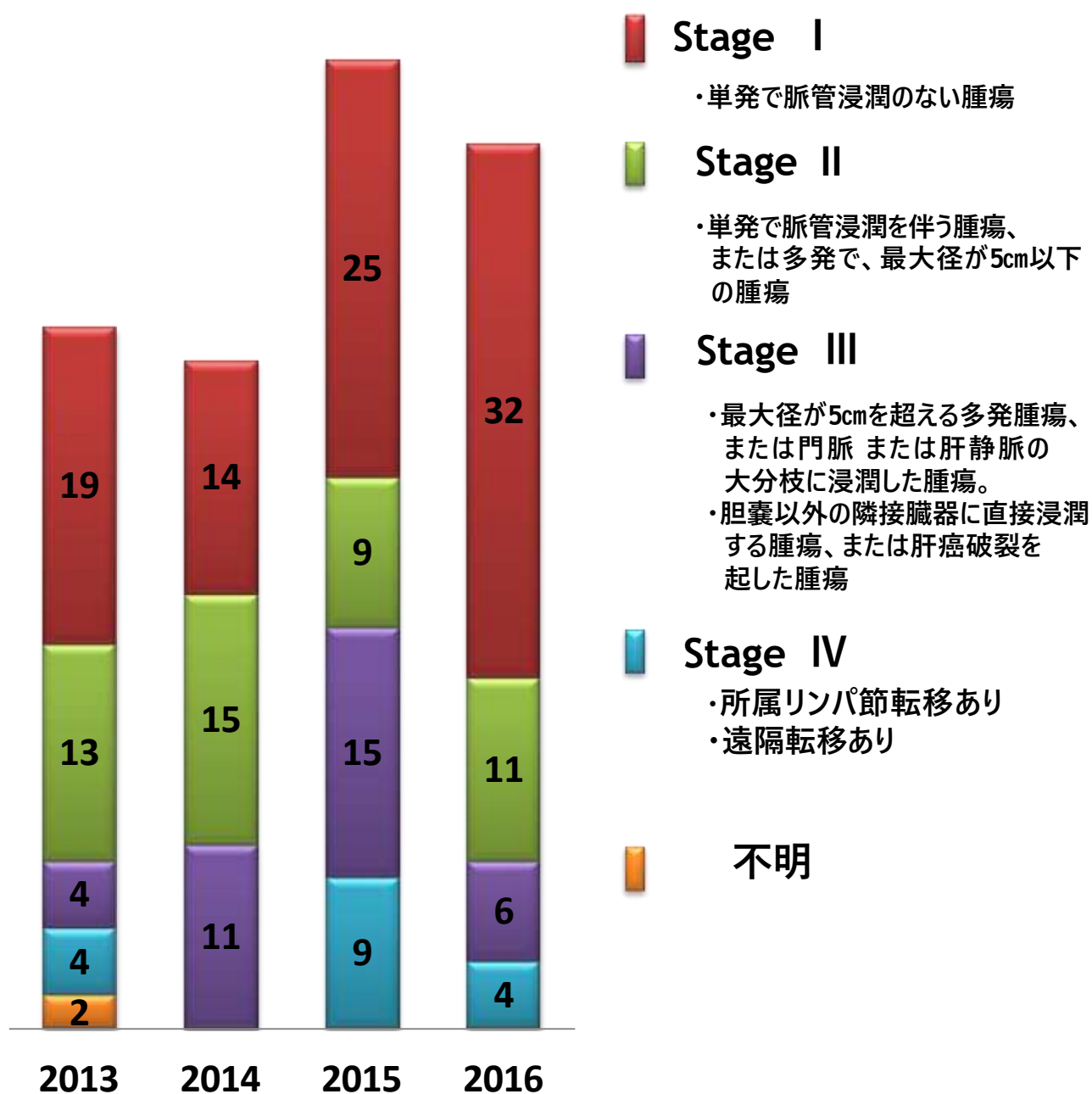
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013 47症例	2014 54症例	2015 78症例	2016 53症例
■ 手術のみ	17	14	17	16
■ 手術+放射線	0	0	0	0
■ 手術+化学療法	1	1	2	1
■ 手術+放射線+化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	0	0	0
■ 放射線+化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法のみ	5	15	27	33
■ TAE	12	17	22	—
■ RFA	12	7	10	—

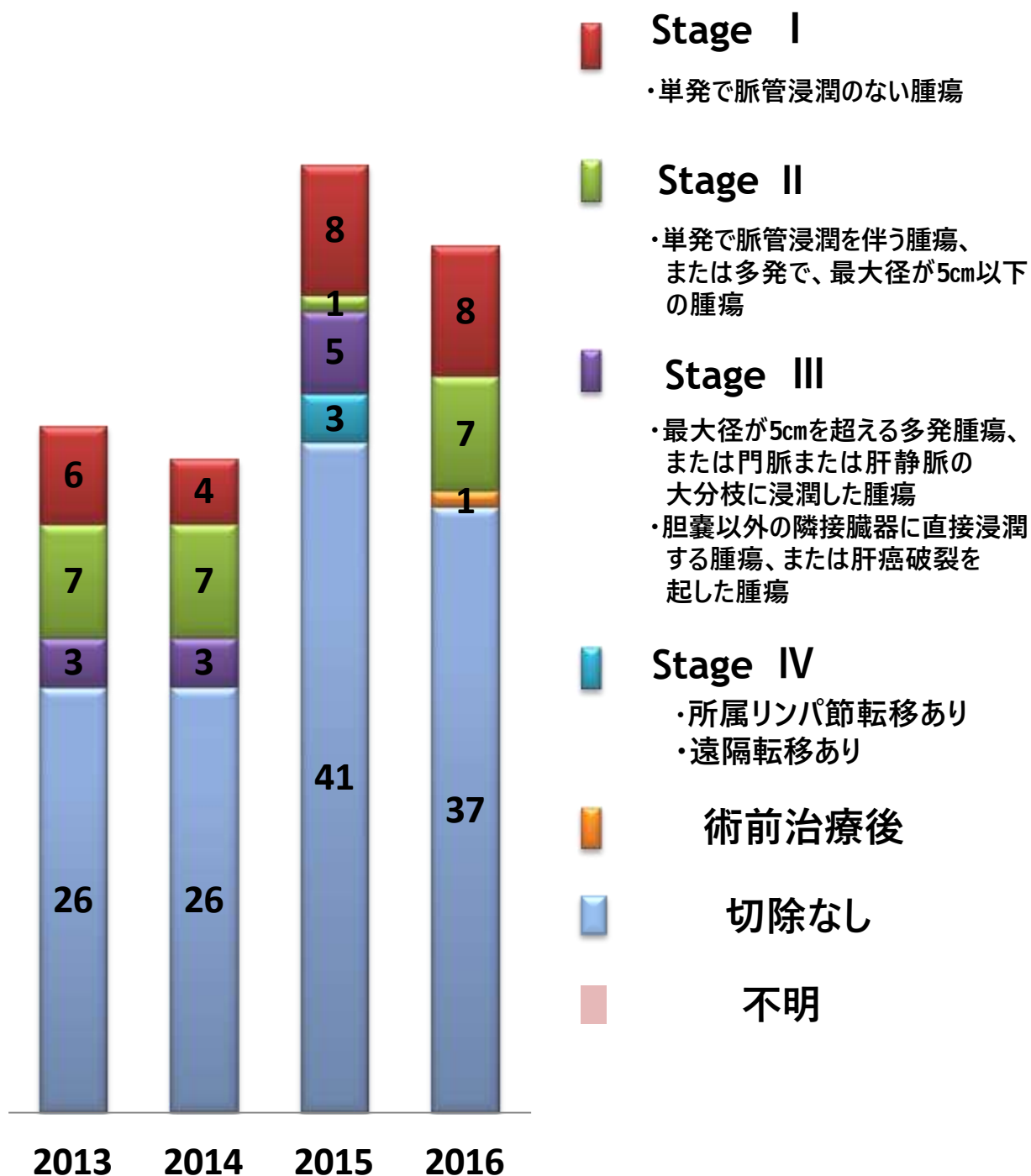
肝臓 (C22)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



肝臓 (C22) 治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



5. 胆管 Bile duct (ICD-0 C24) 16件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

胆管 (C24) 治療別件数

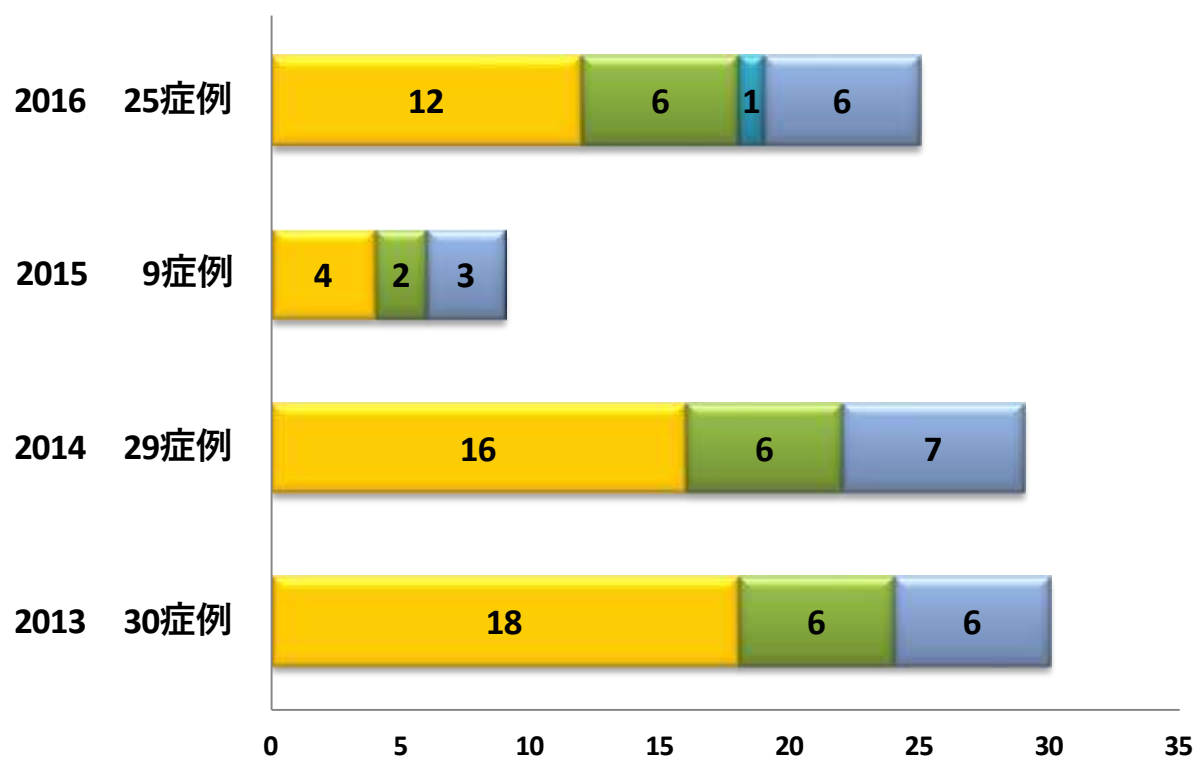
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

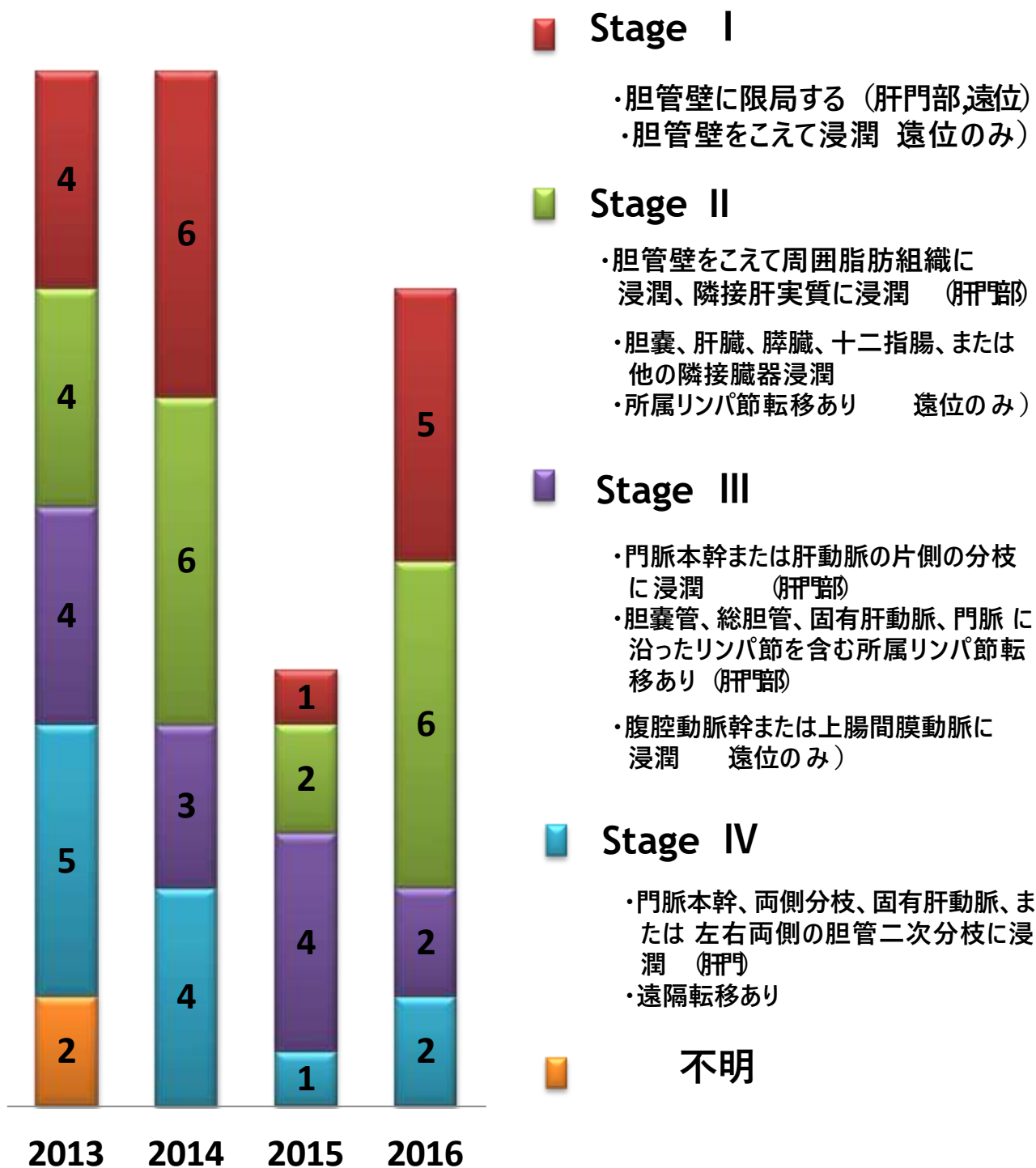
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013 30症例	2014 29症例	2015 9症例	2016 25症例
■ 手術のみ	18	16	4	12
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	6	6	2	6
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	0	0	1
■ 放射線 + 化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法のみ	6	7	3	6
■ TAE	0	0	0	—
■ RFA	0	0	0	—

胆管 (C24)治療前ステージ

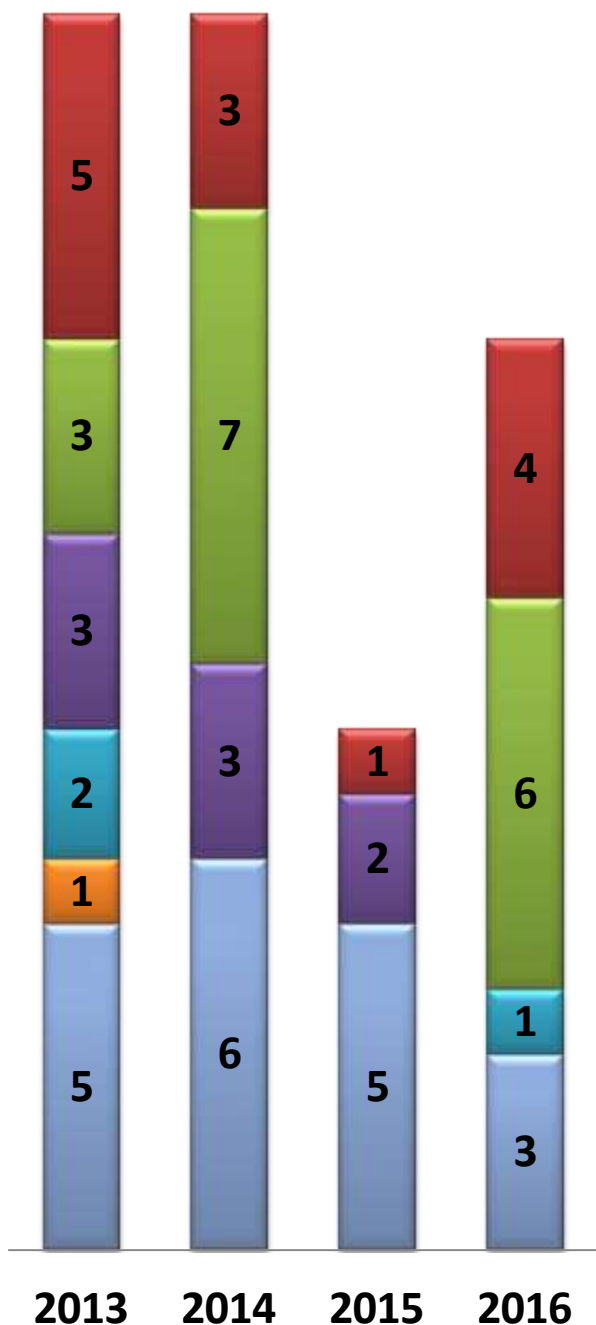
* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



胆管 (C24)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

- **Stage I**
 - ・胆管壁に局限する (肝門部,遠位)
 - ・胆管壁をこえて浸潤 (遠位のみ)
- **Stage II**
 - ・胆管壁をこえて周囲脂肪組織に浸潤、隣接肝実質に浸潤 (肝門部)
 - ・胆嚢、肝臓、膵臓、十二指腸、または他の隣接臓器浸潤
 - ・所属リンパ節転移あり (遠位のみ)
- **Stage III**
 - ・門脈本幹または肝動脈の片側の分枝に浸潤 (肝門部)
 - ・胆嚢管、総胆管、固有肝動脈、門脈に沿ったリンパ節を含む所属リンパ節転移あり (肝門部)
 - ・腹腔動脈幹または上腸間膜動脈に浸潤 (遠位のみ)
- **Stage IV**
 - ・門脈本幹、両側分枝、固有肝動脈、または左右・両側の胆管二次分枝に浸潤 (肝門)
 - ・遠隔転移あり
- **術前治療後**
- **切除なし**
- **不明**



6. 膵臓 Pancreas (ICD-0 C25) 60件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

*** 2016年症例から項目変更があり**

膵臓 (C25) 治療別件数

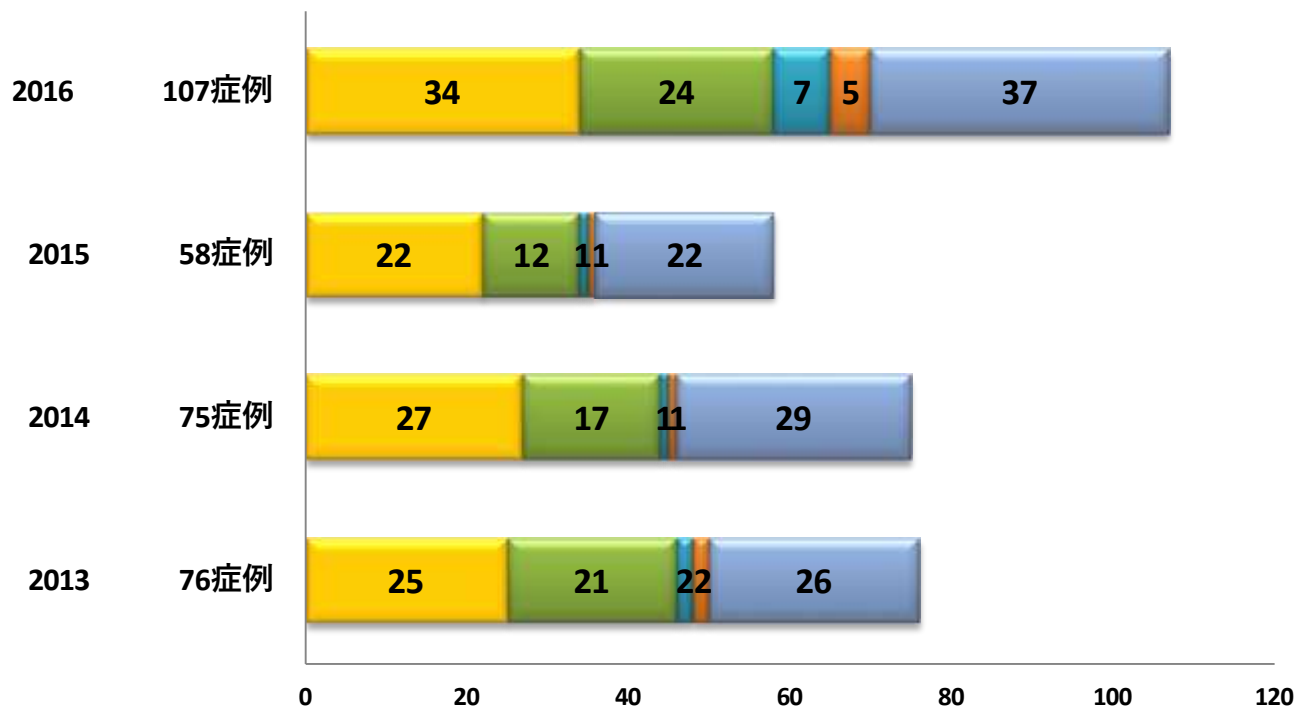
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

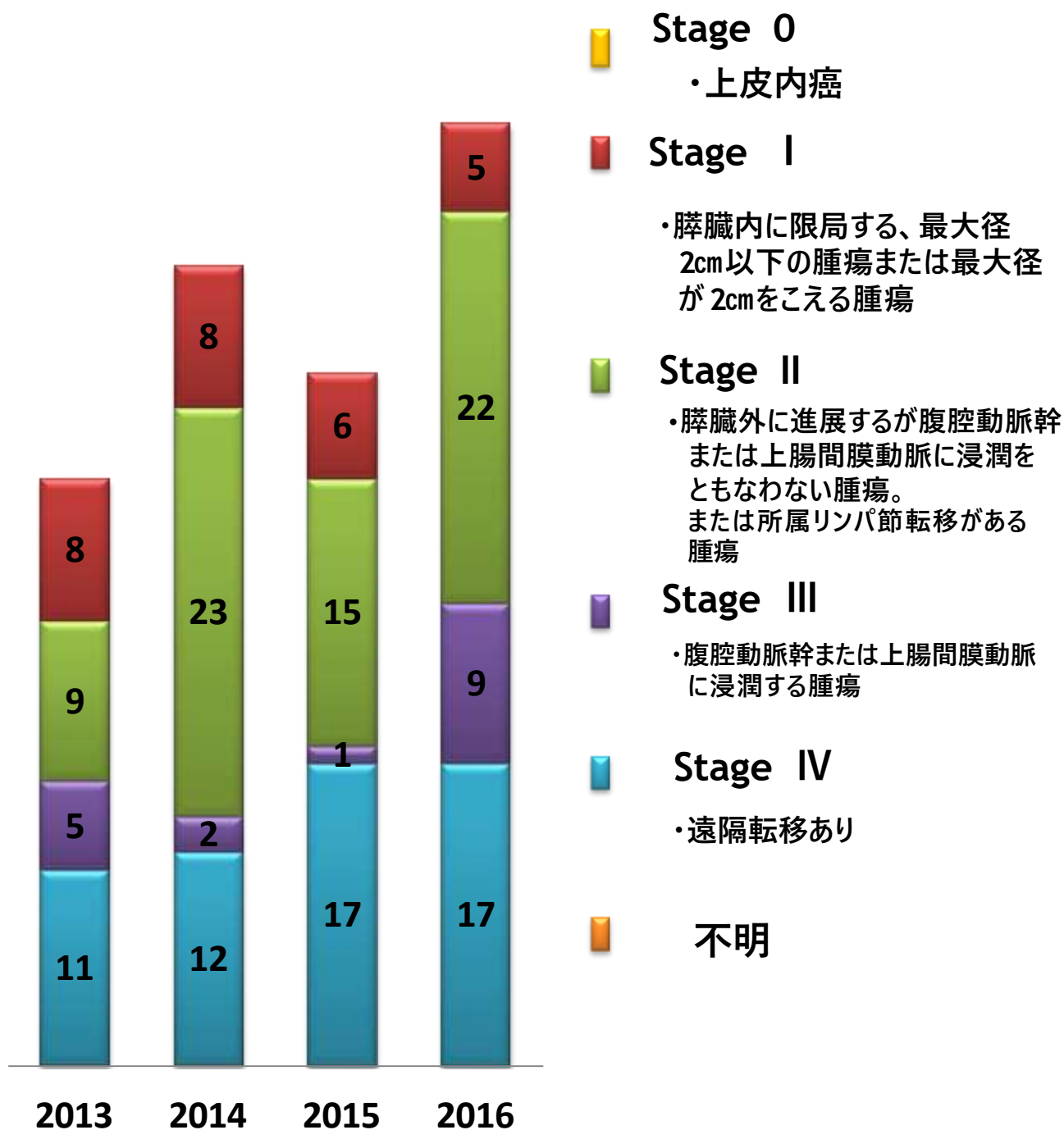
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	76症例	2014	75症例	2015	58症例	2016	107症例
■ 手術のみ	25		27		22		34	
■ 手術 + 放射線	0		0		0		0	
■ 手術 + 化学療法	21		17		12		24	
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 放射線のみ	2		1		1		7	
■ 放射線 + 化学療法	2		1		1		5	
■ 化学療法のみ	26		29		22		37	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	0		0		0		—	

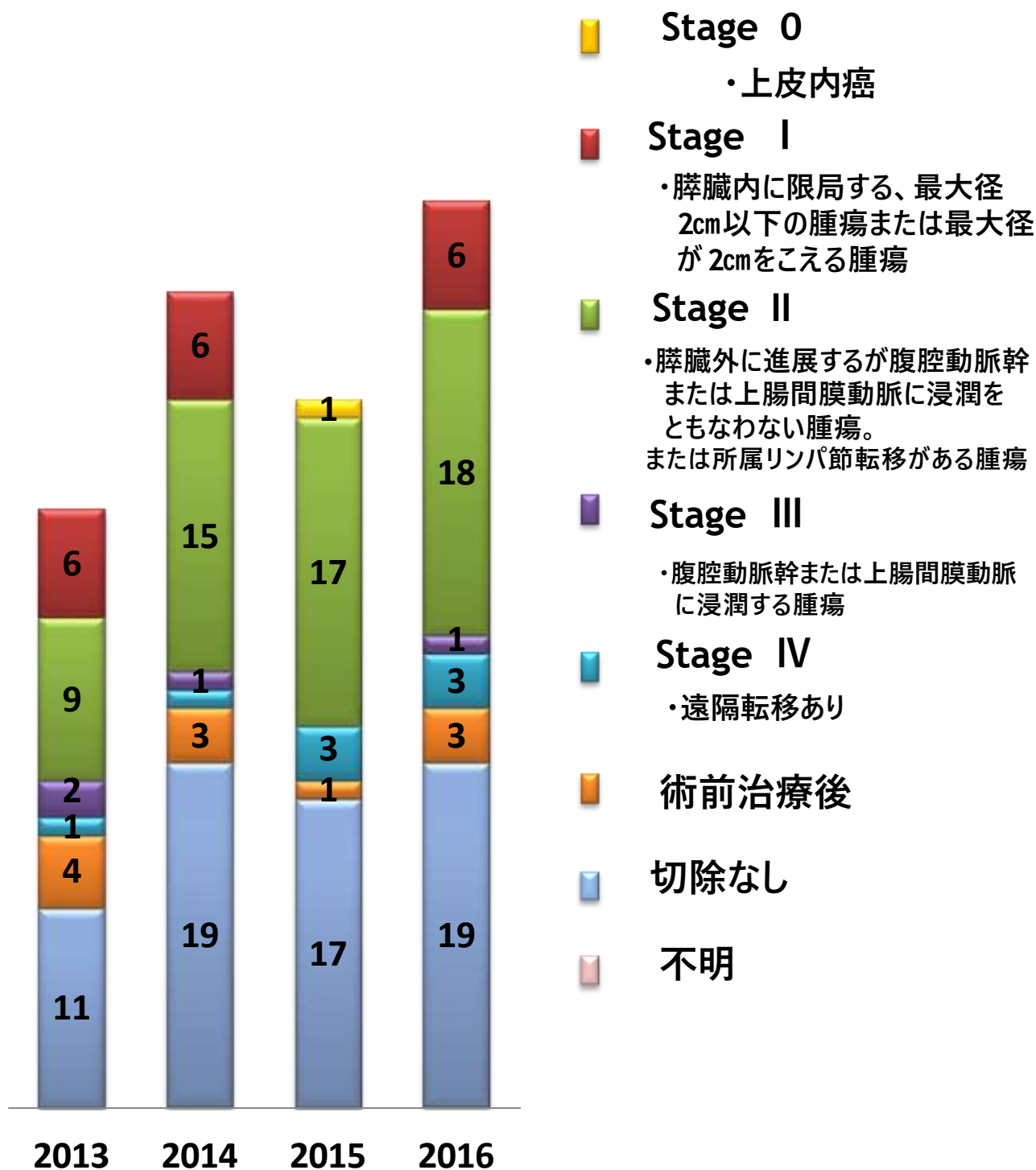
膵臓 (C25)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



膵臓 (C25)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



7. 肺 Lung

(ICD-0 C34) 191件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

肺 (C34) 治療別件数

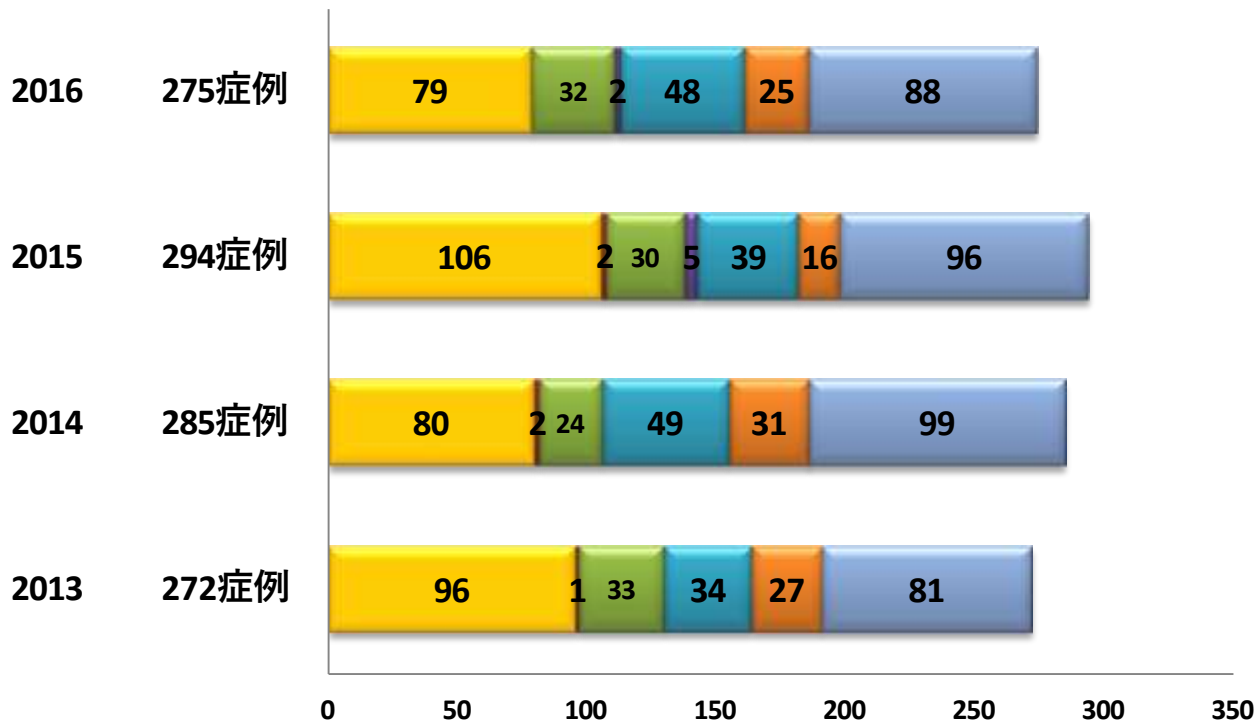
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

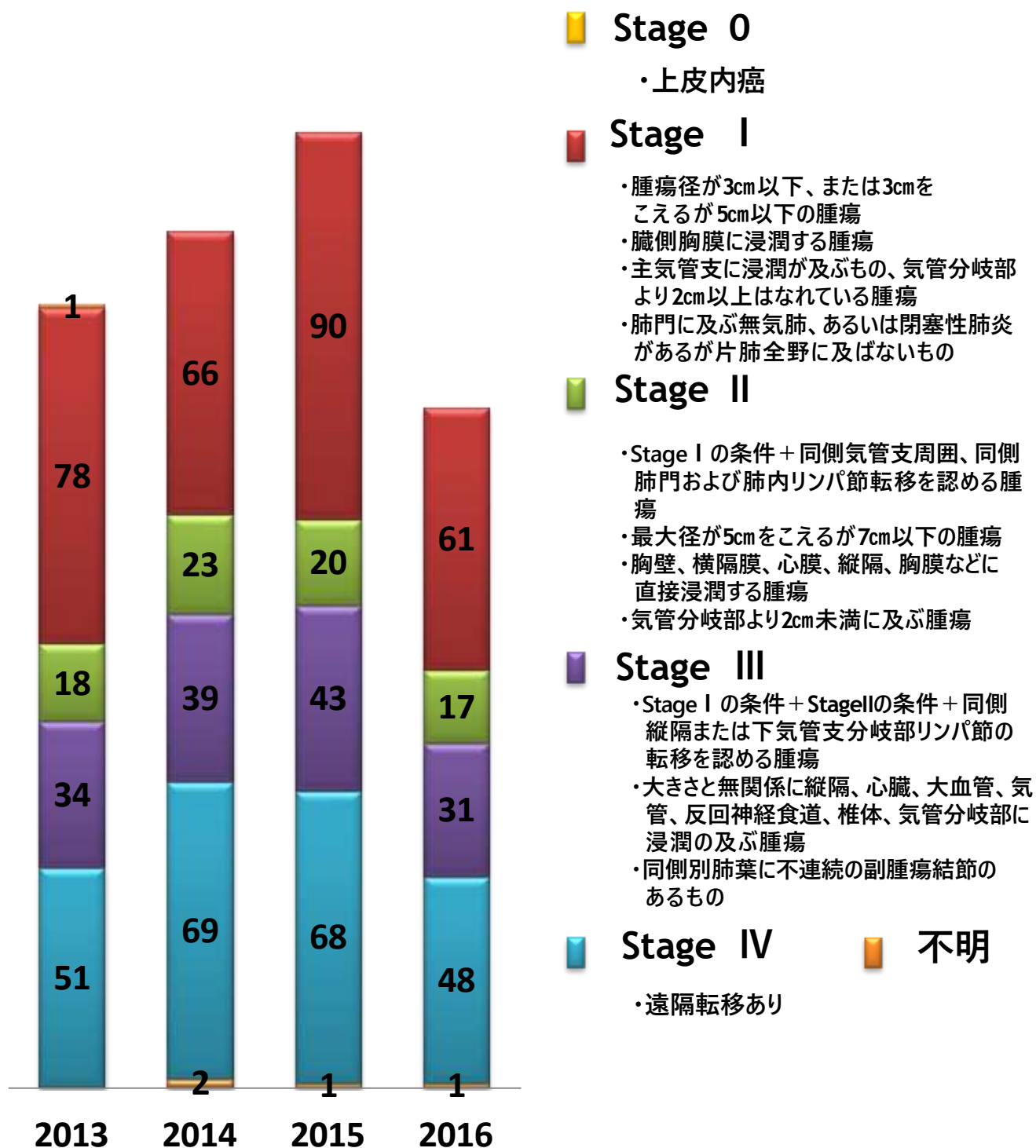
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	272症例	2014	285症例	2015	294症例	2016	275症例
■ 手術のみ	96		80		106		79	
■ 手術 + 放射線	1		2		2		0	
■ 手術 + 化学療法	33		24		30		32	
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0		0		5		2	
■ 放射線のみ	34		49		39		48	
■ 放射線 + 化学療法	27		31		16		25	
■ 化学療法のみ	81		99		96		88	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	0		0		0		—	

肺 (C34)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



Stage 0

- ・上皮内癌

Stage I

- ・腫瘍径が3cm以下、または3cmをこえるが5cm以下の腫瘍
- ・臓側胸膜に浸潤する腫瘍
- ・主気管支に浸潤が及ぶもの、気管分岐部より2cm以上はなれている腫瘍
- ・肺門に及ぶ無気肺、あるいは閉塞性肺炎があるが片肺全野に及ばないもの

Stage II

- ・Stage I の条件 + 同側気管支周囲、同側肺門および肺内リンパ節転移を認める腫瘍
- ・最大径が5cmをこえるが7cm以下の腫瘍
- ・胸壁、横隔膜、心膜、縦隔、胸膜などに直接浸潤する腫瘍
- ・気管分岐部より2cm未満に及ぶ腫瘍

Stage III

- ・Stage I の条件 + Stage II の条件 + 同側縦隔または下気管支分岐部リンパ節の転移を認める腫瘍
- ・大きさと無関係に縦隔、心臓、大血管、気管、反回神経食道、椎体、気管分岐部に浸潤の及ぶ腫瘍
- ・同側別肺葉に不連続の副腫瘍結節のあるもの

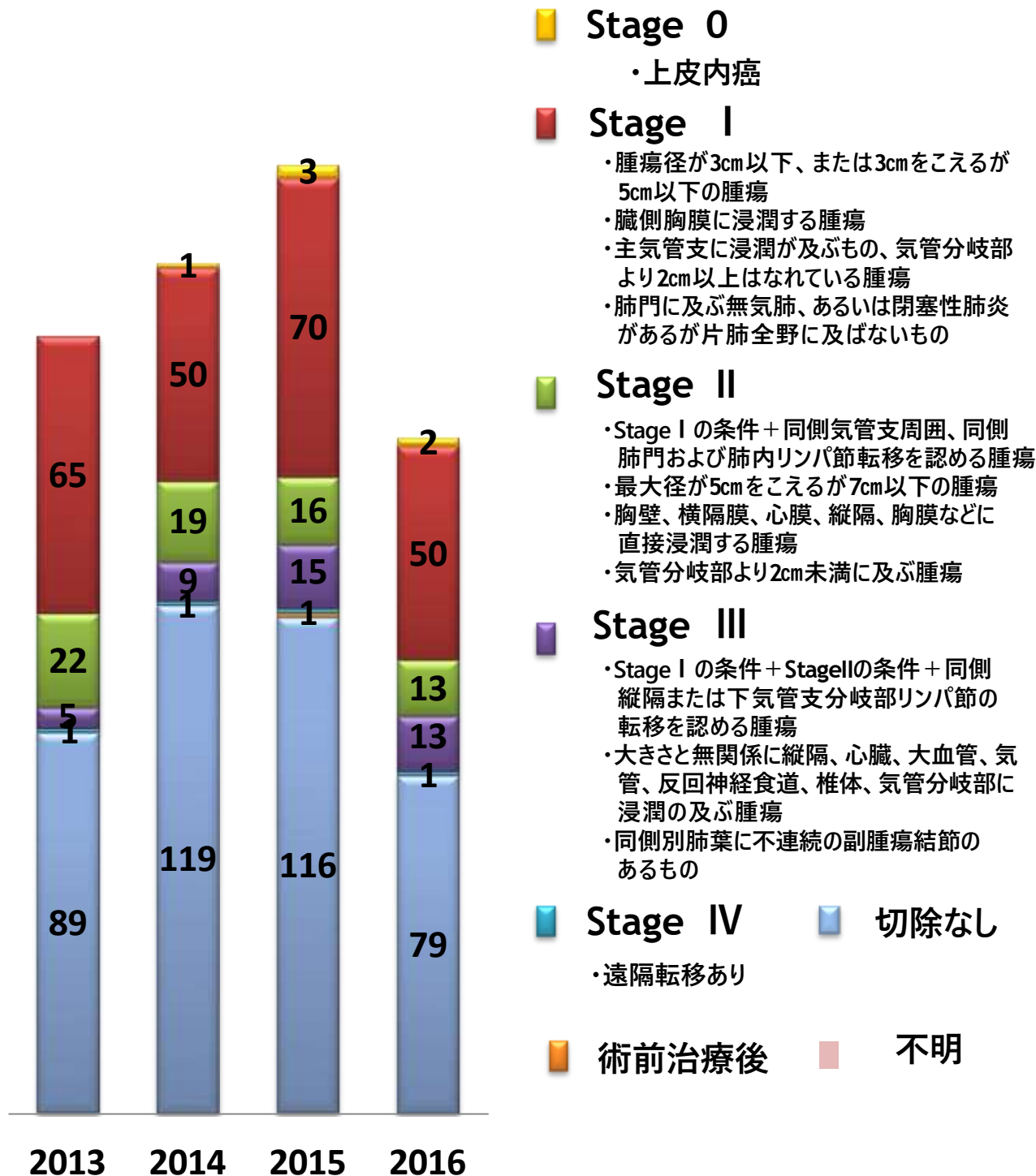
Stage IV

- ・遠隔転移あり

不明

肺 (C34)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



Stage 0

・上皮内癌

Stage I

- ・腫瘍径が3cm以下、または3cmをこえるが5cm以下の腫瘍
- ・臓側胸膜に浸潤する腫瘍
- ・主気管支に浸潤が及ぶもの、気管分岐部より2cm以上はなれている腫瘍
- ・肺門に及ぶ無気肺、あるいは閉塞性肺炎があるが片肺全野に及ばないもの

Stage II

- ・Stage I の条件 + 同側気管支周囲、同側肺門および肺内リンパ節転移を認める腫瘍
- ・最大径が5cmをこえるが7cm以下の腫瘍
- ・胸壁、横隔膜、心膜、縦隔、胸膜などに直接浸潤する腫瘍
- ・気管分岐部より2cm未満に及ぶ腫瘍

Stage III

- ・Stage I の条件 + Stage II の条件 + 同側縦隔または下気管支分岐部リンパ節の転移を認める腫瘍
- ・大きさと無関係に縦隔、心臓、大血管、気管、反回神経食道、椎体、気管分岐部に浸潤の及ぶ腫瘍
- ・同側別肺葉に不連続の副腫瘍結節のあるもの

Stage IV

- ・遠隔転移あり

切除なし

術前治療後

不明

8. 皮膚 Skin

(ICD-0 C44) 29件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

皮膚（C44）治療別件数

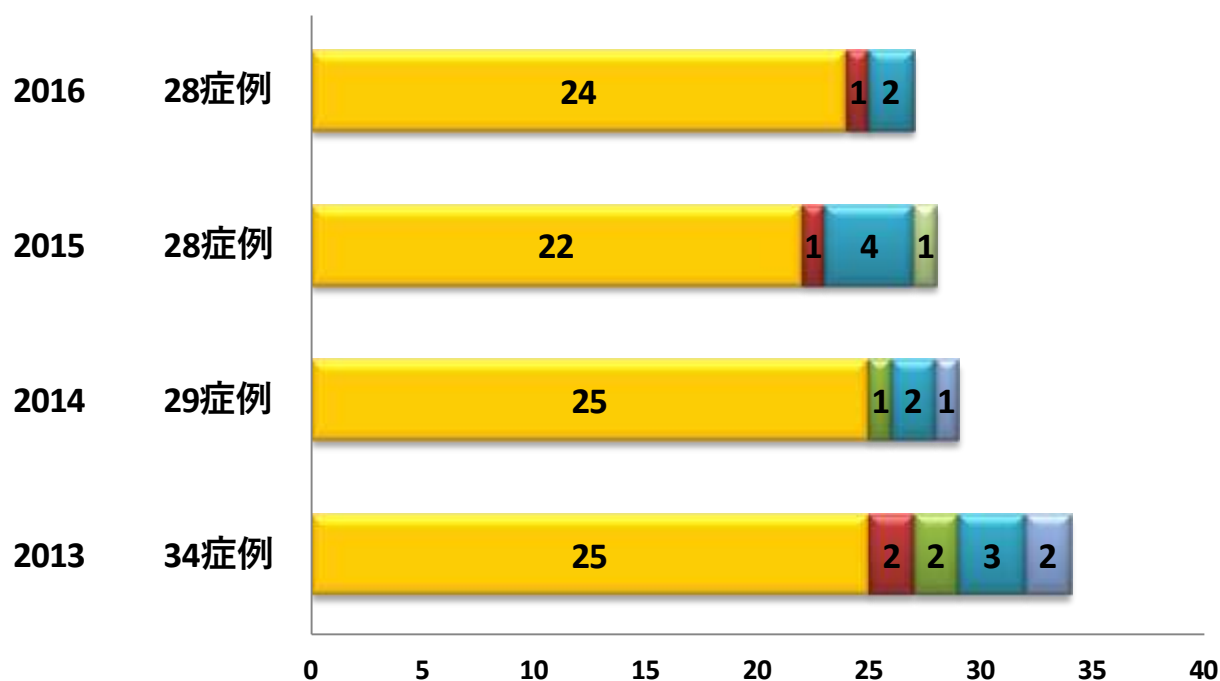
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

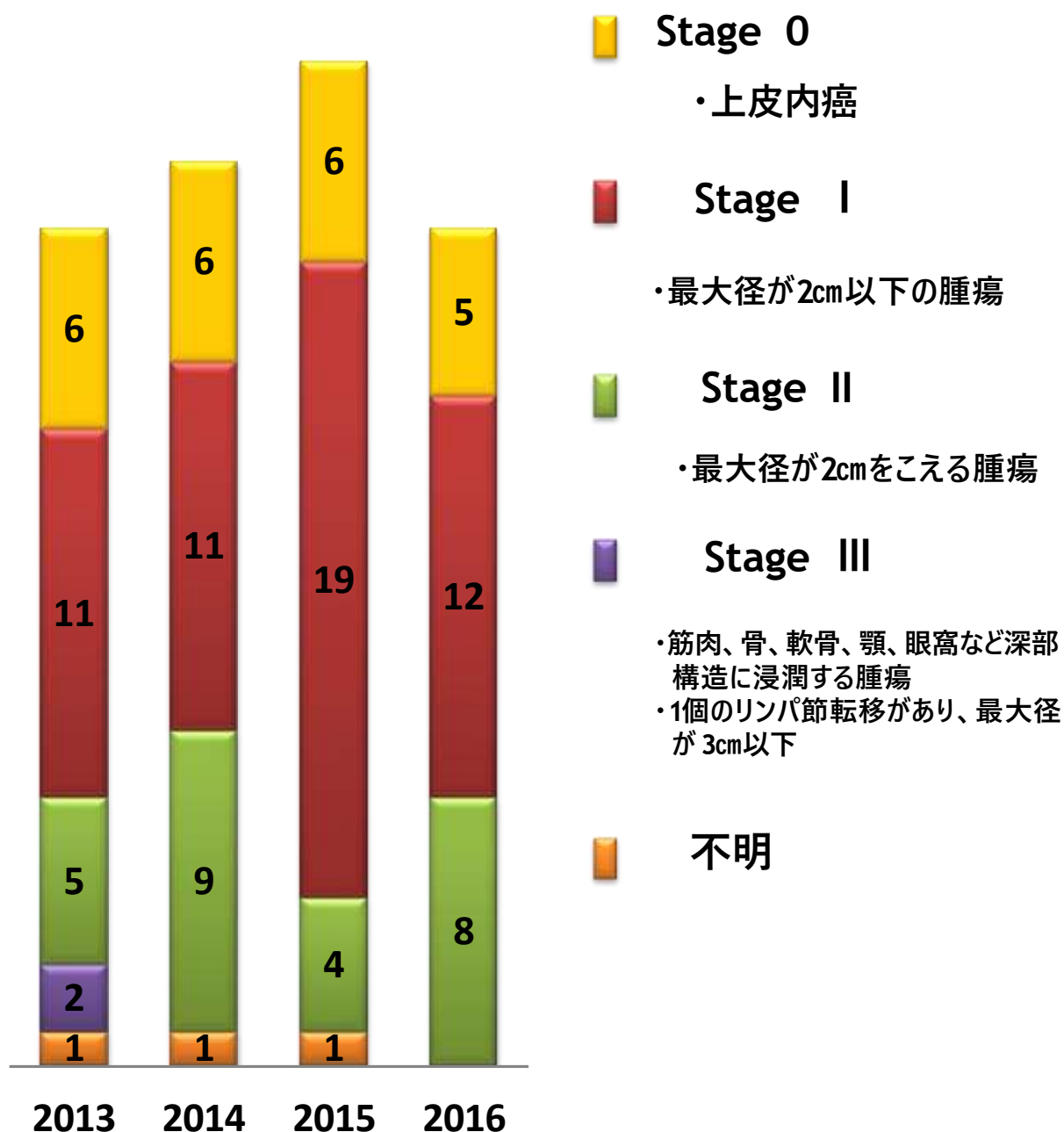
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	34症例	2014	29症例	2015	28症例	2016	28症例
■ 手術のみ	25		25		22		24	
■ 手術 + 放射線	2		0		1		1	
■ 手術 + 化学療法	2		1		0		0	
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 放射線のみ	3		2		4		2	
■ 放射線 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 化学療法のみ	2		1		0		0	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	0		0		1		—	

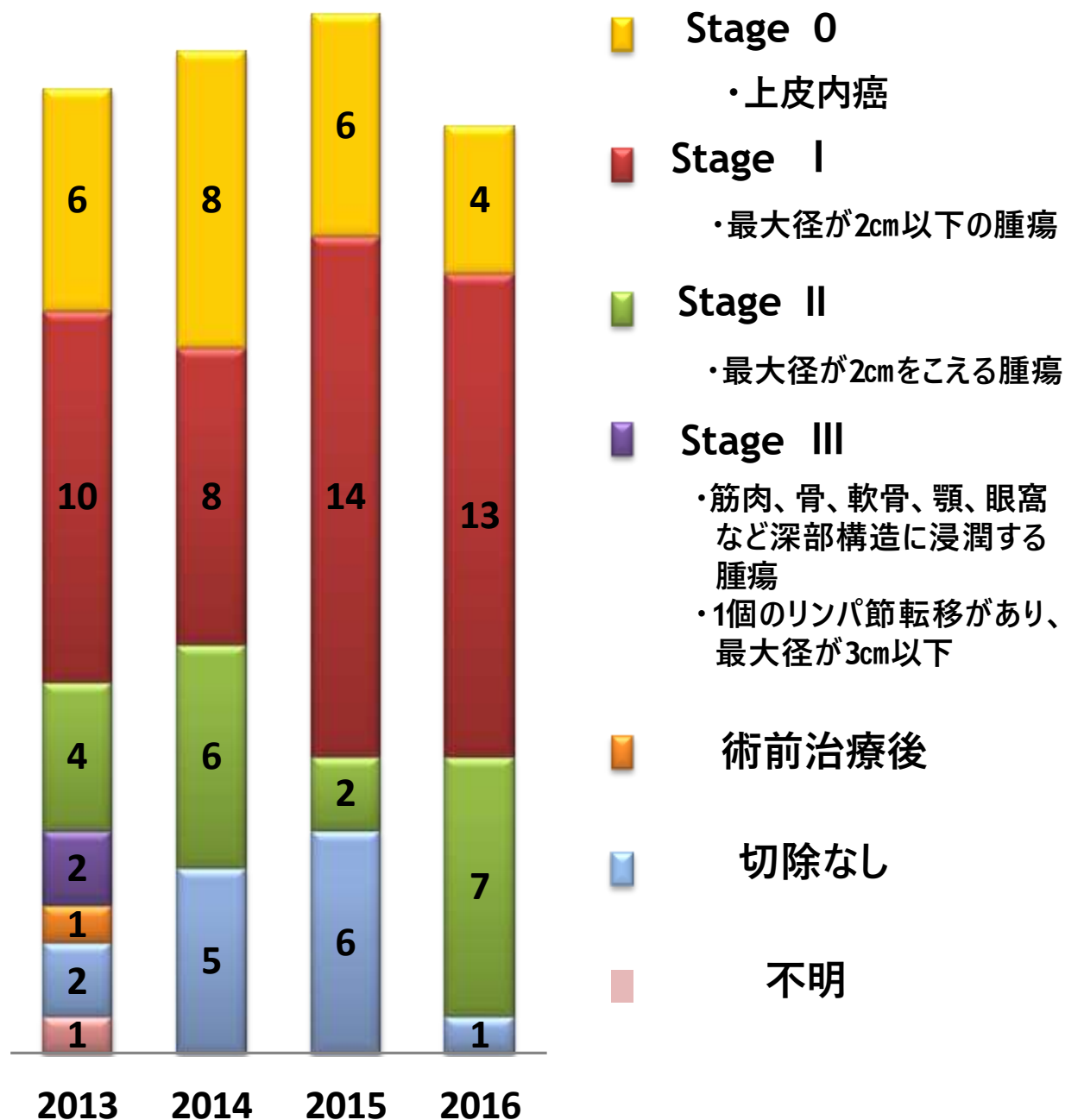
皮膚 (C44)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



皮膚 (C44)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



9. 乳腺 Breast (ICD-0 C50) 61件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

乳腺（C50）治療別件数

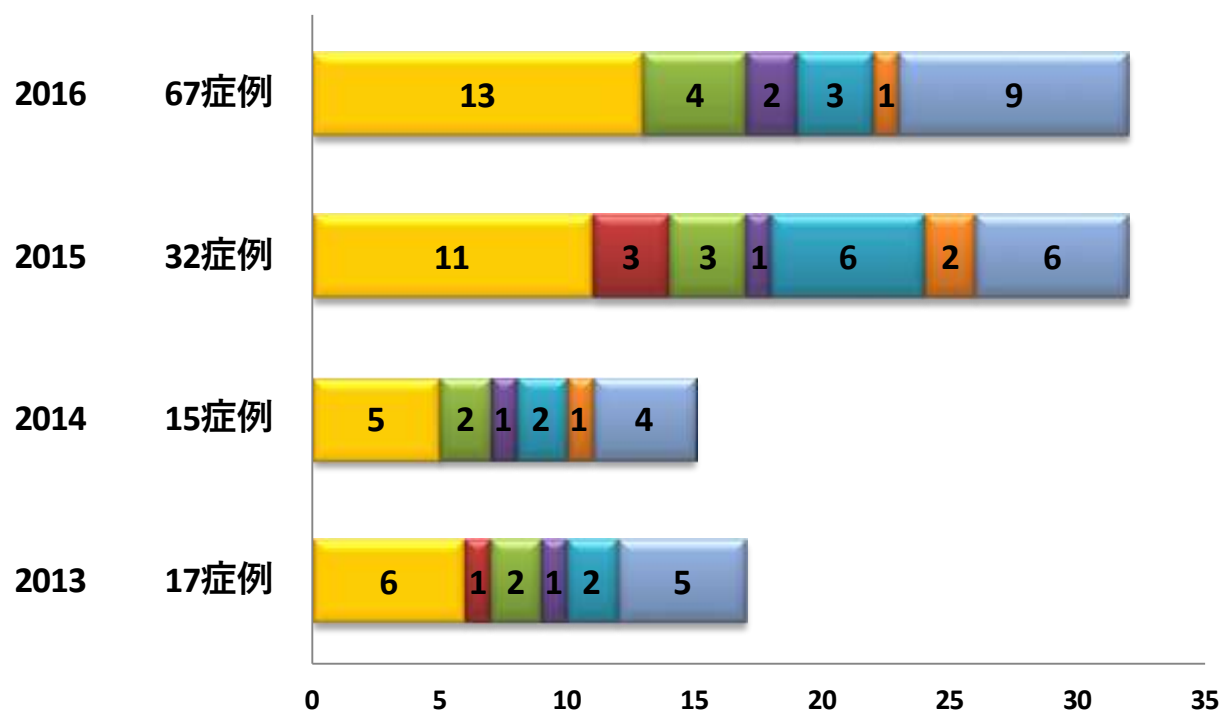
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

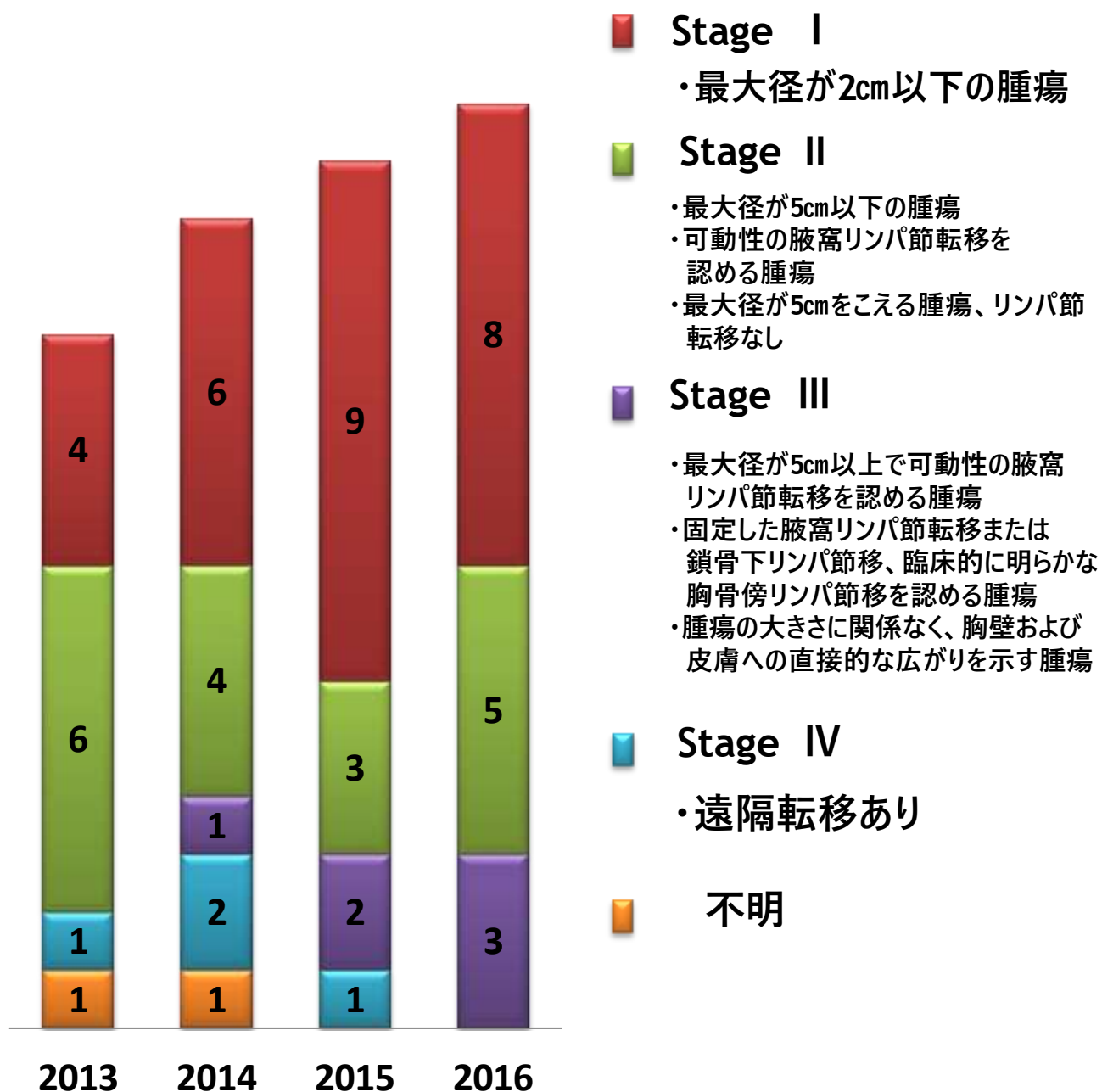
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	17症例	2014	15症例	2015	32症例	2016	67症例
■ 手術のみ	6		5		11		13	
■ 手術＋放射線	1		0		3		0	
■ 手術＋化学療法	2		2		3		4	
■ 手術＋放射線＋化学療法	1		1		1		2	
■ 放射線のみ	2		2		6		3	
■ 放射線＋化学療法	0		1		2		1	
■ 化学療法のみ	5		4		6		9	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	0		0		0		—	

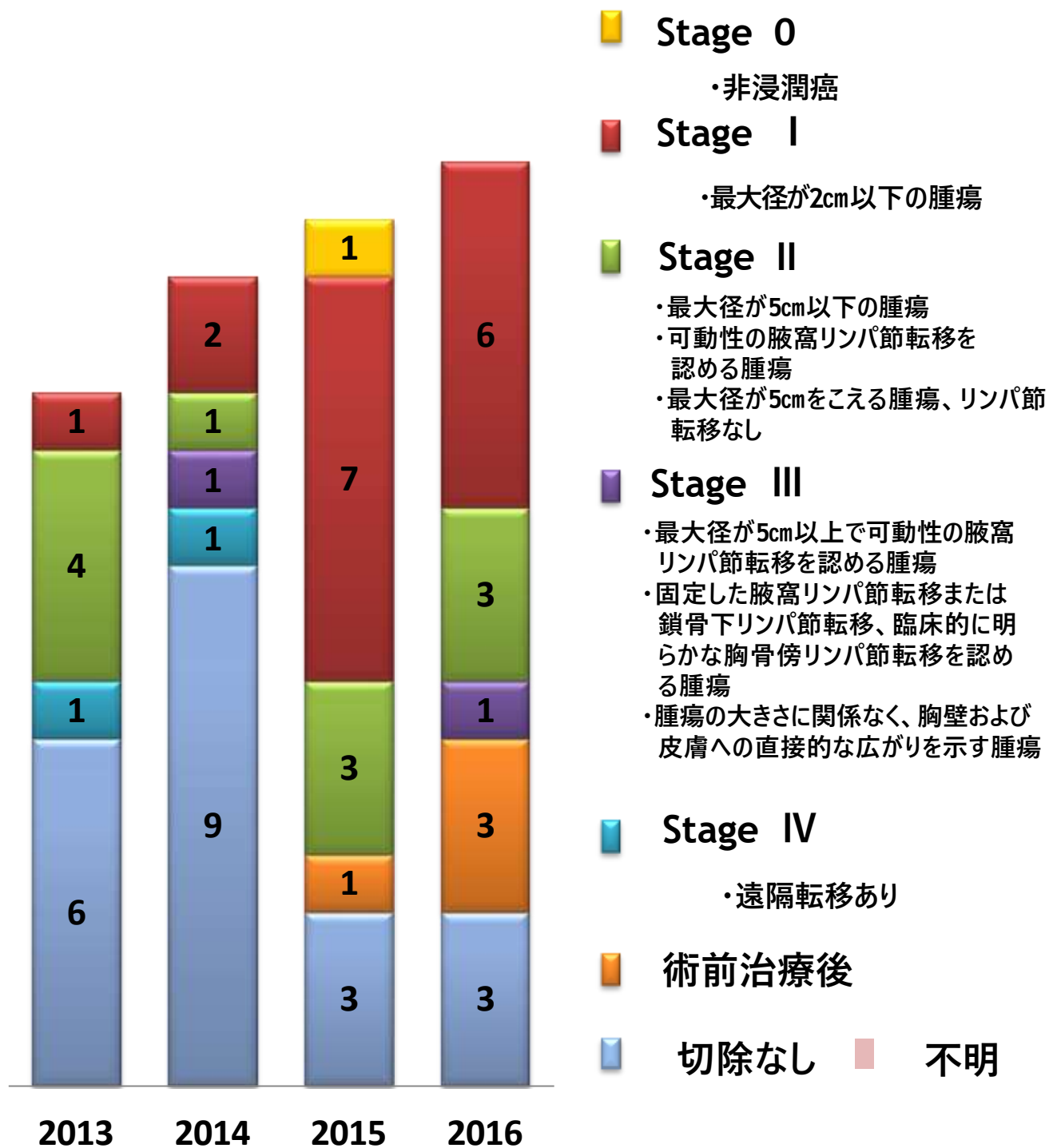
乳腺 (C50)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



乳腺 (C50)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



10. 子宮頸部 Cervix uteri (ICD-0 C53) 59件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

子宮頸部 (C53) 治療別件数

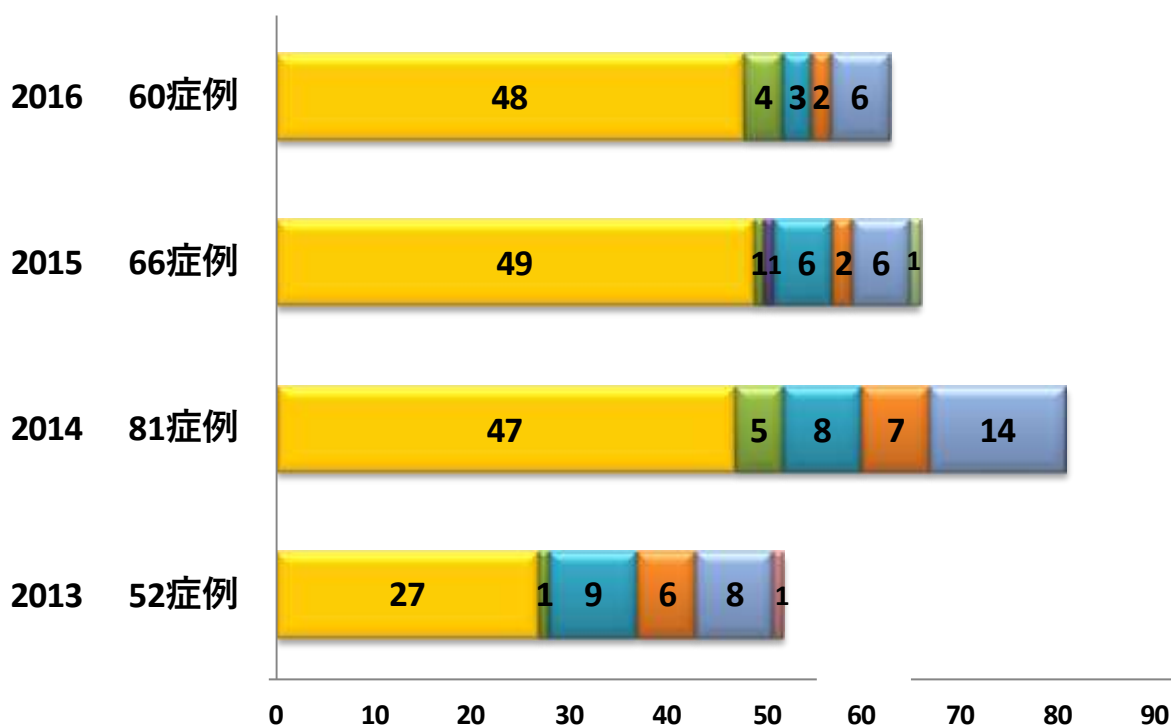
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

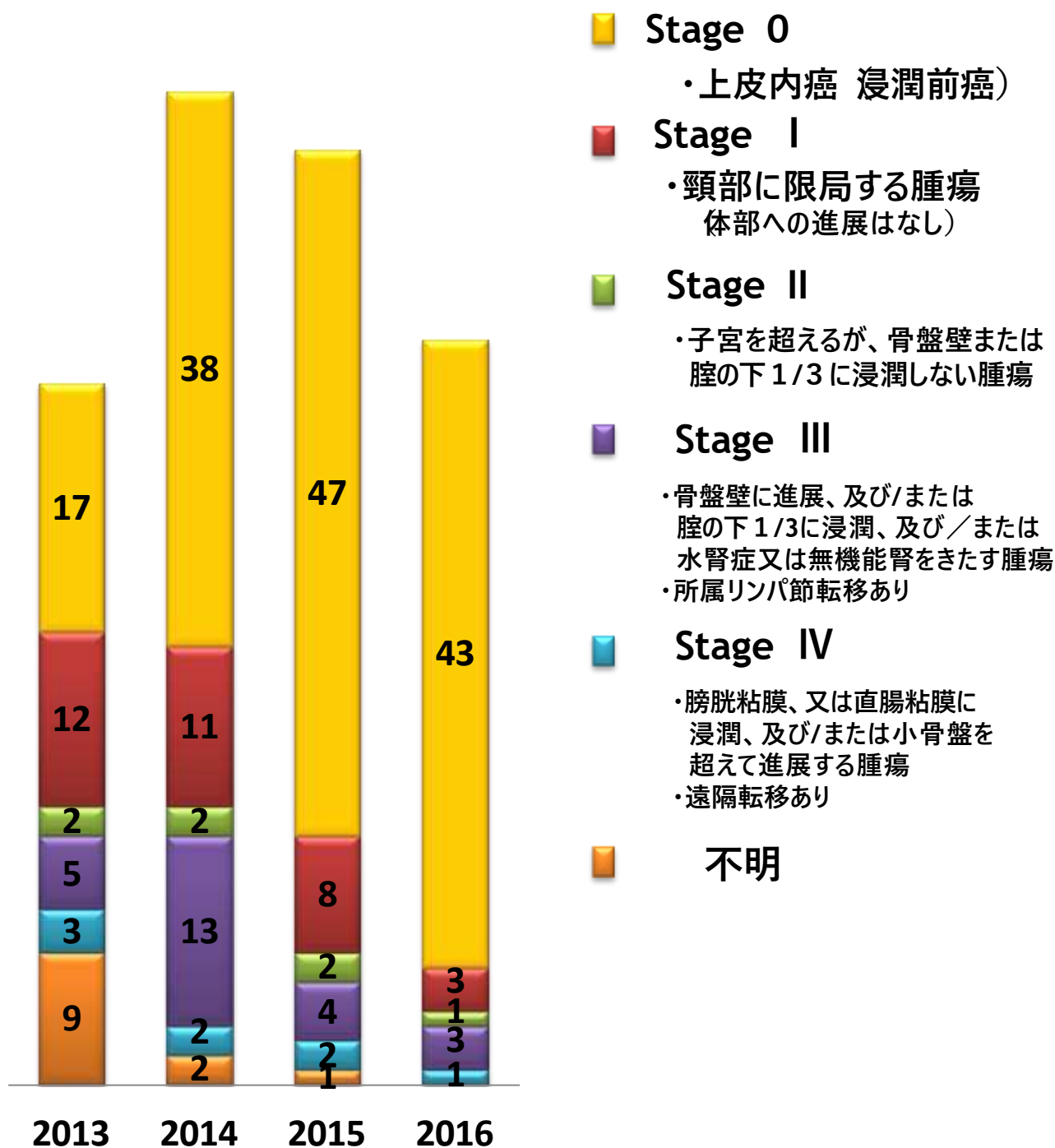
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013 52症例	2014 81症例	2015 66症例	2016 60症例
■ 手術のみ	27	47	49	48
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	1	5	1	4
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	1	0
■ 放射線のみ	9	8	6	3
■ 放射線 + 化学療法	6	7	2	2
■ 化学療法のみ	8	14	6	6
■ TAE	1	0	0	—
■ RFA	0	0	1	—

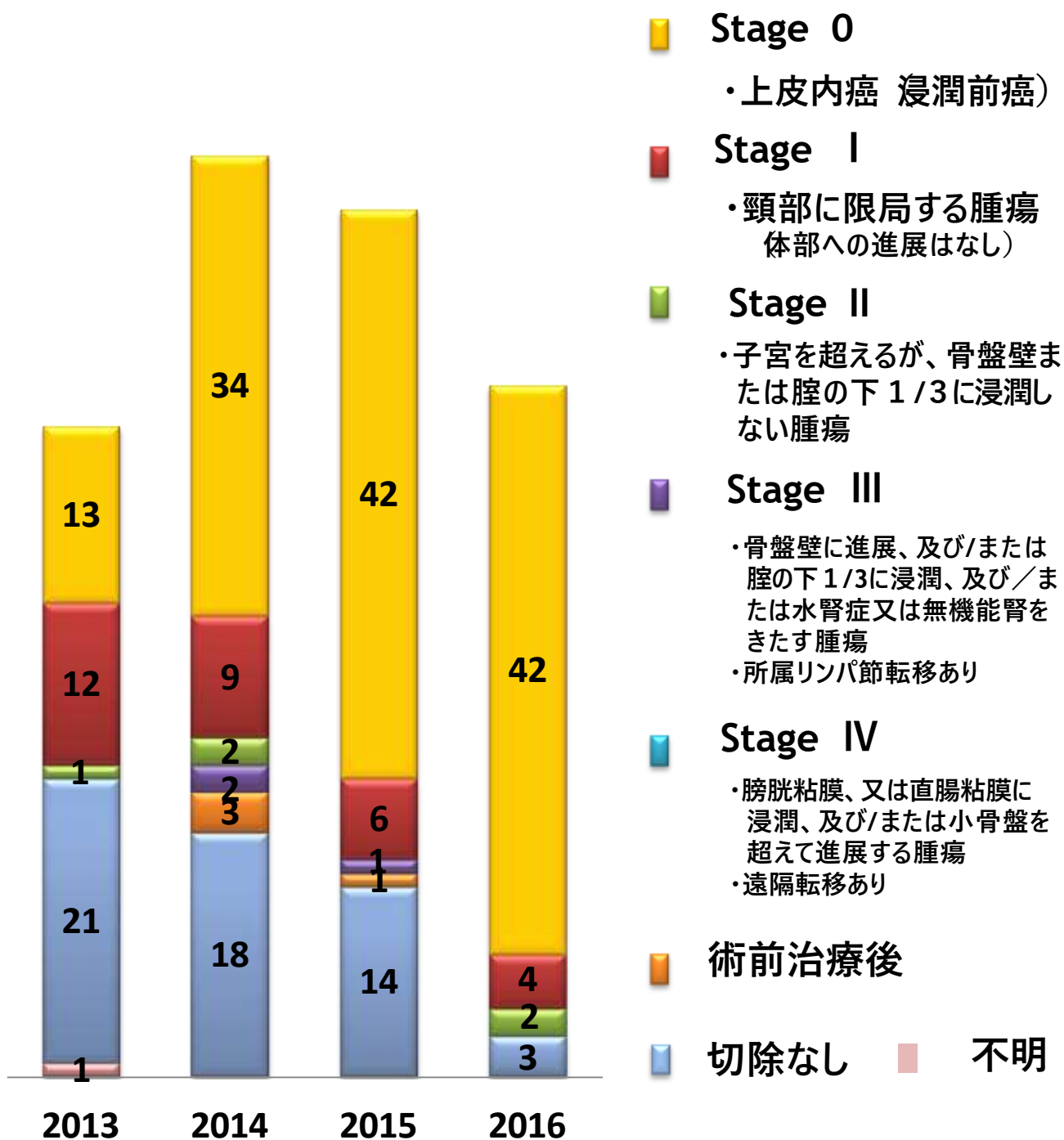
子宮頸部 (C53)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



子宮頸部 (C53)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



11. 子宮体部 Corpus uteri (ICD-0 C54) 29件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

子宮体部（C54）治療別件数

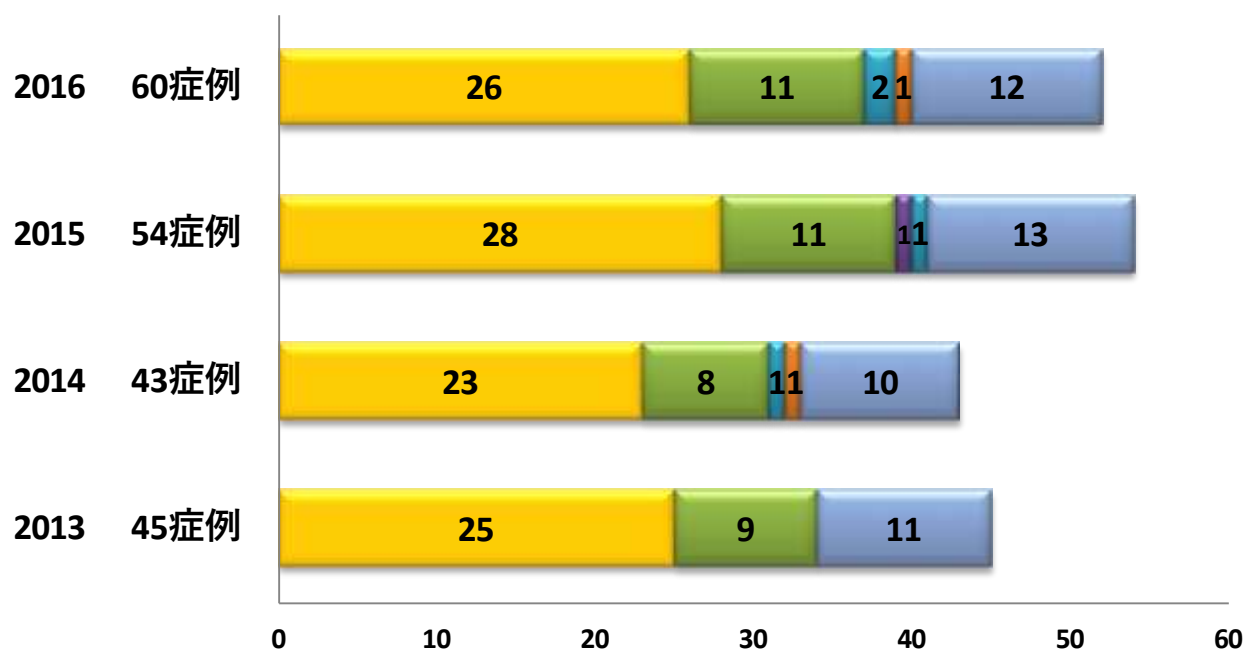
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

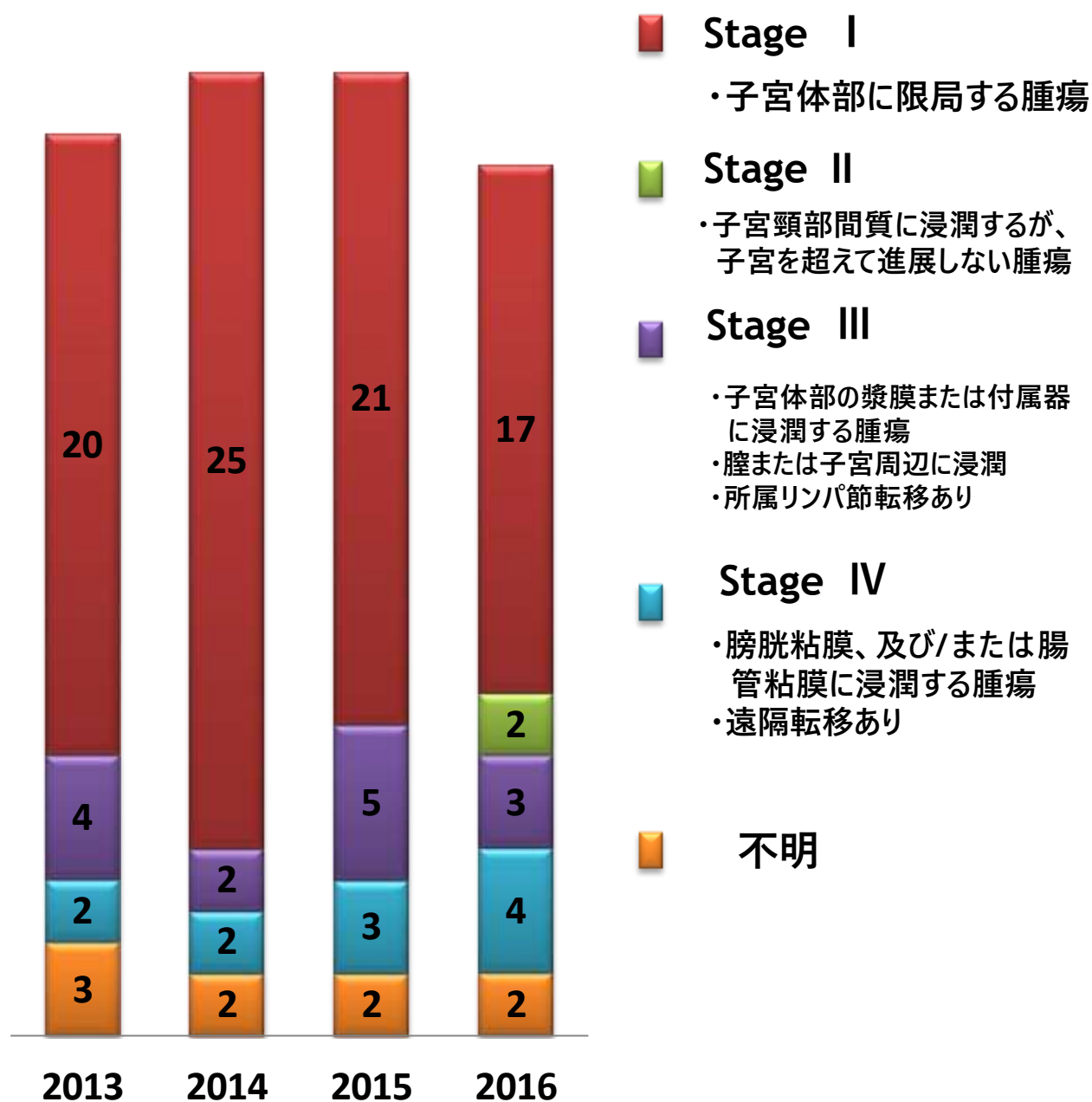
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013 45症例	2014 43症例	2015 54症例	2016 60症例
■ 手術のみ	25	23	28	26
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	9	8	11	11
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	1	0
■ 放射線のみ	0	1	1	2
■ 放射線 + 化学療法	0	1	0	1
■ 化学療法のみ	11	10	13	12
■ TAE	0	0	0	—
■ RFA	0	0	0	—

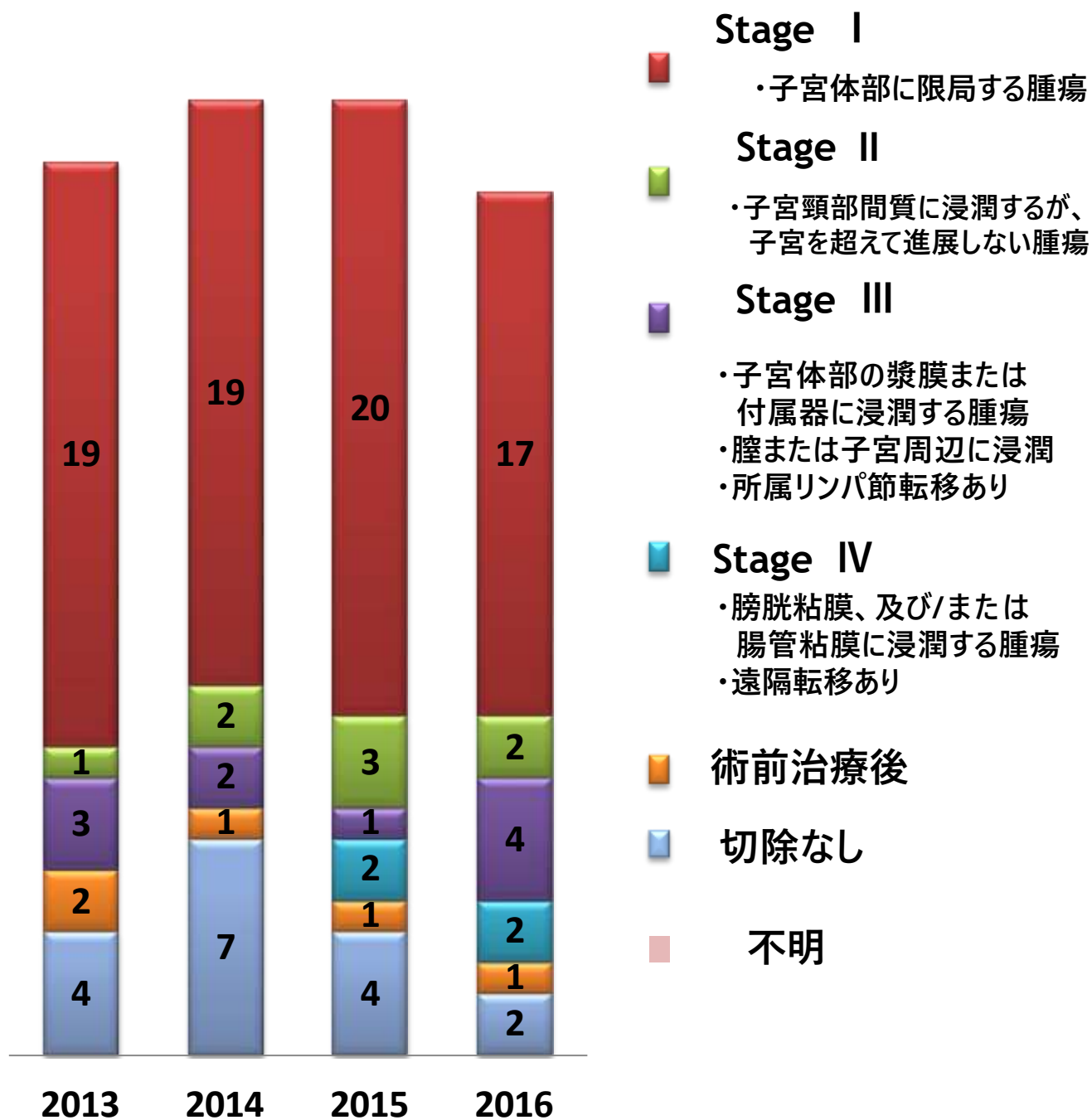
子宮体部 (C54)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



子宮体部 (C54)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



12 卵巣 Ovary (ICD-0 C56) 22件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

卵巣（C56）治療別件数

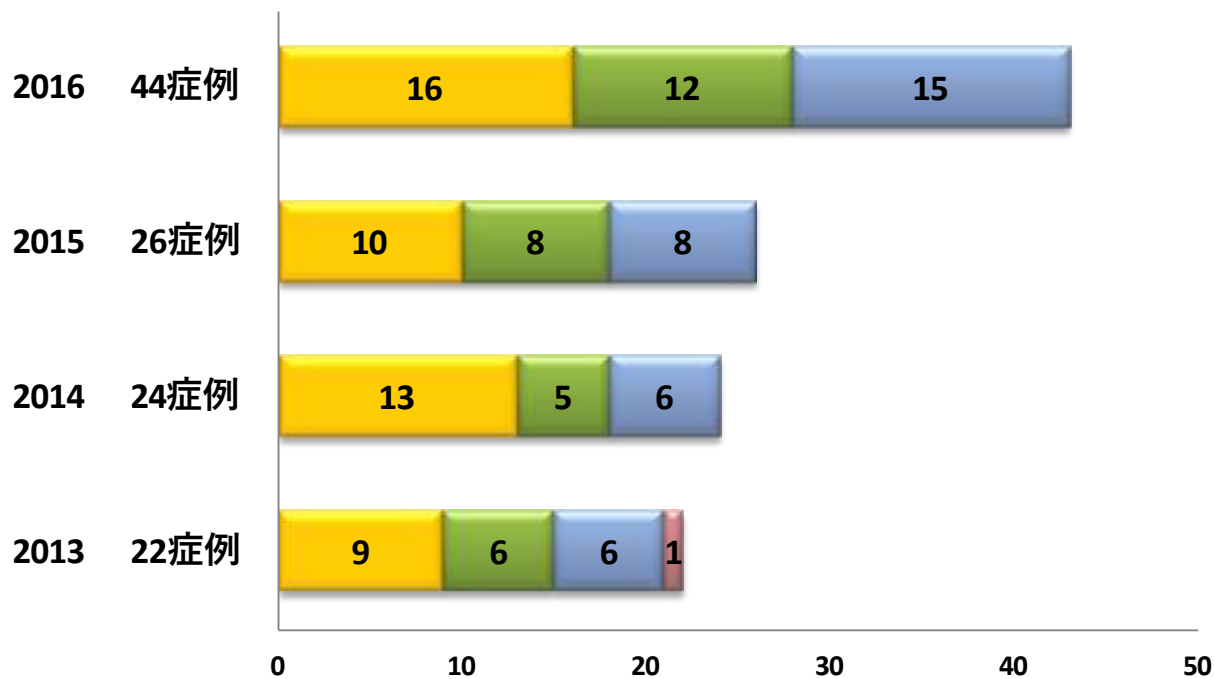
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

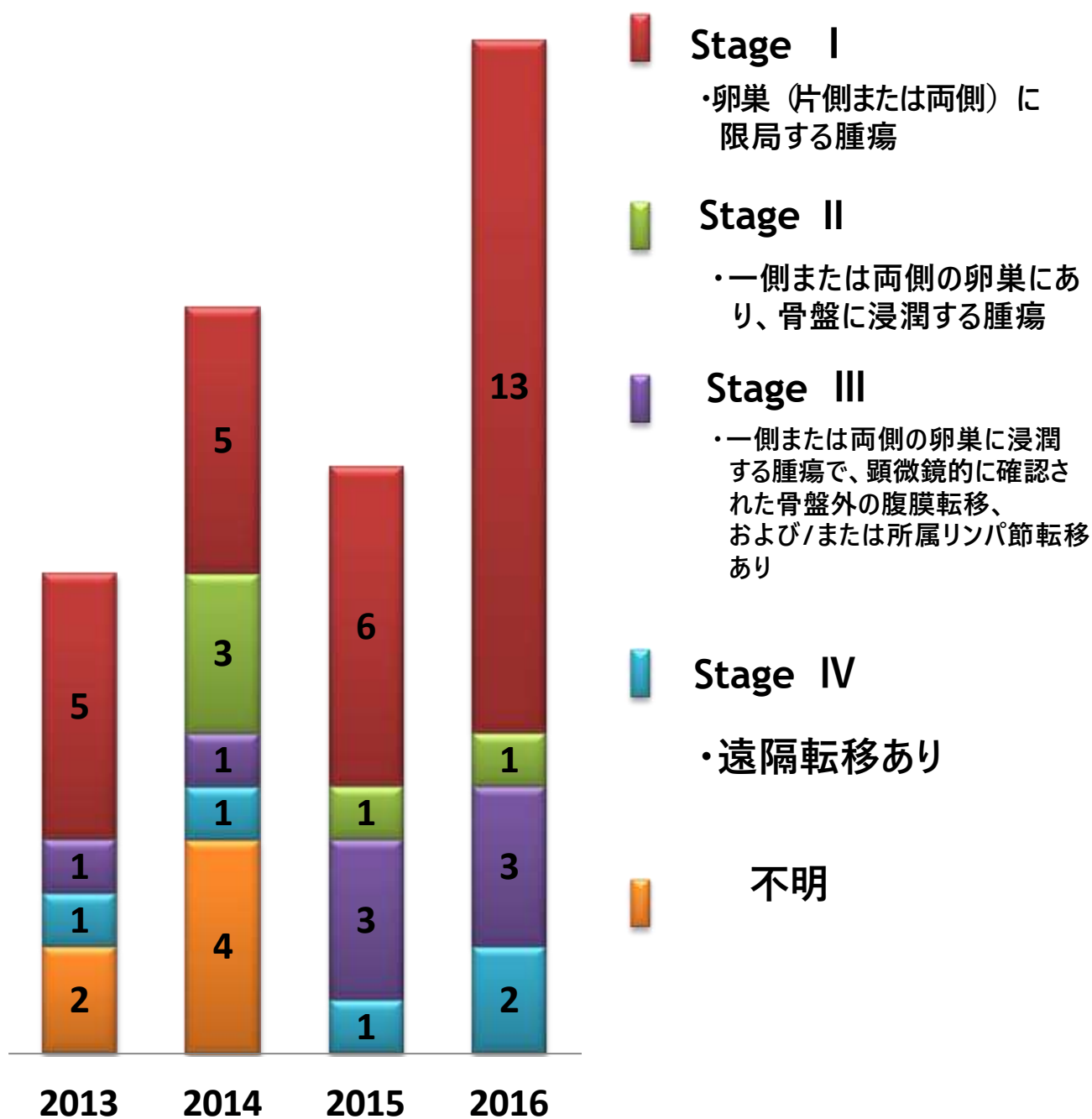
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013 22症例	2014 24症例	2015 26症例	2016 44症例
■ 手術のみ	9	13	10	16
■ 手術 + 放射線	0	0	0	0
■ 手術 + 化学療法	6	5	8	12
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0	0	0	0
■ 放射線のみ	0	0	0	0
■ 放射線 + 化学療法	0	0	0	0
■ 化学療法のみ	6	6	8	15
■ TAE	1	0	0	—
■ RFA	0	0	0	—

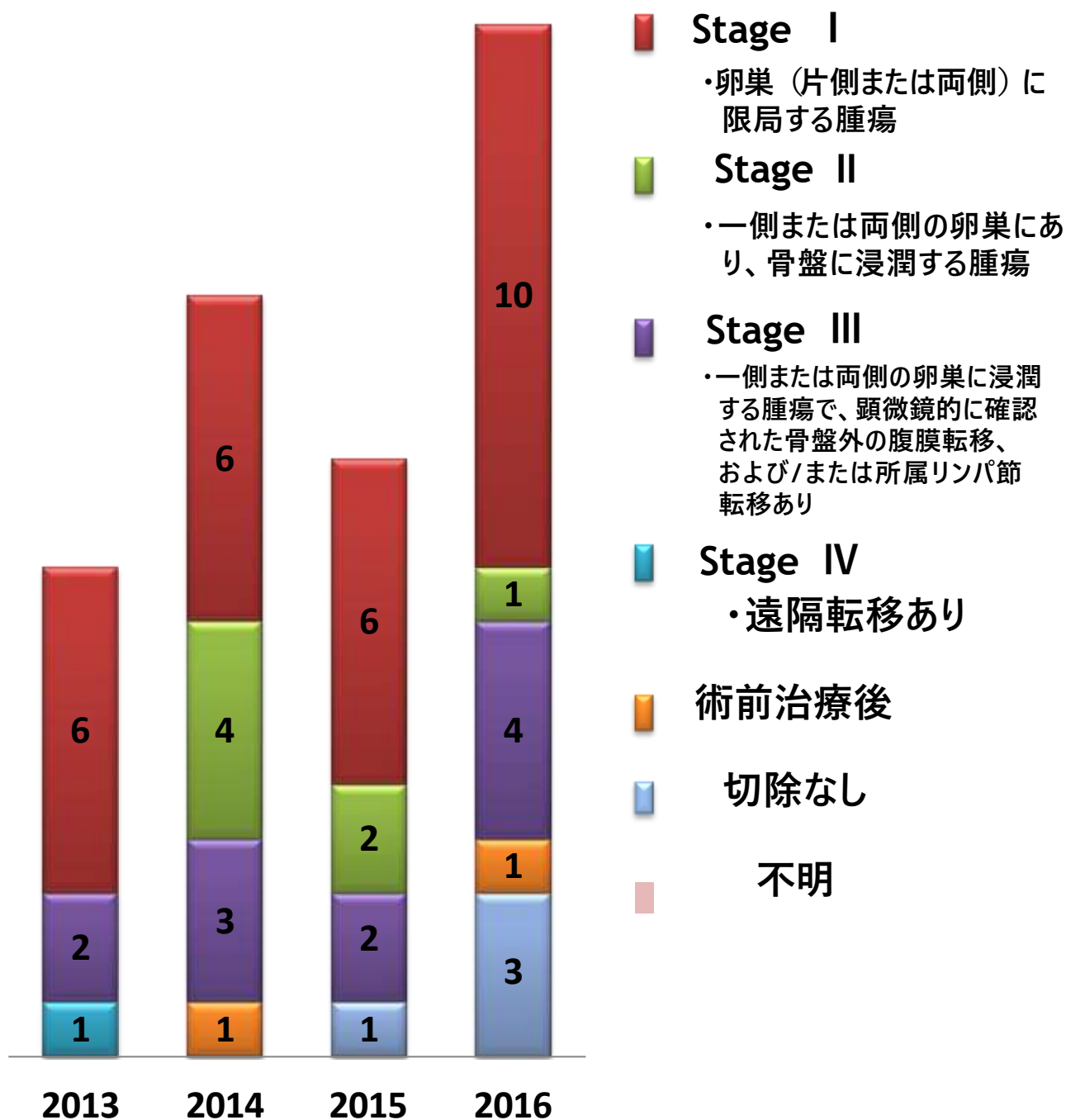
卵巣 (C56)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



卵巣 (C56)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



13. 前立腺 Prostate Gland (ICD-0 C61) 166件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

前立腺（C61）治療別件数

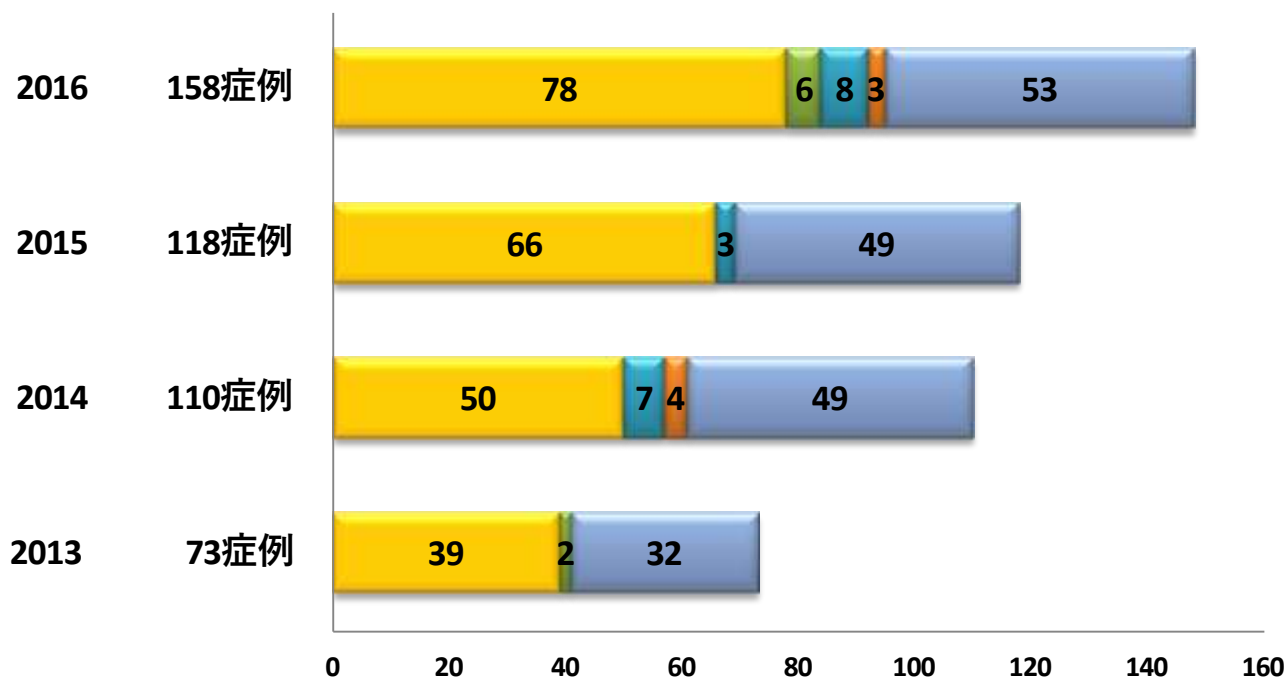
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

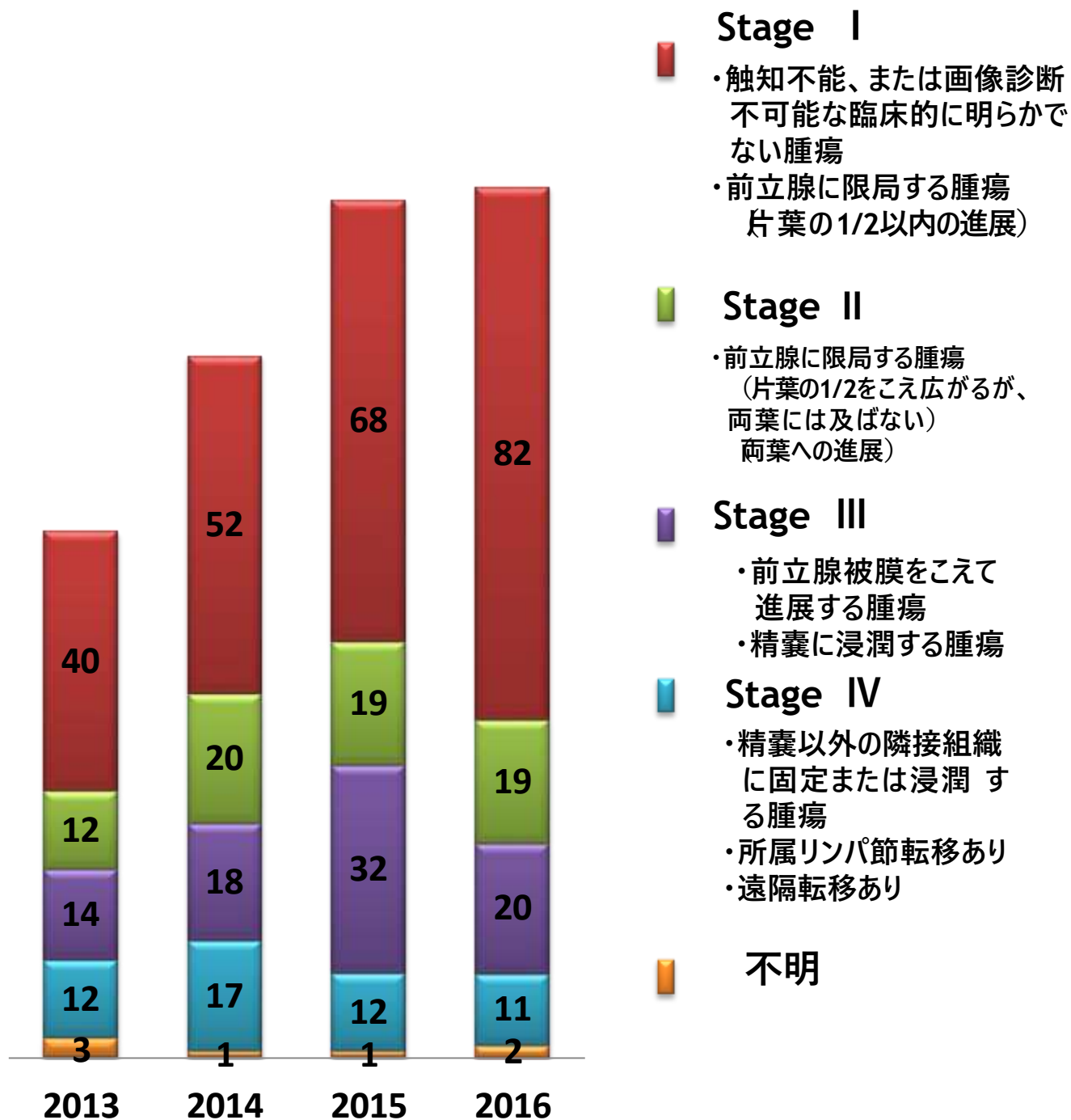
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	73症例	2014	110症例	2015	118症例	2016	158症例
■ 手術のみ	39		50		66		78	
■ 手術+放射線	0		0		0		0	
■ 手術+化学療法	2		0		0		6	
■ 手術+放射線+化学療法	0		0		0		0	
■ 放射線のみ	0		7		3		8	
■ 放射線+化学療法	0		4		0		3	
■ 化学療法のみ	32		49		49		53	
■ TAE	0		0		0		—	
■ RFA	0		0		0		—	

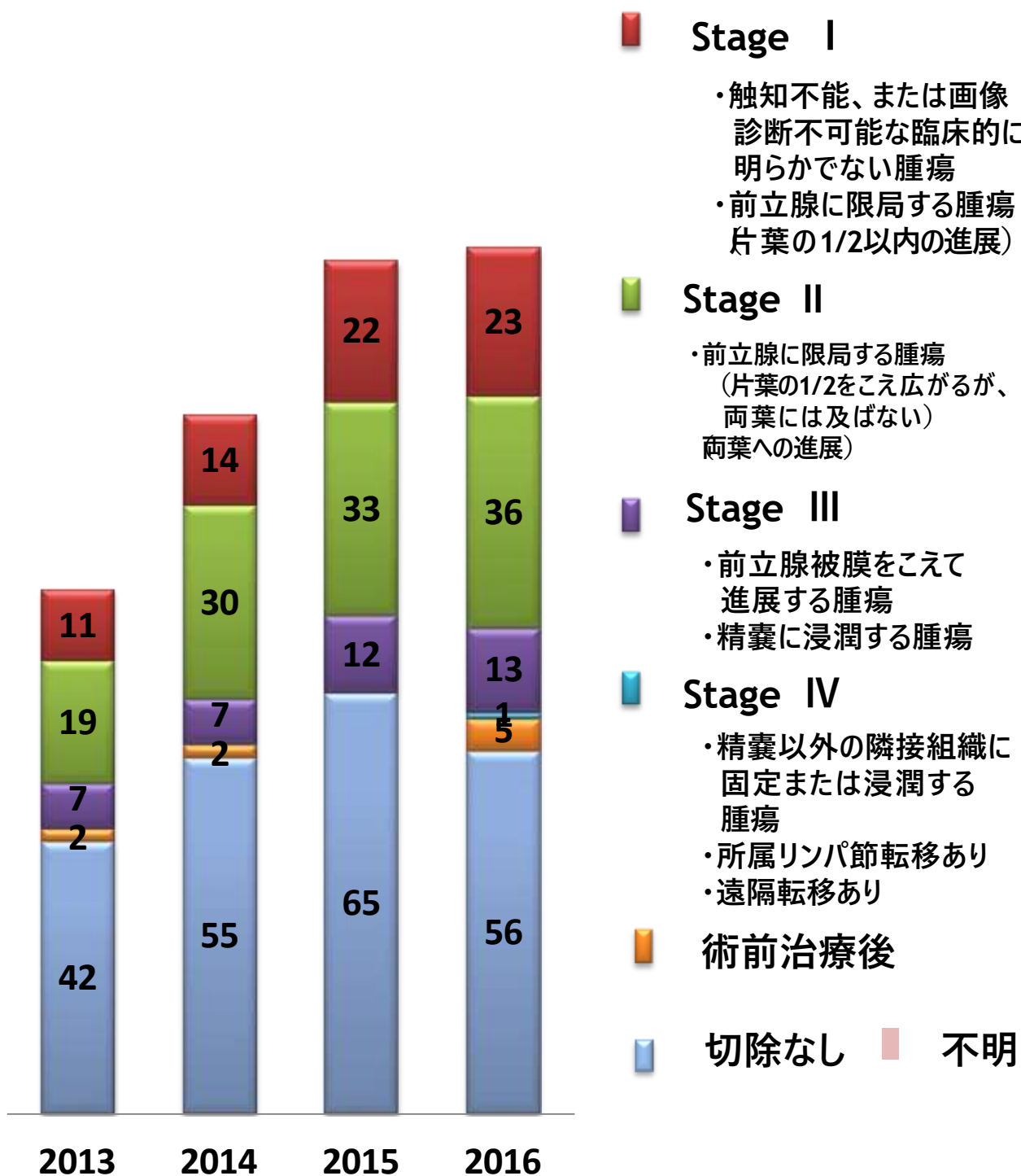
前立腺 (C61)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



前立腺 (C61)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



Stage I

- ・触知不能、または画像診断不可能な臨床的に明らかでない腫瘍
- ・前立腺に限局する腫瘍 (片葉の1/2以内の進展)

Stage II

- ・前立腺に限局する腫瘍 (片葉の1/2をこえ広がるが、両葉には及ばない) (両葉への進展)

Stage III

- ・前立腺被膜をこえて進展する腫瘍
- ・精嚢に浸潤する腫瘍

Stage IV

- ・精嚢以外の隣接組織に固定または浸潤する腫瘍
- ・所属リンパ節転移あり
- ・遠隔転移あり

術前治療後

切除なし 不明

14. 腎臓 Kidney (ICD-0 C64) 42件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

腎 (C64) 治療別件数

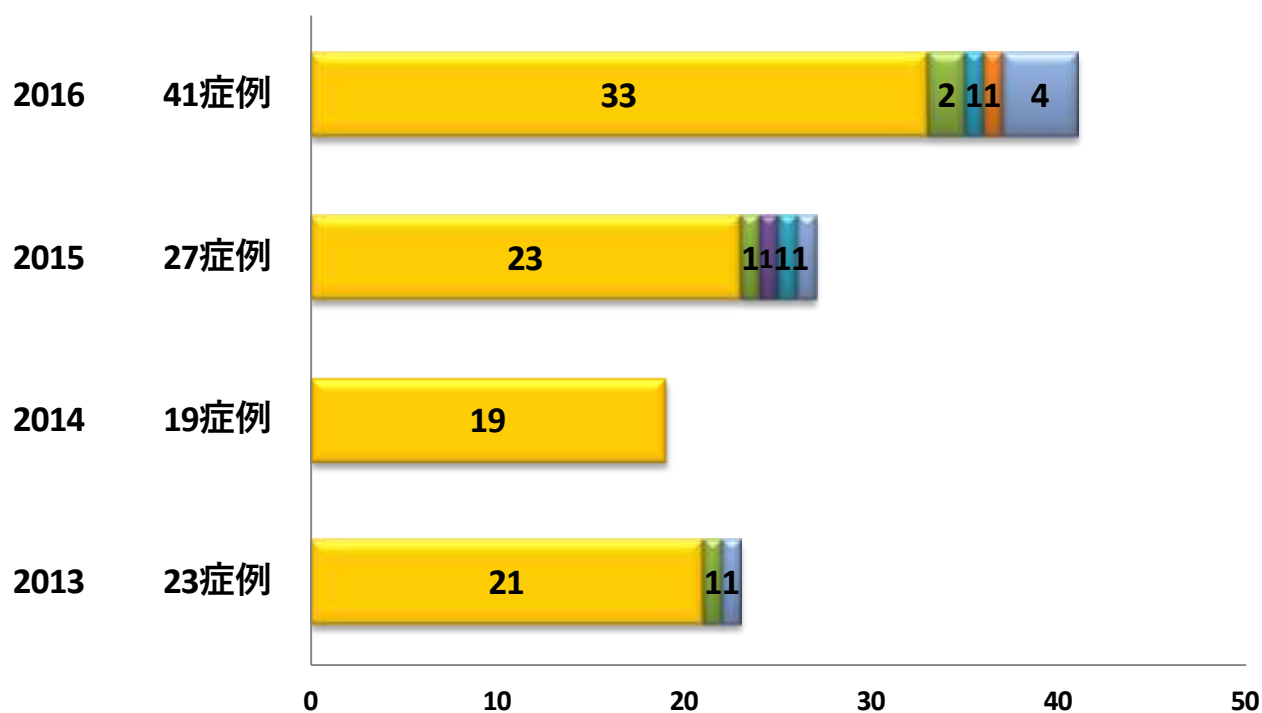
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

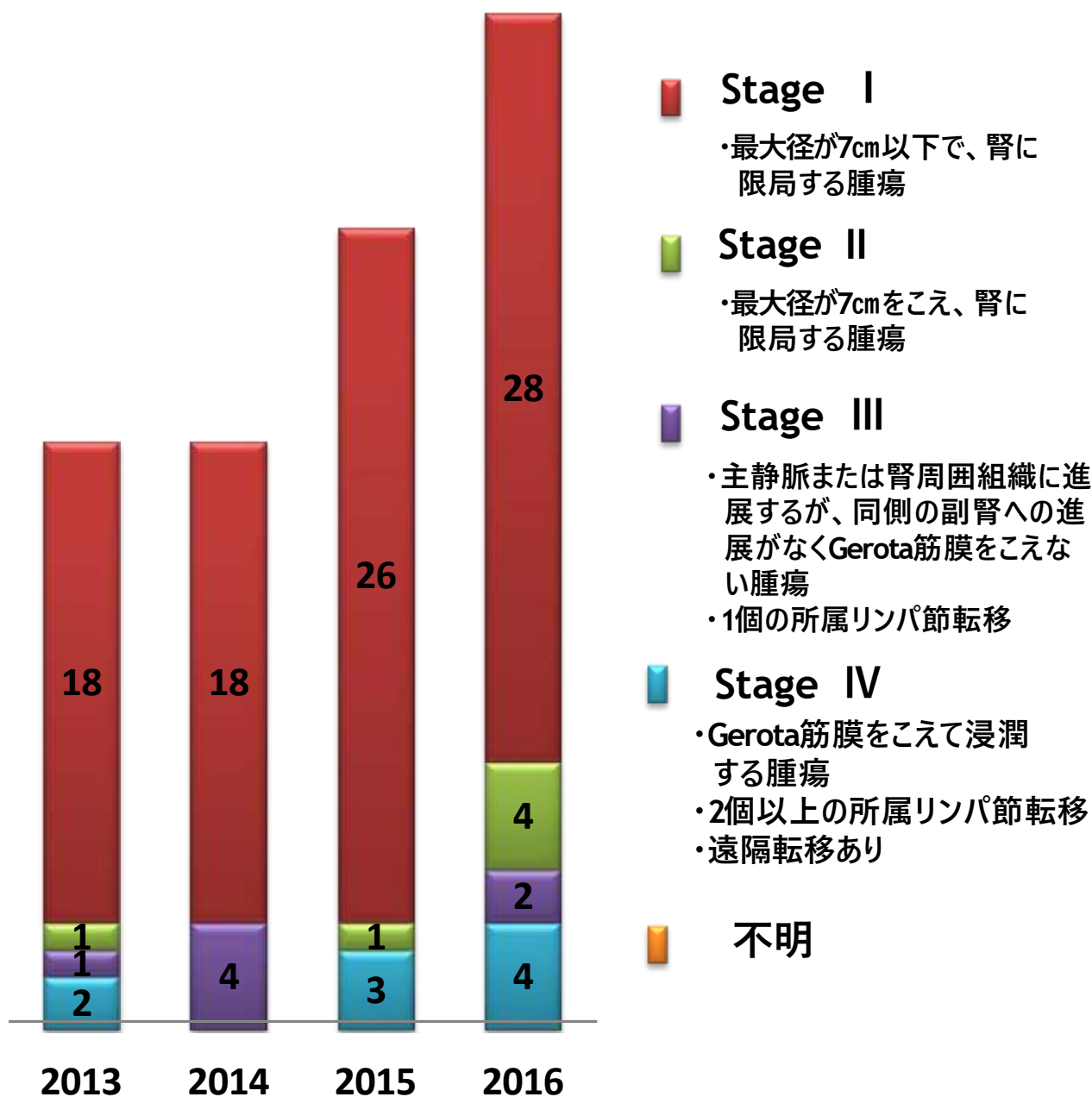
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	23症例	2014	19症例	2015	27症例	2016	41症例
■ 手術のみ	21	19	23	33				
■ 手術+放射線	0	0	0	0				
■ 手術+化学療法	1	0	1	2				
■ 手術+放射線+化学療法	0	0	1	0				
■ 放射線のみ	0	0	1	1				
■ 放射線+化学療法	0	0	0	1				
■ 化学療法のみ	1	0	1	4				
■ TAE	0	0	0					
■ RFA	0	0	0					

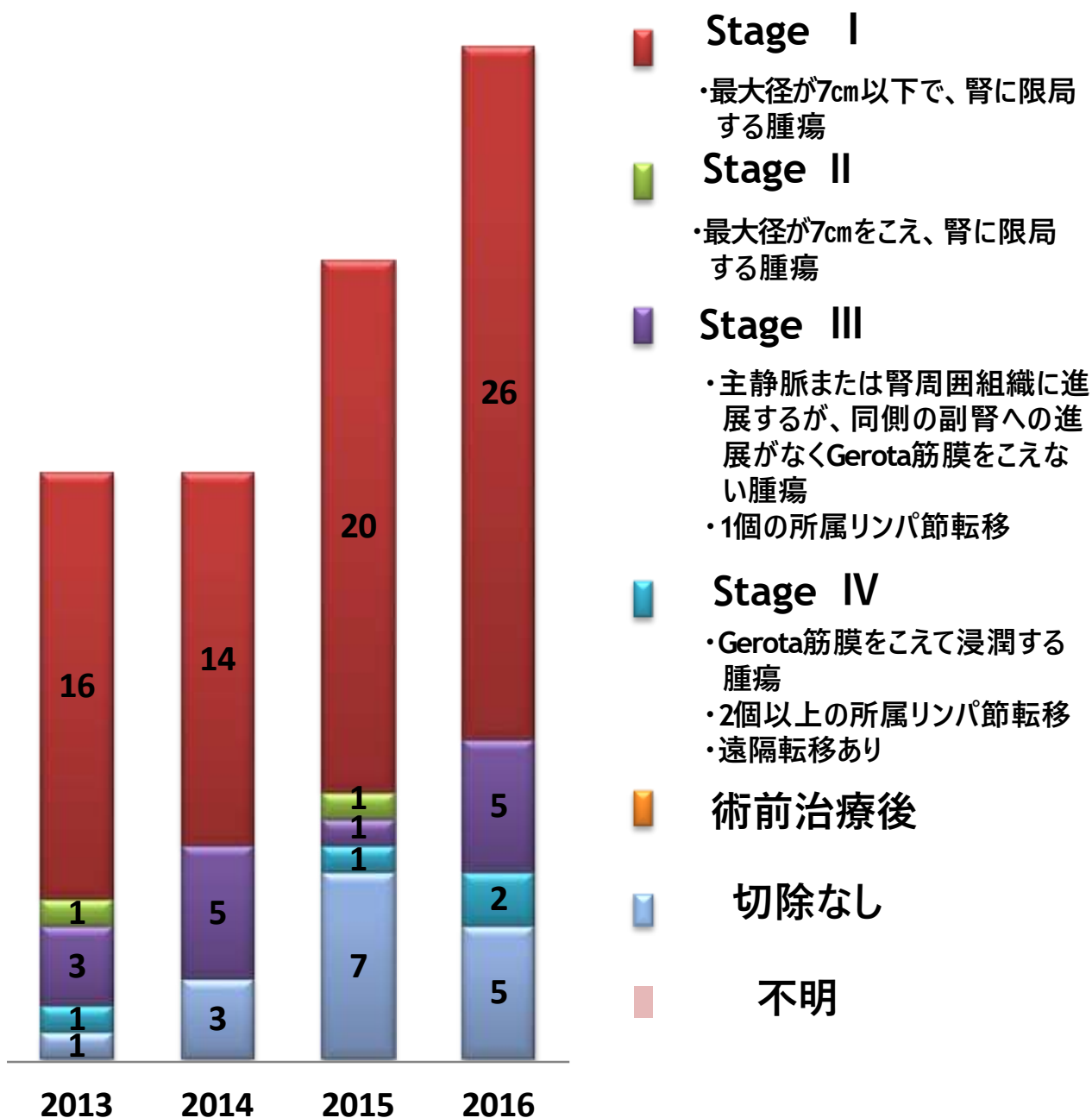
腎 (C64)治療前ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



腎 (C64)治療後ステージ

* 2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



15. 膀胱 Bladder (ICD-0 C67) 63件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

膀胱（C67）治療別件数

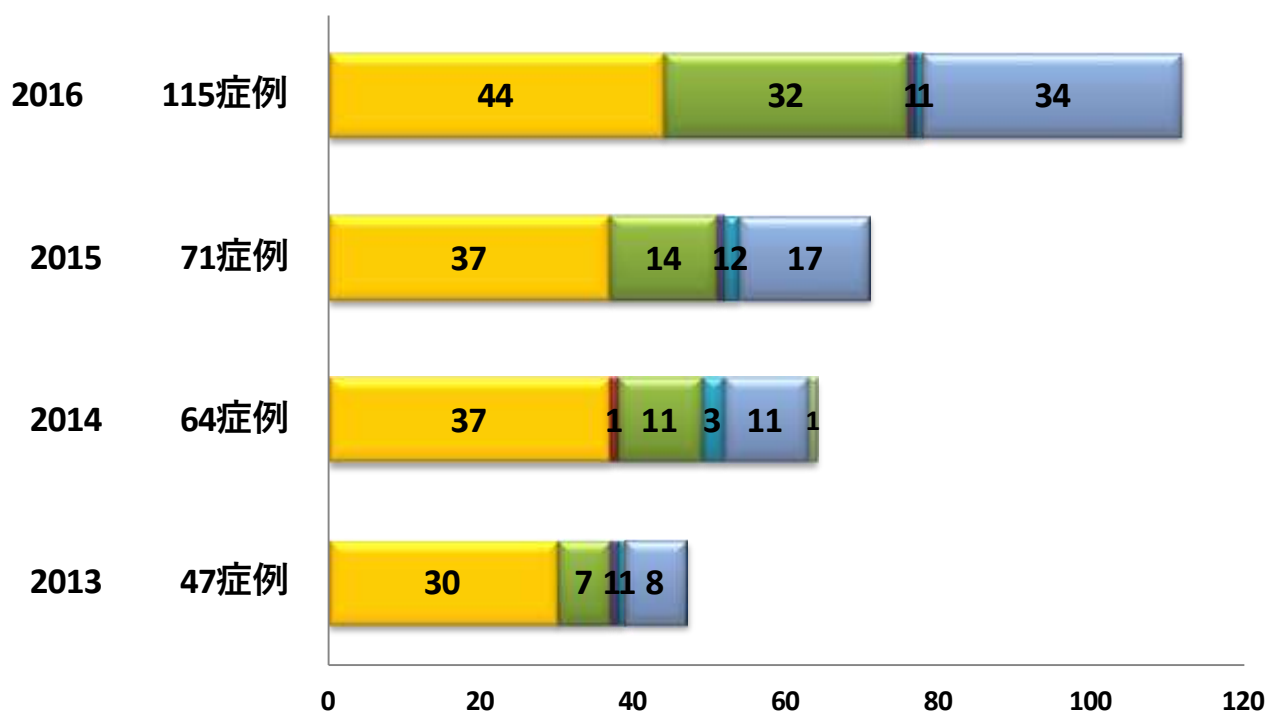
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

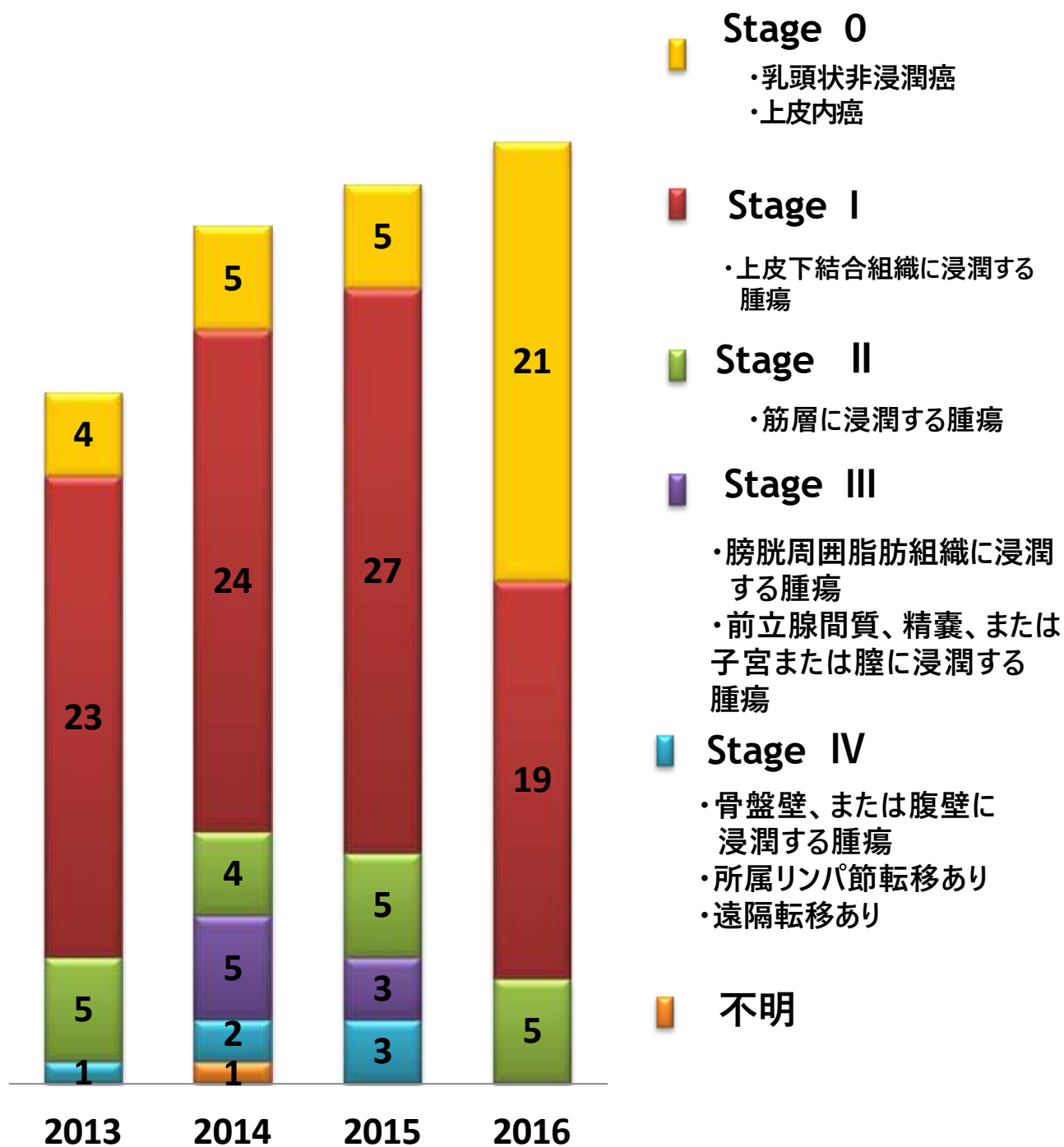
* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



	2013	47症例	2014	64症例	2015	71症例	2016	115症例
■ 手術のみ	30	37	37	44				
■ 手術 + 放射線	0	1	0	0				
■ 手術 + 化学療法	7	11	14	32				
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	1	0	1	1				
■ 放射線のみ	1	3	2	1				
■ 放射線 + 化学療法	0	0	0	0				
■ 化学療法のみ	8	11	17	34				
■ TAE	0	0	0					
■ RFA	0	1	0					

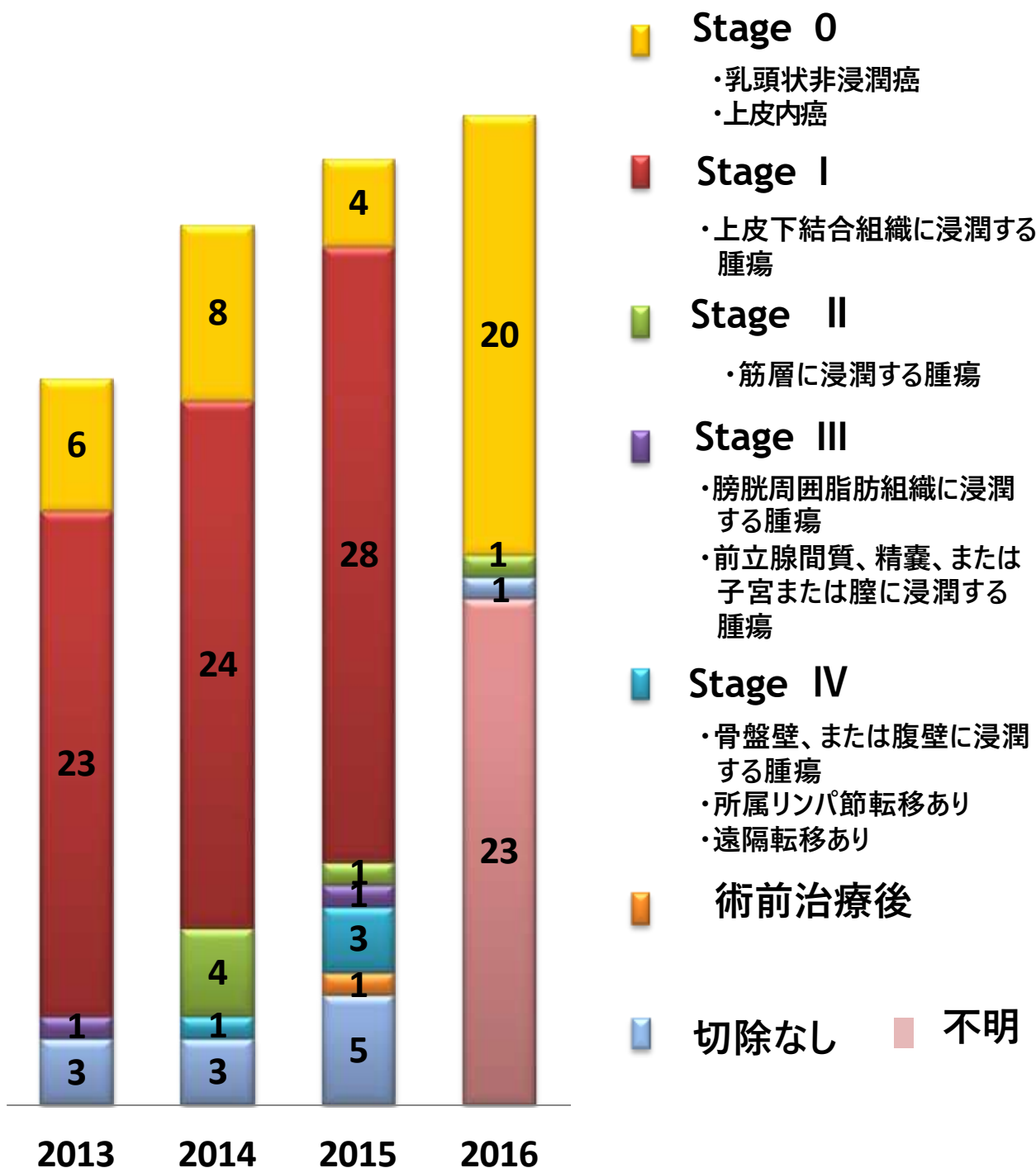
膀胱 (C67)治療前ステージ

* 2016年症例から項目・治療変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



膀胱 (C67)治療後ステージ

* 2016年症例から項目・治療変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数



16. 甲状腺 Thyroid gland (ICD-0 C73) 21件

- 治療別件数
- 治療前ステージ件数
- 治療後ステージ件数

* 院内がん登録において登録される治療とは、当院初回治療の患者のみ。
他施設で施行されたものは登録されず、当院で施行された治療のみ登録対象

* 2016年症例から項目変更があり

甲状腺（C73）治療別件数

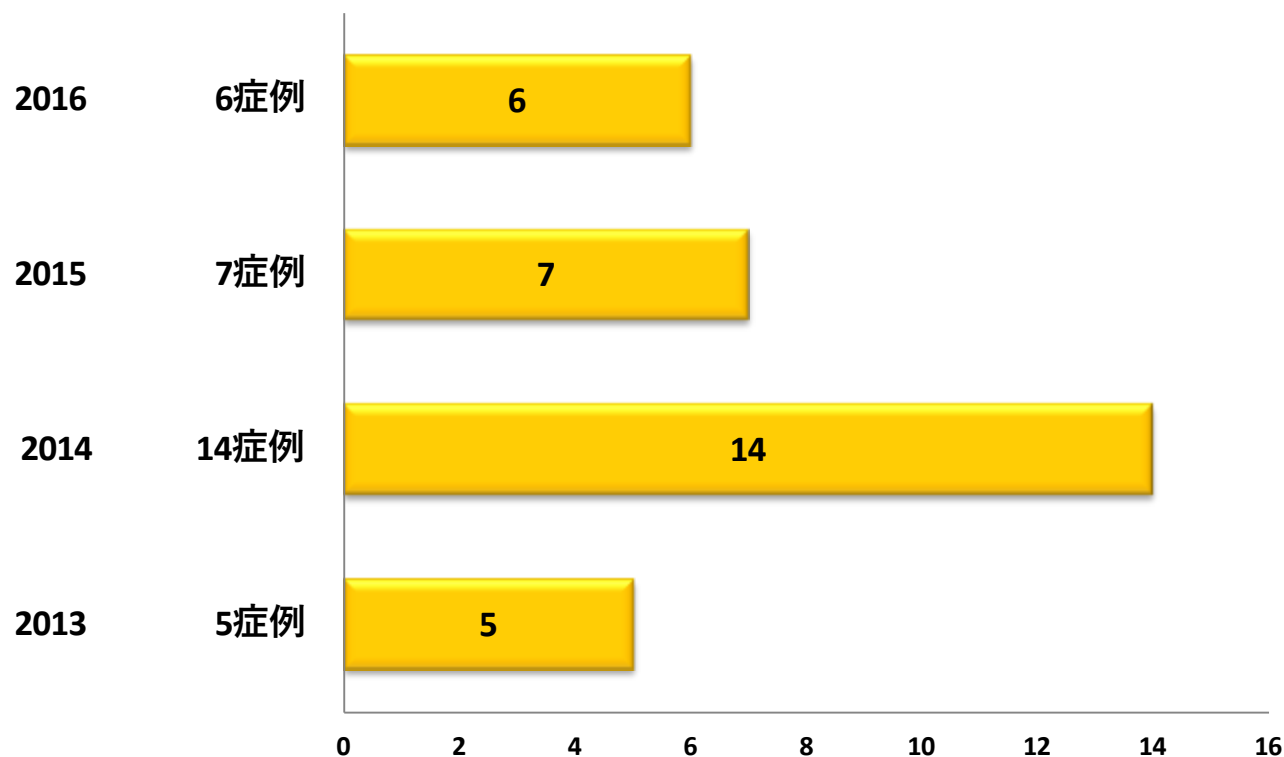
* 治療施設：自施設で初回治療、症例：自施設初回治療症例

2015年症例以前

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）は、化学療法に含めています。
* TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）

2016年症例から項目変更があり

* 免疫療法・内分泌療法（ホルモン療法）・TAE（肝動脈塞栓療法）・RFA（ラジオ波熱凝固療法）は、新項目（その他の治療）に変更になったため、化学療法に含めています。



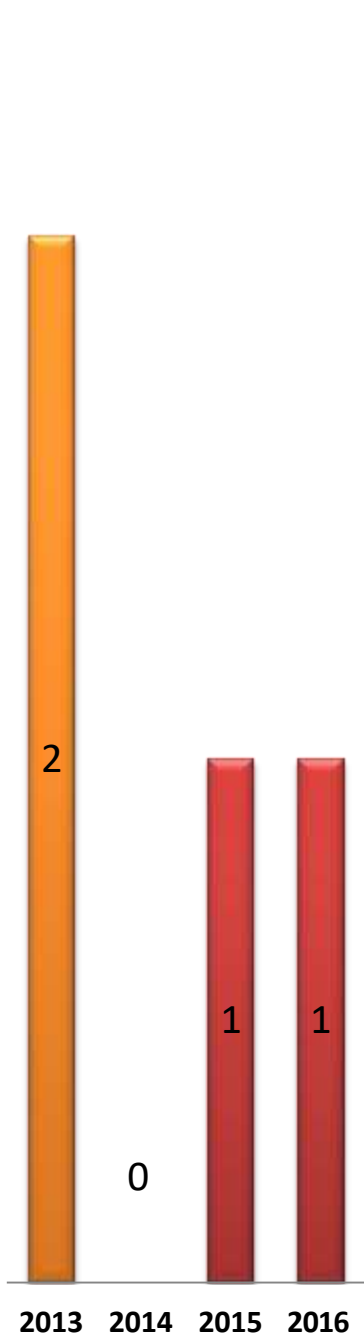
	2013	5症例	2014	14症例	2015	7症例	2016	6症例
■ 手術のみ	5		14		7		6	
■ 手術 + 放射線	0		0		0		0	
■ 手術 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 手術 + 放射線 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 放射線のみ	0		0		0		0	
■ 放射線 + 化学療法	0		0		0		0	
■ 化学療法のみ	0		0		0		0	
■ TAE	0		0		0			
■ RFA	0		0		0			

甲状腺 (C73)治療前ステージ

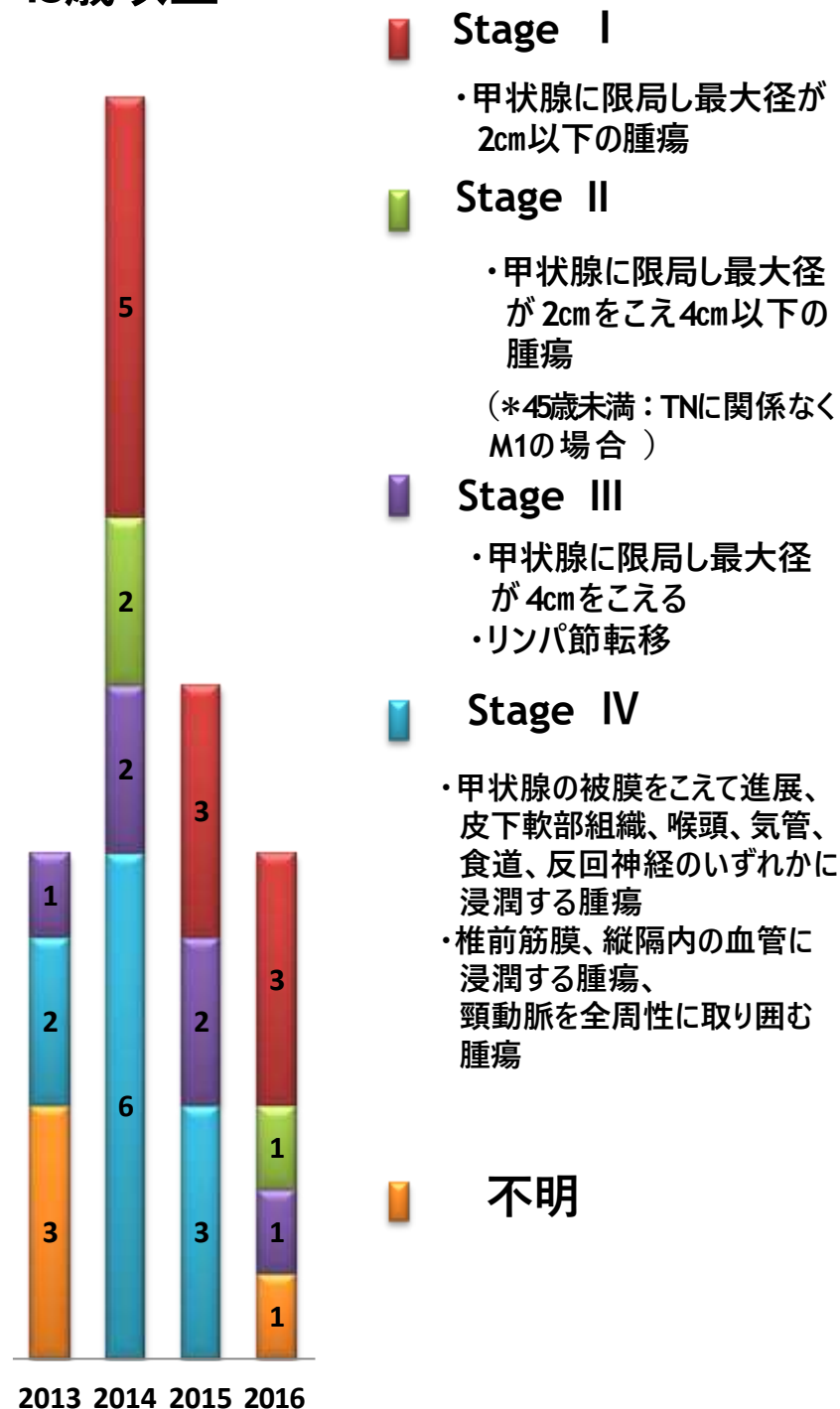
* 45歳未満・以上でステージが違う

* 2016年症例から項目変更があり。治療前ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

45歳未満



45歳以上



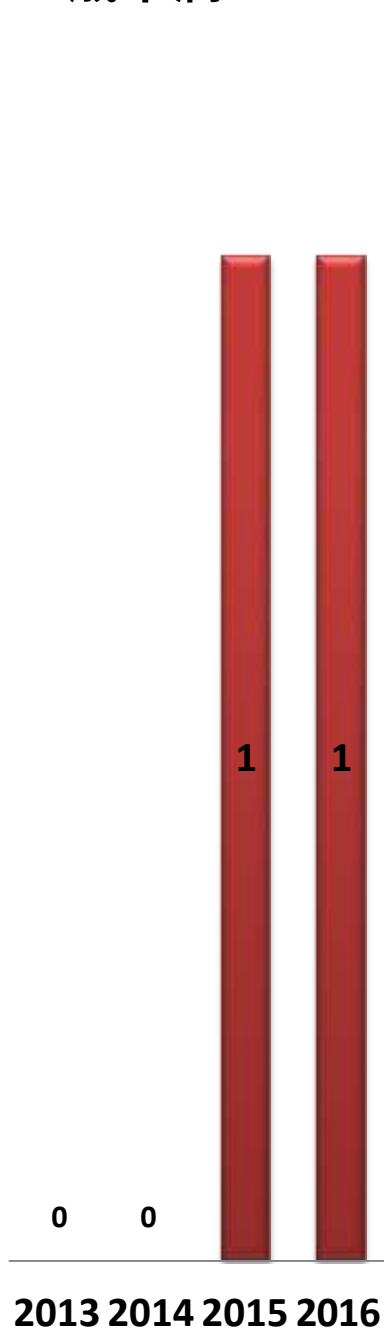
- Stage I**
 - ・甲状腺に局限し最大径が2cm以下の腫瘍
- Stage II**
 - ・甲状腺に局限し最大径が2cmをこえ4cm以下の腫瘍
 - (*45歳未満：TNに関係なくM1の場合)
- Stage III**
 - ・甲状腺に局限し最大径が4cmをこえる
 - ・リンパ節転移
- Stage IV**
 - ・甲状腺の被膜をこえて進展、皮下軟部組織、喉頭、気管、食道、反回神経のいずれかに浸潤する腫瘍
 - ・椎前筋膜、縦隔内の血管に浸潤する腫瘍、頸動脈を全周性に取り囲む腫瘍
- 不明**

甲状腺 (C73)治療後ステージ

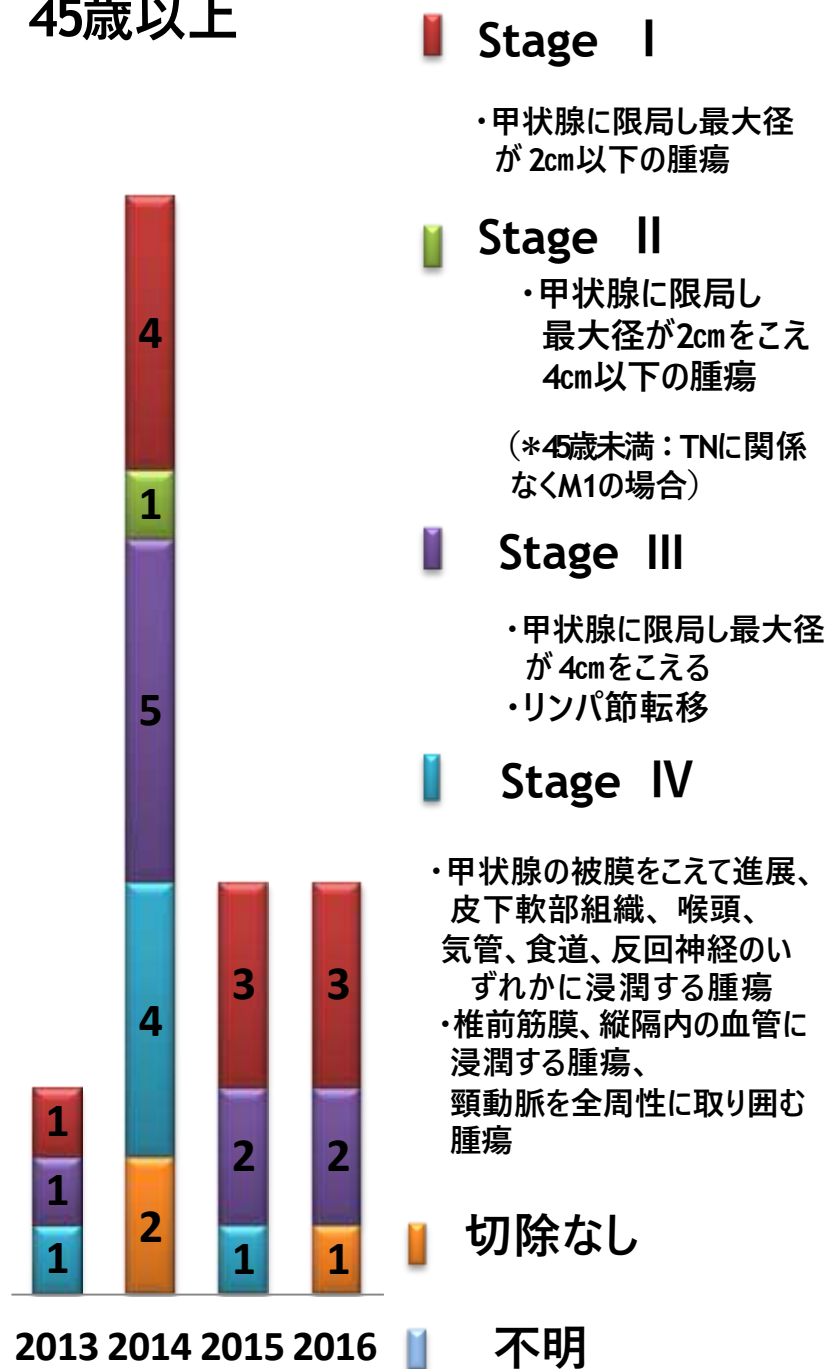
*45歳未満・以上でステージが違ふ

*2016年症例から項目変更があり。治療後ステージ：診断区分から治療施設の「初回治療開始」での患者数

45歳未満



45歳以上



Stage I

- ・甲状腺に限局し最大径が2cm以下の腫瘍

Stage II

- ・甲状腺に限局し最大径が2cmをこえ4cm以下の腫瘍

(*45歳未満：TNに関係なくM1の場合)

Stage III

- ・甲状腺に限局し最大径が4cmをこえる
- ・リンパ節転移

Stage IV

- ・甲状腺の被膜をこえて進展、皮下軟部組織、喉頭、気管、食道、反回神経のいずれかに浸潤する腫瘍
- ・椎前筋膜、縦隔内の血管に浸潤する腫瘍、頸動脈を全周性に取り囲む腫瘍

切除なし

不明

業務手順等

院内がん登録 業務フロー

① がん登録対象患者検索システムより診療情報を収集

② 新発生の症例か確認

③ 新発生「がん症例」リスト作成

<電子カルテより>
Medi-Bank のがん登録一覧に項目内容を書き出す

泌尿器科部長先生にがん登録
確認依頼

登録不明分を各診療科の主治医
に依頼

④ Medi-Bank 画面に登録

『院内がん登録 業務手順』

① 腫瘍見つけ出し

- ☒ 電子カルテの「退院サマリー」の【対象患者一覧】の画面を開き、発生期間を概ね1ヶ月にして、対象患者を表示させます。

☆登録された情報よりがんに関連する診療情報を収集

・オーダーリングシステム：病名オーダー、処方オーダー、注射オーダー、レジメンオーダー、術式、放射線治療オーダー、腫瘍マーカー

・医事システム：放射線治療、病名、術式、医事算定情報

・病理システム：病理診断報告書

・退院サマリーシステム：サマリー病名

② 登録対象の確認

- ・収集した診療情報を元に、がん登録対象患者の判定を行い、新発生の症例確認、対象
- ・対象外は振り分けていく。

③ 「がん症例」リスト作成

- ・がん登録対象患者に振り分けたリストを、がん登録一覧より1ヶ月分ごとに【がん仕分け表】作成

④ がん登録

- ・登録者にて「標準登録様式」の必須項目・オプション項目を電子カルテから拾い上げて Medi-Bank のがん登録一覧に項目内容を入れて登録していく。

がん拠点病院医療委員会 2018

委員長	菊池英亮（院長）
委員	高 濟峯（集学的がん治療センター長）
	大 峯 朝 記（事務部長）
	村 田 庄 司（特命院長補佐兼経営企画室長）
	杉 本 和 也（副院長）
	杉 元 佐知子（副院長兼看護部長）
	下 村 俊 行（副院長）
	喜 多 恒 和（周産期母子医療センター長兼産婦人科部長）
	松 山 武（副院長兼救命救急センター長）
	竹 澤 裕 一（呼吸器内科部長）
	中 谷 敏 也（消化器内科部長兼栄養管理部長）
	櫛 部 圭 司（呼吸器外科部長）
	小 林 真 也（腫瘍内科医長）
	上 村 秀 樹（精神科部長）
	中 川 裕 之（放射線科部長）
	山 本 一 彦（口腔外科部長）
	成 尾 一 彦（耳鼻咽喉科部長）
	山 内 清 明（乳腺外科部長）
	宮 崎 眞 和（頭頸部外科部長）
	向 川 智 英（消化器・肝胆膵外科副部長）
	甲 田 涼 子（看護副部長）
	松 原 操（認定看護師）
	宮 地 眞 澄（認定看護師）
	宇佐美 千佳子（薬剤部長）

委員

中 西 清 貴 (総務課長兼財務課長)

河 口 典 行 (医事課長)

大須賀 仁 (庶務係長兼職員係長)

石 田 雅 子 (医事課主事)

三 村 綾 子 (診療情報管理士)



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合医療センター

Nara Prefecture General Medical Center

院内がん登録 2016 年症例 報告

発行年月 平成 31 年 3 月
発行責任者 菊池 英亮
編集責任者 高 濟峯
編 集 三村 綾子
発 行 奈良県総合医療センター 中央病歴管理室
(医事課)
